

日本・ベトナム関係の展開：2018～2020年（1）

白石昌也[†]

Development of Japan–Vietnam Relations from 2018 to 2020 (1)

Masaya Shiraishi

In the previous papers of this Journal no. 22 (March 2014), no.31 (March 2018), and no.41 (March 2021), the author discussed the development of bilateral relations between Japan and Vietnam from 2002 to 2013, from 2014 to 2015, and from 2016 to 2017 respectively.

Following them, the First Section of this paper describes the major events in 2018, including President Tran Dai Quang's state visit to Japan as well as various events commemorating the 45th anniversary of diplomatic relations between the two countries. In the Second Section, the author describes the major events in 2019, including PM Nguyen Xuan Phuc's visit to Japan to attend the G20 Osaka Summit. In the Third Section, the author describes various contacts between the two nations during the COVID-19 pandemic.

—本号掲載—

はじめに

第1節 2018年の展開

- (1) リック国防相の来日と日越共同ビジョンの署名（2018年4月）
- (2) 東京でのベトナムフェスティバル開催（2018年5月）およびその他の日本各地での45周年記念イベント
- (3) クアン国家主席の国賓としての来日（2018年5～6月）
- (4) シンガポールでのASEAN関連外相会合と日越外相会談（2018年8月）
- (5) ハノイでの日越友好音楽祭（2018年9月）ならびに日・ASEAN音楽祭
- (6) 河野外相の訪越と日越協力委員会の開催（2018年9月）
- (7) クアン国家主席（2018年9月）およびドー・ムオイ共産党元書記長の訃報（2018年10月）
- (8) ベトナム海軍の艦艇初訪日（2018年9～10月）
- (9) 日メコン首脳会議（東京）とフック首相の来日（2018年10月）
- (10) 日本語教師育成強化特別事業の開始（2018年10月）

第2節 2019年の展開

- (1) 岩屋防衛相の訪越と防衛産業間協力覚書の署名（2019年5月）
- (2) ミン副首相兼外相の来日と日越協力委員会（2019年5月）
- (3) 日越戦略的パートナーシップ対話（2019年6月）
- (4) G20大阪サミットとフック首相の来日（2019年6～7月）
- (5) バンコクでのASEAN関連外相会合と日越外相会談（2019年8月）
- (6) 天皇即位礼とフック首相の来日（2019年10月）
- (7) 地球観測衛星開発（円借款事業）の始動（2019年10月）
- (8) ASEAN関連首脳会合と安倍首相のバンコク出張（2019年11月）
- (9) ベトナム海上警察巡視船の日本初訪問（2019年12月）

—次号掲載予定—

第3節 2020年の展開

- (1) ダナンに日本の領事事務所開設（2020年1月）

[†] 早稲田大学名誉教授

- (2) 茂木外相のベトナム訪問（2020年1月）
- (3) コロナ禍の中での日越関係
- (4) オンラインによるASEAN関連会議（2020年4～9月）
- (5) 安倍首相の辞任と菅内閣の発足（2020年9月）
- (6) 菅首相の訪越（2020年10月）
- (7) ベトナムを議長国とするASEAN関連首脳会合（オンライン）（2020年11月）
- (8) オンラインによる日越、日SEAN閣僚会談（2020年11～12月）

おわりに

はじめに

筆者は前稿 A：「日本・ベトナム間の『戦略的パートナーシップ』：その経緯と展望」¹、前稿 B：「日本・ベトナム間の『戦略的パートナーシップ』の展開：2014～2015年」²、そして前稿 C「日本・ベトナム関係の展開：2016～2017年」³において、日越関係の展開を概観してきた。

本稿では、第1節において日越外交関係樹立45周年に当たる2018年の日越関係、第2節において2019年の日越関係、第3節において新型コロナウイルス感染が拡大した2020年の日越関係について概観する。そして、「おわりに」において、今後の展望について簡単に触れる。

第1節 2018年の展開

2018年は日越外交関係樹立45周年に当たっており、それにかかわるイベントが多数実施された⁴。

(1) リック国防相の来日と日越共同ビジョンの署名（2018年4月）

2018年4月、外交関係樹立45周年記念事業の一環として、ゴー・スアン・リック国防相が来日した。ベトナム国防相の日本訪問は7年ぶりのことであった⁵。

4月9日防衛省において、リック国防相と小野寺五典防衛相は会談に先立って、両国の防衛協力・交流に関する「日越共同ビジョン」に署名した⁶。

「共同ビジョン」は、今後10年間の防衛協力の方向性を示したものである。「目的」として、防衛

¹ 前稿 A：白石昌也「日本・ベトナム間の『戦略的パートナーシップ』：その経緯と展望」『アジア太平洋討究』22号（2014年3月）289～324頁。

² 前稿 B：白石昌也「日本・ベトナム間の『戦略的パートナーシップ』の展開：2014～2015年」『アジア太平洋討究』31号（2018年3月）1～14頁。

³ 前稿 C：白石昌也「日本・ベトナム関係の展開：2016～2017年」『アジア太平洋討究』41号（2021年3月）183～256頁。

⁴ 在ベトナム日本大使館「日越外交関係樹立45周年（2018年）関連事業(案)」2018年12月18日（<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000431094.pdf>）参照。

⁵ 梅田邦夫・駐越大使「第64回自衛隊記念日レセプションにおけるスピーチ」2018年7月6日（<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000379717.pdf>）。前回のベトナム国防相の来日は2011年10月、リック国防相の前任者フン・クアン・ティン国防相によるもので、その際に日越間の防衛協力に関する覚書が結ばれた（前稿 C 第2節第2項、190頁参照）。ただし、その後2018年まで両国の防衛大臣が全く会合しなかったというわけではない。日本側からの訪越が、2013年9月（小野寺五典）、2014年11月、2015年11月（中谷元）に実施されている。さらに、相手国訪問以外の機会として、ADMMプラス（拡大ASEAN防衛担当大臣会合）がASEAN域内で開催される際や、IISS主催のアジア安全保障会議（シャングリラダイアローグ）がシンガポールで開催される際に、日越の大臣が二者間でしばしば会合、接触している。防衛省「過去の要人往来・会談：ベトナム」（2020年12月1日検索：https://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/area/s_e_asia/vietnam.html）など。

⁶ 以下の記述は、防衛省「日越共同ビジョン（概要）」（http://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/nikoku/docs/2018/04/09_j-viet_vision.pdf）に基づく。

分野での両国間の「広範な戦略的パートナーシップ」の促進、地域の安全保障および安定の維持への寄与などを掲げる。協力の「方向性」としては、ハイレベルでの交流、多国間での協力、両国の防衛・軍事機関の能力強化、防衛装備・技術協力、教育交流、海洋安全保障分野における協力、寄港を含む防衛交流、平和維持活動のための能力構築支援、防衛医学、サイバーセキュリティなどの分野での協力を列挙する。

そして、協力の「メカニズム」としては、「共同ビジョン」を今後の指針とし、両国間の「防衛次官協議」が「防衛関係を見直し方向づけるための主たるメカニズムとして機能」する。ただし同時に、日ASEAN防衛担当大臣会合、日ASEAN防衛当局次官級会合、東京ディフェンスフォーラム⁷、ピエンチャン・ビジョン⁸に基づく防衛協力プログラムなど地域レベルでの多国間協力枠組みとの連動性についても言及する。

「共同ビジョン」の署名に続く大臣会合において、小野寺防衛相は「自由で開かれたインド太平洋戦略」に基づく取組の中でベトナムとも連携したいと述べ、リック国防相はインド太平洋地域における法の支配に基づく安定し自由で開かれた秩序を築いていく重要性を強調した。両大臣は北朝鮮や南シナ海を含む地域情勢についても意見交換を行った。南シナ海情勢に関しては、軍事化を含む現状変更の一方的行動の自制を求めるとともに、国連海洋法条約を含む国際法に基づいた紛争の平和的解決、実効的な南シナ海における行動規範（COC）の早期妥結の重要性について一致した⁹。

翌4月10日午前、リック国防相は安倍晋三首相を表敬した。安倍首相は前日の「日越共同ビジョン」の署名を歓迎し、引き続き国防・安全保障、外交、経済、国民交流といった各分野での協力を強化していきたいと述べた。これに対してリック国防相は、ベトナムと日本は共にアジアの国であり、長きに亘る友好と交流の関係を有し、また文化、習慣において多くの類似点を持つと発言。日本は経済発展において常にベトナムの主要なパートナーであり、経済社会の発展に多大な貢献をしている。ベトナムは常に日本の役割とイニシアティブを高く評価し、日本が東南アジア地域各国、そしてASEAN全体との協力を強化することを支援し、地域の平和と安定の維持に、より積極的に貢献することを望むと述べた¹⁰。

⁷ 東京ディフェンス・フォーラム（TDF）は日本防衛省が主催する国際会議。1996年から毎年実施。防衛政策局長が議長を務め、ARF（ASEAN地域フォーラム）参加国の国防省幹部（局長・将官レベル）が出席、各国の国防政策などに関して意見交換し、相互理解、透明性の向上を図る。防衛省「東京ディフェンス・フォーラム（TDF）及びTDFセミナー」（2020年11月30日検索：<https://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/dialogue/j-asean/tdf/index.html>）。

⁸ ピエンチャン・ビジョンについては、前稿C、注192を参照。

⁹ 防衛省「日ベトナム防衛相会談（概要）」2018年4月9日（http://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/nikoku/docs/2018/04/09_j-viet_gaiyo.html）；防衛省“Japan-Viet Nam Defense Ministerial Meeting”（<https://www.mod.go.jp/e/jdf/no100/topics.html>）。また、Quan doi Nhan dan（ベトナム人民軍機関紙）電子版“Vietnam, Japan sign joint vision statement on defense relations” April 11, 2018（<https://en.qdnd.vn/military/intl-relations-and-cooperation/vietnam-japan-sign-joint-vision-statement-on-defense-relations-491799>）をも参照。

¹⁰ VietnamPlus（ベトナム通信社電子版）“Bộ trưởng Bộ Quốc phòng Ngô Xuân Lịch làm việc tại Nhật Bản” 10/04/2018（<https://www.vietnamplus.vn/Utilities/Print.aspx?contentid=496573>）；同邦訳「ゴー・スアン・リック国防相が日本を訪問」2018年04月10日（東京外大：http://www.el.tufs.ac.jp/prseas/html/pc/News20180428_100011.html）からの引用。また、外務省「ゴー・スアン・リック・ベトナム国防大臣による安倍総理大臣表敬」2018年4月10日（https://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/area/s_e_asia/vietnam/docs/20180410_j-vie.html）をも参照。

(2) 東京でのベトナムフェスティバル開催（2018年5月）およびその他の日本各地での45周年記念イベント

2018年5月19日から20日にかけて、日越外交関係樹立45年記念事業として「ベトナムフェスティバル2018」が東京代々木公園で開催された。

19日午前メイン・ステージで開会式が実施され、フェスティバル創設者の一人で日本側実行委員長の松田岩夫・元国務大臣、ベトナム側実行委員長のグエン・クオック・クオン駐日大使、そして武部勤・元日越友好議連会長などの来賓が登壇した。冒頭に実行委員会を代表してクオン大使が英語で挨拶、続いて来賓の福田康夫・元首相、岡本三成・外務大臣政務官が日本語で挨拶、登壇者たちによるテープカットの後、フェスティバル事務局長の青柳陽一郎衆院議員が開会を宣言した。

メイン・ステージでは両国の歌手たちによるショーやミスベトナムフェスティバル・コンテストなどが実演され、また会場の一角では水上人形劇が演じられた。出展ブース数は126（飲食店63，物販35，大使館・協賛者28），来場者は2日間で18万人を数えた¹¹。

《ベトナムフェスティバルの開催実績》

ベトナムフェスティバルが日本で初めて開催されたのは、10年前の2008年のことであった。前年の2007年11月にグエン・ミン・チエット国家主席が国賓として来日した際に、同主席立ち合いの下に、武部勤・日越友好議連会長、松田岩夫・参院議員、ギエム・ヴァー・カイ越日友好議連副会長、チュー・トゥアン・カップ駐日大使（当時）の4者が、翌2008年に日越外交関係樹立35周年を記念する「Vietnam Festival 2008」を東京で開催するとの合意文書に署名した¹²。具体的な日程については、日本政府とベトナム民主共和国政府の代表がパリで外交関係樹立の交換公文に署名したのが1973年9月21日であったことにちなみ、2008年9月19日（金）～21日（日）とされた。

かくして、松田岩夫・参院議員を日本側実行委員長、グエン・フー・ビン駐日大使をベトナム側実行委員長とする第1回のベトナムフェスティバルが東京代々木公園で開催された。9月19日の前夜祭に続き、20日午前に皇太子の臨席を得て開会式が実施された。出展ブース数は約130，メイン・ステージでは日本とベトナムの歌手や音楽家による演奏，アオザイ・ファッションショーなどが行われ、来場者数は15万人に達した¹³。

この成功を契機として、翌年以降も「ベトナムフェスティバル」が毎年9月に代々木公園で開催されるようになった。例えば、日越外交関係樹立40周年に当たる2013年のフェスティバルは9月14日（土）と15日（日）に開催され、14日の開会式には秋篠宮夫妻が臨席、出展ブース数134，入場

¹¹ 「日越外交関係樹立45周年記念事業 Vietnam Festival 2018 実施報告書」2018年6月22日（https://www.vietnamfes.net/2018/pdf/VF2018_report.pdf）；外務省「岡本外務大臣政務官の第10回『ベトナムフェスティバル2018』開会式出席」2018年5月22日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/seal/vn/page3_002471.html）；相川真由美「10年目の『ベトナムフェスティバル2018』が開幕」2018年5月19日（トラベル Watch：<https://travel.watch.impress.co.jp/docs/news/1122781.html>）；開会式に出席した筆者（白石昌也）の見聞など。

¹² 外務省「チエット・ベトナム国家主席の訪日（結果概要）」2007年11月30日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/vietnam/visit/0711_kg.html）；「Vietnam Festival 2008に関する基本合意」2007年11月27日（<https://www.vietnamfes.net/2008/about/agreement/data.pdf>）。

¹³ ベトナムフェスティバル2008実行委員会「Vietnam Festival 2008」（<https://www.vietnamfes.net/2008/>）；ベトナムフェスティバル2008実行委員会「Vietnam Festival 08 実施報告書」（<https://www.vietnamfes.net/2008/report/img/report.pdf>）。なお、前稿A, 300頁をも参照

者数 13 万人であった¹⁴。

ところが、翌 2014 年のベトナムフェスティバルについては、当初 9 月 13 日（土）～14 日（日）に実施を予定していたが、開催場所の代々木公園にデング熱ウイルスを媒介する蚊が広範囲に分布していることが判明したため、直前になって中止が決定された¹⁵。

2015 年以降、開催場所は代々木公園のまま、蚊の発生する季節を避けて 5 月もしくは 6 月に実施されるようになった。すなわち、ベトナム建国 70 周年に当たる 2015 年のベトナムフェスティバルは 6 月 13 日（土）～14 日（日）に開催され、出展ブース数は 110、来場者数は約 18 万人であった¹⁶。2016 年は 6 月 11 日（土）～12 日（日）に実施、ブース数は 121、来場者数が 20 万人に達した¹⁷。2017 年は 6 月 10 日（土）～11 日（日）に実施、ブース数は 121、来場者数は約 18 万人であった¹⁸。そして、2018 年については、本項冒頭に記したとおり、5 月 19 日（土）～20 日（日）に開催、ブース数は 126、来場者数は約 18 万人であった。

その後、2019 年については 6 月 8 日（土）～9 日（日）に開催。ブース数は 143 と前年より増加したが、来場者数は約 13 万人で前年を下回った¹⁹。

翌 2020 年については当初 5 月 16 日（土）～17 日（日）の日程を予定していたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大のため開催を延期。その後 10 月初めになって、改めて 11 月 7 日（土）～8 日（日）に実施することを決定した。コロナ禍による自粛ムードに加えて、イベントの予告期間が短かったことなども影響して、ブース数は 52 に留まり、来場者数は 4 万 5,000 人へと激減した²⁰。

《日本各地における 45 周年記念イベント》

本項冒頭に触れたとおり、2018 年 5 月のベトナムフェスティバル開会式で、実行委員会を代表してクオン大使が英語で挨拶した。スピーチの中で大使は、本年は日越外交関係樹立 45 周年に当たっており、東京でのフェスティバル以外にも、愛知県や福岡県、大阪府、神奈川県などで記念イベント

¹⁴ ベトナムフェスティバル 2013 実行委員会「日越外交関係樹立 40 周年記念事業 Vietnam Festival ベトナムフェスティバル 2013 実施報告書」（<https://www.vietnamfes.net/2013/docs/vf2013report.pdf>）。

¹⁵ 代々木公園イベント & フェス情報「【中止】ベトナムフェスティバル 2014」（<https://www.yoyogipark.info/2013/vietnam-festival-2014/>）；VietJo「ベトナムフェスティバル 2014 開催中止、デング熱の影響で」2014 年 9 月 5 日（<https://www.viet-jo.com/news/social/140905021100.html>）。

¹⁶ ベトナムフェスティバル 2015 実行委員会「Viet Nam Festival 2015 実施報告書」（<https://www.vietnamfes.net/2015/pdf/VF2015hokoku.pdf>）。

¹⁷ ベトナムフェスティバル 2016 実行委員会「Viet Nam Festival 2016 実施報告書」（<https://www.vietnamfes.net/2016/pdf/VF2016report.pdf>）。

¹⁸ ベトナムフェスティバル 2017 実行委員会「Vietnam Festival 2017 実施報告書」2017 年 7 月 12 日（<https://www.vietnamfes.net/2017/pdf/VF2017-report.pdf>）。

¹⁹ ベトナムフェスティバル 2019 実行委員会「Vietnam Festival 2019 実施報告書」2019 年 6 月 26 日（<https://www.vietnamfes.net/2019/pdf/VF2019-report.pdf>）。

²⁰ VietJo「ベトナムフェスティバル 2020、代々木公園で 5 月 16 日・17 日開催」2020 年 2 月 1 日（<https://www.viet-jo.com/news/event/200130190244.html>）；VietJo「ベトナムフェスティバル 2020 開催延期、新型コロナ感染拡大防止」2020 年 4 月 6 日（<https://www.viet-jo.com/news/event/200331165047.html>）；VietJo「ベトナムフェスティバル 2020～ベトナム・アジアの心～、代々木公園で 11 月開催」2020 年 10 月 8 日（<https://www.viet-jo.com/news/event/201006190739.html>）；ベトナムフェスティバル 2020—ベトナム・アジアの心—実行委員会「ベトナムフェスティバル 2020—ベトナム・アジアの心—」（2020 年 12 月 1 日検索：<https://www.vietnamfes.net/>）；ベトナムフェスティバル 2020—ベトナム・アジアの心—実行委員会「ベトナムフェスティバル 2020 Vietnam Festival—ベトナム・アジアの心—実施報告書」2020 年 11 月 19 日（<https://www.vietnamfes.net/pdf/Vietnam-Festival2020-report.pdf>）；外務省「尾外務副大臣の『ベトナムフェスティバル 2020 ベトナム・アジアの心』開会式出席」2020 年 11 月 10 日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page3_002919.html）。

が実施されていると言及した²¹。

以上のうち愛知県については、2018年4月7日（土）～8日（日）に名古屋市松坂屋前の久屋広場および久屋大通公園で「日本-ベトナム外交関係45周年ベトナムフェスティバルホーチミン in 愛知名古屋」が開催された。出展ブース数は30余り（関連企業・団体の展示ブースとベトナム料理・雑貨などの販売ブース）。広場に特設されたメイン・ステージにはベトナムからのアーティストらが出演、それとは別に水上人形劇のステージも設置された²²。また、以上の「文化交流プログラム」と並んで、前日の4月8日（金）には名古屋観光ホテルで「ベトナム・ホーチミン投資セミナー」と「ベトナム・ホーチミン観光セミナー」が実施され、イベントの共催者であるホーチミン市からグエン・タン・フォン人民委員会委員長（知事）などが出席した²³。

実は、愛知県では2013年の日越国交樹立40周年に際しても、名古屋市の久屋広場でベトナムフェスティバルが（単年度限りの行事として）実施された（来場者数8.5万人）。その後2016年9月には愛知県とホーチミン市の間で友好提携の覚書が締結され、2017年10月からはベトナム航空が中部国際空港～ホーチミン市の定期便を（週5日運航から）毎日就航へと増便した。2018年時点で愛知県に在住するベトナム人は1.5万人、国内では東京都に次いで2番目に多い地域である²⁴。

以上のような状況を背景に、愛知県では2018年を皮切りに、ベトナムフェスティバルが年次開催されるようになった。2018年の実施状況は本項冒頭に記したとおりである。

翌2019年の「ベトナムフェスティバル2019 in 愛知」は、4月12日（金）～4月14日（日）に名古屋市松坂屋前の久屋広場で開催された（ブース数70）²⁵。なお、その直前の3月10日には県内に在住ベトナム人による「愛知県ベトナム人協会」が発足した²⁶。

2020年についても、当初は4月11日（土）～12日（日）に名古屋市の久屋大通公園・久屋広場で「2020ベトナムフェスティバル in 愛知名古屋」の開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの影響によって中止が決まった²⁷。

福岡県については、前稿Cで言及したように²⁸、2008年にハノイ市と友好提携関係が成立、さらに2009年には福岡市にベトナム総領事館が開館、また福岡・ハノイ間にベトナム航空の直行便が就航

²¹ 注11に示した資料参照。

²² 2018ベトナムフェスティバル in 愛知名古屋実行委員会「日本-ベトナム外交関係45周年ベトナムフェスティバルホーチミン in 愛知名古屋」(<http://www.vietnamfesta.com/2018/>)；同「写真ギャラリー：2018」(<http://www.vietnamfesta.com/2018/gallery.html>)。

²³ 愛知県「ベトナム・ホーチミン市人民委員会グエン・タン・フォン委員長が初めて来県します：投資・観光セミナーやベトナムフェスティバルをPRします」2018年4月2日 (<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/vietnam-hochiminh.html>)；VietJo「ベトナムフェスティバル in 愛知、4月7日・8日開催」2018年3月23日 (<https://www.viet-jo.com/news/event/180322151326.html>)。

²⁴ 前注の資料；ならびにトラベル Watch「ベトナム航空、2017年10月30日からセントレア～ホーチミン線を毎日運航」2017年4月26日 (<https://travel.watch.impress.co.jp/docs/news/1056943.html>)。

²⁵ 2019ベトナムフェスタ in 愛知実行委員会「ベトナムフェスティバル2019 in 愛知」(<http://www.vietnamfesta.com/2019/>)；VietJo「ベトナムフェスティバル in 愛知2019、4月12日～14日開催」2019年4月4日 (<https://www.viet-jo.com/news/event/190328162553.html>)。

²⁶ VietJo「愛知県ベトナム人協会が発足—日本で2番目にベトナム人が多い都道府県」2019年3月22日 (<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/190321144837.html>)。

²⁷ 2020ベトナムフェスティバル in 愛知名古屋実行委員会「2020ベトナムフェスティバル in 愛知名古屋」(2020年12月3日検索：<http://www.vietnamfesta.com/>)。

²⁸ 前稿C第3節第4項(234～235頁)参照

するなど、ベトナムとりわけハノイ市との交流が活発となった。

それから10年後の2018年7月31日（火）～8月1日（水）、福岡市の大丸福岡天神店の広場で「福岡県・ハノイ市友好提携10周年記念事業ベトナムハノイフェア」が開催された。開会式では福岡県副知事や福岡県議会副議長とともに、イベントの共催者であるハノイ市の人民評議会副議長、そして在福岡ベトナム総領事が挨拶に立った。ステージで伝統音楽ショーなどが演じられたほか、チュー（甘味飲料）のトッピング、アオザイ試着、楽器演奏などの体験コーナー、そしてパネル展示コーナーやベトナム料理、雑貨の販売ブースが設けられた²⁹。

さらに、9月23日（日）には、福岡市のアクロス福岡3階「こくさいひろば」で、ベトナムフェスティバル福岡実行委員会（8月2日に発足）の主催により「ベトナムの日 in 福岡」が実施された。在留ベトナム人や留学生が中心となって企画した手作り感あふれるイベントであった³⁰。

翌2019年には5月25日（土）～26日（日）の2日間、福岡市天神中央公園にて、ベトナムフェスティバル福岡実行委員会の主催する第1回「ベトナムフェスティバル福岡」が実施された（来場者数約2万人）³¹。

2020年については、第2回に当たる「ベトナムフェスティバル福岡2020」が、11月21日（土）～2020年11月22日（日）に天神中央公園で開催される予定であったが、コロナ禍のために中止となった³²。

大阪府の場合、2018年3月25日（日）に堺市の市役所前市民交流広場で、日越外交関係樹立45周年と在大阪ベトナム総領事館の堺市移転開設³³10周年を記念する「ベトナムフェスティバル2018 in 堺」が実施された。在大阪ベトナム総領事館や在日ベトナム学生青年協会（VYSA）などの協力を得て、堺市が主催する初めてのイベントであった。開会式では堺市副市長や在大阪ベトナム総領事が挨拶した。ステージではベトナムの歌や楽器、舞踊、武術が披露され、また会場には飲食物や雑貨の販売ブース、企業・団体の展示ブース、そしてベトナムの伝統的な遊びを体験する文化紹介コーナーが設けられた³⁴。

²⁹ 福岡県「【お知らせ】福岡県・ハノイ市友好提携10周年記念事業『ベトナム・ハノイフェア』開催！」2018年7月25日（<https://asianbeat.com/ja/information/20180725.html>）；福岡県「『ベトナム・ハノイフェア』イベントレポート」2018年8月9日（https://asianbeat.com/ja/photo/event/vietnam_hanoi.html）。

³⁰ ふくおか生涯学習ひろば「ベトナムの日 in 福岡を開催します！2018年9月4日」（<https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/lectures/detail/635>）；福岡県「ベトナムの日 in 福岡 イベントレポート」（https://asianbeat.com/ja/photo/event/vietnam_ese_day_fukuoka.html）。

³¹ 天神中央公園管理事務局「ベトナムフェスティバル福岡2019・お知らせ」2019年5月20日（<http://tenjin-central-park.jp/news/%E3%83%99%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%90%E3%83%AB%E7%A6%8F%E5%B2%A1%EF%BC%92%EF%BC%90%EF%BC%91%EF%BC%99>）；西日本新聞「ベトナムの魅力満載、天神で食や音楽の催し」2019年5月26日（<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/513257/>）；VietJo「ベトナムフェスティバル福岡2019、5月25日・26日開催」2019年5月20日（<https://www.viet-jo.com/news/event/190514122639.html>）。

³² ベトナムフェスティバル福岡実行委員会「【2020年開催中止】ベトナムフェスティバル福岡2020」（2020年12月2日検索：<https://omatsurijapan.com/search/m/2707/>）。

³³ 大阪のベトナム総領事館は1997年に大阪市中央区に開設、2009年に堺市の現住所に移転した。本稿第3節第1項注272（次号掲載分）を参照。

³⁴ 産経新聞「バンブーダンス、アオザイ、ベトナム料理屋台…ベトナム文化を紹介、大阪・堺でフェスティバル初開催」2018年3月26日（<https://www.sankei.com/west/news/180326/wst1803260014-n1.html>）；堺市「ベトナムフェスティバル2018 in 堺を開催しました」最終更新日：2020年6月5日（<http://www.city.sakai.lg.jp/smph/shisei/kokusai/aseankoryu/>）。

なお、堺市ではその後、ダナン市との友好都市提携に関する議案が市議会に提出され、2018年12月に全会一致で可決された（2019年2月に提携文書署名）。ちなみに、それ以前の2009年、在大阪ベトナム総領事館が堺市に移転開設された際に、同市はダナン市との間で「相互交流を促進するための確認書」を交わしている³⁵。堺市には朱印船時代（16～17世紀）に遡る交流の歴史、すなわち同地出身の商人たちがベトナム中部のホイアンやダナンに赴いたり、定住したりしたという歴史がある。

以上の3月開催のフェスティバル以外に、堺市では2018年11月9日（金）～11日（日）に「関西ベトナムデイズ2018 in 堺」が実施されている。日越外交関係樹立45周年ならびに在大阪ベトナム総領事館の堺市移転開設10周年を記念するイベントであった（主催団体は同イベントの実行委員会）。9日には同市のサンスクエアホールで前夜祭が行われ、羽衣学園（高校ダンス選手権優勝校）の演技やベトナムの伝統舞踊、楽器演奏が披露された。10～11日には、市役所前の広場にベトナムの文化や音楽を紹介するステージ、そして料理販売ブースなどが設けられた。同時に、（堺市に立地する）ベトナム総領事館のロビーで、日越画家の作品展示会が催された³⁶。

堺市でのイベントとは別に、11月11日（日）夕刻には、大阪市天王寺区のクレオ大阪で「関西ベトナムデイズ2018 in 大阪」が実施され、2時間にわたってベトナムの歌、楽器、舞踊が披露された。在大阪総領事館が主催するイベントであった（大阪市が共催、日越関西友好協会が支援）³⁷。

神奈川県では、2018年9月7日（金）から9日（日）までの3日間、日越外交関係樹立45周年事業として「ベトナムフェスタ in 神奈川2018」が開催された。このイベントは同年で4回目を迎えていた³⁸。

sonota_jigyovietnamfestival2018insakai.html); つーる・ど・堺「体験レポート: 400年と45年の交流～ベトナムフェスティバル2018」(<https://toursakai.jp/2019/400452018/>); 日本アセアンセンター「〈事業報告〉『ベトナムフェスティバル2018 in 堺』に出展しました」2018年4月9日(<https://www.asean.or.jp/ja/tourism-info/20180409/>)。大阪ベトナム友好協会「3月25日（日）に開催予定のベトナムフェスティバル2018 in 堺にて 一般社団法人大阪ベトナム友好協会よりベトナム舞踊 Việt Nam Quê Hương Tới で出演いたします」2018年3月20日(<https://osakavietnam18.xii.jp/vietfes2018.html>)に、堺市発行のフェスティバルちらし、ならびに日本語および越語のプログラムが転載されている。

³⁵ 堺市「海外友好都市: ダナン市 (ベトナム社会主義共和国)」2019年3月1日(<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/kokusai/suishin/shimaiyuko/danangfriendshipcityaffiliation.html>); 日本経済新聞「堺市、ベトナム・ダナン市と姉妹都市提携へ」2018年11月7日(<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO37477200X01C18A1LKA000>); 朝日新聞 Digital「大阪」堺とベトナム・ダナンが友好都市に」2018年12月30日(<https://www.asahi.com/articles/ASLDT462WLDTPPTB007.html>); VietJo「堺市とダナン市が友好都市提携、企業支援や観光客誘致も」2019年2月14日(<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/190213122628.html>); 堺市「ベトナム社会主義共和国ダナン市と友好都市提携署名式を行います」2019年2月18日(https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo_h31/teikyoshiryou_h3102/0218_01.files/0218_01.pdf)。

³⁶ 堺市「関西ベトナムデイズ2018 in 堺」2020年6月5日更新(http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/kokusai/aseankoryu/sonota_jigyovietnamfestival2018insakai.html); 在ベトナム日本大使館「関西ベトナムデイズ2018 in 堺～日越外交関係樹立45周年・在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館堺市移転開設10周年記念」2018年11月22日(https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr-ja/45shunen_Vietnamdays2018inSakai.html)

³⁷ 大阪市広報「『関西ベトナムデイズ2018 in 大阪』を共催します／11月11日」2018年11月9日(https://twitter.com/osakacity_koho/status/1060802126912188416); 大阪城公園イベント & フェス情報「関西ベトナムデイズ2018 in 大阪」(<https://www.osakacastle.info/2018/kansa-vietnam-days-2018/>)。

³⁸ 神奈川県「ベトナムフェスタ in 神奈川2018 開催決定、KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 開催決定、日越外交関係樹立45周年事業として神奈川とベトナム相互でのイベント開催」2018年7月13日(<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/prs/r0920367.html>); 神奈川県「ベトナムフェスタ in 神奈川, Kanagawa Festival in Hanoi・主なプログラム(予定)」(<http://www.pref.kanagawa.jp/documents/35868/omonapuroguramu.pdf>); 同パンフレット(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/pamphlet2018.pdf>); 同「ベトナムフェスタ in 神奈川2018 事業報告について」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyoukanagawa2018.pdf>); VietJo「『ベトナムフェスタ in 神奈川』9月に開催、ハノイで『神奈川フェスティバル』も」2018年7月18日(<http://www.viet-jo.com/news/nikkei/180717182723.html>)。

第1回のフェスタは3年前の2015年9月18日（金）～20日（日）に、神奈川県が主体となり、駐日ベトナム大使館の全面的な協力を得て実施された。日本最大級のベトナム関係イベントを目指し、同フェスタのアンバサダーにタレント剛力彩芽を起用、黒岩祐治県知事とミュージシャンの河村隆一（かながわ観光親善大使）のトークショーなども盛り込み、神奈川県庁本庁舎を初めとする各施設、そして日本大通りなど広範囲なスペースを活用して様々なコンテンツを用意（出展ブース数79）。来場者数は当初20万人を見込んでいたが、実際には40万人に達した³⁹。

18日に横浜インターコンチネンタル・ホテルで実施された経済プログラムには、折から公賓として来日中のグエン・フー・チョン共産党書記長が出席した⁴⁰。

以上の成功を受けて、ベトナムフェスタ in 神奈川の開催が年次化された。2016年については、10月28日（金）～30日（日）に開催、29～30日の文化交流プログラムへのブース出展60団体、来場者33万人⁴¹。2017年については、9月15日（金）～17日（日）に開催、文化交流プログラムへのブース出展74団体、来場者約20万人であった⁴²。主催者は一貫して同フェスタ実行委員会と駐日ベトナム大使館である。

かくして、2018年の第4回フェスタ開催に至ったわけである。初日の9月7日には、横浜ロイヤルパークホテルでベトナム投資環境フォーラムとビジネス交流会が実施された。翌8日には、日本大通りに特設されたメイン・ステージで黒岩祐治知事とイベント・アンバサダーのタレント・時東あみによるトークショーが行われ、開会が宣言された⁴³。その他に8日と9日にかけて、文化交流イベントとして、県庁本庁舎でベトナム観光フェア、ベトナム人留学生による日本語スピーチコンテストなどが行われた。メイン・ステージではベトナムの男性人気歌手Noo Phuoc Thinhによるショー（黒沢知事とのトークを含む）や音楽、舞踊が紹介され、象の鼻パークには水上人形劇の舞台が設けられた。日本大通りや横浜公園などには例年どおり、各種展示や飲食物・雑貨販売のブース、アオザイ試着コーナー、ベトナム文化を体験するカルチャーゾーンが設けられた。文化交流プログラムへのブース出展団体66、来場者は約40万人であった⁴⁴。

以上と並行して9月1日から30日まで実施された「ベトナム月間」には、民間・地域連携プログラムとして県内ホテルのレストランでベトナム料理が提供された。また、ベトナム映画祭の一環として9月1日から9日にかけて、「横浜シネマ・ジャック & ベティ」で11本の作品が上映され、フェスタ会

³⁹ ベトナムフェスティバル in 神奈川実行委員会「Vietnam Festa in Kanagawa ベトナムフェスタ in 神奈川」(<https://www.inforata88.com/vfes-kanagawa/>)；ベトナムフェスティバル in 神奈川実行委員会「ベトナムフェスタ in 神奈川事業報告概要」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyoukanagawa2015.pdf>)；VietJo「ベトナムフェスタ in 神奈川、9月18日から3日間開催」2015年5月22日 (<https://www.viet-jo.com/news/event/150515065856.html>)；トラベル Watch「ワークショップやランタン祭りなどイベントが盛りだくさんの『ベトナムフェスタ in 神奈川』9月18日～20日の3日間開催」2015年9月9日 (<https://travel.watch.impress.co.jp/docs/news/720355.html>)。

⁴⁰ 前注の実行員「事業報告概要」；ならびに外務省「グエン・フー・チョン・ベトナム共産党中央執行委員会書記長の訪日（結果）」2015年9月24日 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page3_001381.html)。

⁴¹ 2016年フェスタのパフレット (<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/pamphlet2016.pdf>)；「ベトナムフェスタ in 神奈川事業報告概要」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyoukanagawa2016.pdf>)。

⁴² 2017年フェスタのパフレット (<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/pamphlet2017.pdf>)；「ベトナムフェスタ in 神奈川2017事業報告概要」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyoukanagawa2017.pdf>)。

⁴³ 注38に示した資料；ならびに動画「ベトナムフェスタ in 神奈川2018ダイジェスト」2018年9月21日 (<https://www.youtube.com/watch?v=-xfZyMBjFhw>)。

⁴⁴ 注38に示した資料。

場でも3本の映画が無料上映された⁴⁵。さらに、10月から11月にかけてベトナムの著名なパフォーマンス・グループが神奈川芸術劇場を皮切りに、小田原、横須賀、大和の各劇場で巡回公演した⁴⁶。

横浜市での以上のフェスタ以外に、2018年にはさらに11月16日（金）から18日（日）までの3日間、ハノイ市において日越外交関係樹立45周年記念事業として“Kanagawa Festival in Hanoi”が開催された（主催者はベトナムフェスタ in 神奈川実行委員会とハノイ市人民委員会）。ベトナムでの神奈川県イベントは、これが初めてのことであった。

ハノイ市でのイベントをより具体的に述べれば、まず11月16日に経済プログラムとして、ベトナム企業の県内誘致を目指す「神奈川投資セミナー」とベトナムからの観光客拡大を目指す「神奈川観光セミナー」がパンパシフィック・ホテルで実施された。17日と18日には文化交流プログラムとして、リー・タイ・トー公園に特設されたステージで、9月の横浜イベントにも参加した歌手 Noo Phuoc Thinh のショー、ハノイ・イベントのスペシャルサポーターを務める歌手・女優の上野優華によるショー、小田原の風魔忍者や横浜よさこいグループによるパフォーマンスなどが行われた。同公園には展示ブースや飲食ブースが設けられた（出展32団体）。文化交流プログラムへの参加者は約7万人であった。

さらに、17日にはハノイ・オペラハウスで日本の伝統芸能が公演され（有料）、18日にはリー・タイ・トー公園およびホアンキエム湖周辺で「交通安全・ベトナム『絆』 駅伝大会」が催された⁴⁷。

2019年については、「ベトナムフェスタ in 神奈川 2019」が9月6日（金）～8日（日）に、例年どおり神奈川県庁本庁舎や日本大通りなどで展開された。文化交流プログラムへの出展67ブース、参加者約28万人であった⁴⁸。

また、2019年11月16日（土）～18日（月）には、前年と同様に、“Kanagawa Festival in HANOI

⁴⁵ 注38に示した資料；ならびにベトナム映画祭2018実行委員会「ベトナム映画祭2018」(<http://vietnamff2018.com/>)；VietJo「『ベトナム映画祭2018』横浜で9月1日から一大阪・東京・名古屋でも順次開催」2018年8月25日(<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180820131837.html>)；VietJo「『ベトナム映画祭』第1弾が閉幕、落合賢監督とダブルウィッシュも舞台挨拶に登場」2018年9月11日(<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180910151500.html>)。

⁴⁶ 注38に示した資料；ならびに神奈川芸術劇場「KAAT Dance Series 2018：Lune Production『The Mist』（ザ・ミスト）Dance Dance Dance @ Yokohama 2018 パートナー事業：2018年10月25日（木）～2018年10月28日（日）」(<https://www.kaat.jp/d/mist>)；「KAAT（神奈川芸術劇場）×H.I.S.（エイチ・アイ・エス）共同企画・かながわ×ベトナムキャンペーン開催！2018年7月26日」(<https://www.atpress.ne.jp/news/161632>)。

⁴⁷ 注38に示した資料；ならびに「Kanagawa Festival in Hanoi 事業報告概要」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyouthanoi2018.pdf>)；VietJo「神奈川フェスティバル in ハノイ、11月17日・18日開催」2018年11月7日(<https://www.viet-jo.com/news/event/181106174749.html>)；Viet Nam News “Japanese festival to kick off in HN” November 11, 2019 (<https://vietnamnews.vn/life-style/538218/japanese-festival-to-kick-off-in-hn.html>)；Vietnam Plus (VNA) “Kanagawa festival to thrill visitors in downtown Hanoi” November 8, 2019 (<https://en.vietnamplus.vn/kanagawa-festival-to-thrill-visitors-in-downtown-hanoi/163349.vnp>)。

⁴⁸ 神奈川県「『ベトナムフェスタ in 神奈川 2019』『Kanagawa Festival in Hanoi 2019』を開催！」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/kishahappyou.pdf>)；2019年フェスタのパンフレット(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/pamphlet2019.pdf>)；「ベトナムフェスタ in 神奈川 2019 事業報告概要」(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyoukanagawa2019.pdf>)；アジア・アクセス「ベトナムフェスタ in 神奈川 2019 @日本大通り、神奈川県庁本庁舎、Kosha33、象の鼻パーク」(<http://vn.access-a.net/news/2019-09-07-vfes-kanagawa.html>)；VietJo「『ベトナムフェスタ in 神奈川』9月開催、『KANAGAWA FESTIVAL in HANOI』も11月に」2019年8月2日(<http://www.viet-jo.com/news/event/190702153627.html>)；VietJo「『ベトナム投資環境フォーラム』ベトナムフェスタ in 神奈川で開催」2019年8月16日(<http://www.viet-jo.com/news/event/190809194422.html>)；VietJo「『ベトナムフェスタ in 神奈川 2019』閉幕、日越アーティストのステージなど大盛況」2019年9月13日(<http://www.viet-jo.com/news/social/190910141530.html>)。

2019”がハノイ市のリー・タイ・トー公園（文化交流プログラム）とパンパシフィック・ホテル（経済交流プログラム）で実施された。文化交流プログラムへのブース出展32団体、メイン・ステージではAKB48とSGO48（ホーチミン市を拠点とする姉妹グループ）によるショーも行われた。参加者数は約7.5万人であった。また、連携プログラムとして、前年に続いて「交通安全ベトナム『絆』駅伝2019 in ハノイ」が17日の午前に実施され、ハノイ滞在中の黒岩祐治知事がスターターならびにランナーとして参加した⁴⁹。

同イベントに合わせて訪越した黒岩知事は、ハノイ市のグエン・ゾアン・トアン人民委員会副委員長（副知事）と会談した以外に、中央政府のダン・ティ・ゴック・ティン国家副主席、ヴー・ドゥック・ダム副首相、マイ・ティエン・ズン政府官房長官などとも会合を持った。また、19日には労働傷病兵社会省において副大臣立ち合いの下、海外労働管理局長との間で、「人材育成に関する覚書（MOU）」に調印した。介護・看護などの分野における技術者・技能実習生などの人材交流を促すもので、神奈川県がこの種の覚書を締結するのは初めてのことであった⁵⁰。

ちなみに、神奈川県はすでにこれ以前、ベトナム計画投資省（2014年7月）、およびフンイエン省人民委員会（2015年9月）との間で経済交流に関する覚書を締結している。また、横浜市はホーチミン市との間で経済交流に関する覚書（2007年10月）、ハノイ市との間で協力・友好関係に関する覚書（2007年11月）を、川崎市はダナン市と友好港に関する覚書（1994年1月）を締結している⁵¹。

2020年については、横浜市でのイベントとハノイ市でのイベントの双方とも、コロナ禍のために中止となった⁵²。

《小括》

以上に見てきたように、地方自治体が主体となるベトナム関係のイベントの中には、日越外交関係樹立45周年に当たる2018年が初開催となった事例、あるいは2018年を契機として年次開催されるようになった事例などがみられる。

以上の各府県、都市はもともと、何らかの意味でベトナムとのかかわりが深く、かつ多数のベトナム人が居住している点に共通点がある。そこで展開されるイベントに対して、ベトナム大使館や総領事館が協力、支援したり、在住ベトナム人が積極的に関与したりするケースが目立つ。また、イベントの開催や定例化が機縁となって、ベトナム側の中央官庁や特定の地方との協力、連携が深まった事

⁴⁹ 神奈川県『『ベトナムフェスタ in 神奈川 2019』『Kanagawa Festival in Hanoi 2019』を開催！』（<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/kishahappyou.pdf>）；同イベントのポスター（<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/hanoiposter.jpg>）；「Kanagawa Festival in HANOI 事業報告概要」<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/gaiyouhanoi2019.pdf>）；VietJo『『KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019』11月16日・17日開催』2019年11月13日（<http://www.viet-jo.com/news/event/191112004755.html>）。

⁵⁰ 神奈川県「知事のベトナム訪問（11月16日～19日）について」2019年11月21日（<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/52141/chiji.pdf>）；神奈川県「ベトナム政府と『人材育成に関する覚書（MOU）』を締結します！」2019年11月8日（<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/prs/r1150806.html>）；VietJo「ベトナムと神奈川県、人材育成分野の協力促進で覚書」2019年11月22日（<http://www.viet-jo.com/news/nikkei/191121171931.html>）。

⁵¹ 外務省地方連携推進室「姉妹友好都市以外の提携リスト」2016年9月現在（https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/action/pdfs/except_japan02.pdf）；横浜市「横浜市の国際交流について」2020年6月10日（<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/kokusai/kokusai/exchange.html>）；川崎市国際交流センター「ワールドものしり館」（2020年12月6日検索：<https://www.kian.or.jp/worldshimai.shtml>）。

⁵² 神奈川県「ベトナムフェスタ in 神奈川・KANAGAWA FESTIVAL in HANOI」2020年8月5日（<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/vietnamfesta.html>）。

例も多い。

《それ以外のベトナム関係イベント》

さて、外交関係樹立 45 周年の 2018 年には、特定の地方自治体に限定されない、以下のようなイベントも実施された。

日越国交樹立 45 周年記念事業として、「ベトナム映画祭 2018」が 2018 年 9 月から 12 月にかけて日本の 4 都市で開催された。まず 9 月 1 日（土）から 9 日（日）までの 9 日間、上述のとおり、ベトナムフェスタ in 神奈川の開催時期に合わせる形で横浜のミニ・シアター「シネマ・ジャック & ペティ」で映画祭が開幕した。続いて 10 月 6 日（土）から 19（金）まで大阪の「シネ・ヌーヴォ」、そして 11 月 10 日（土）から 23 日（金）まで東京新宿の「K's cinema」、最後に 11 月 24 日（土）から 12 月 7 日（金）まで名古屋の「シネマスコレ」にて、多数の作品が集中的に上映された⁵³。

映画祭で紹介された作品 10 数本は、映画評論家の佐藤忠男などによって選び抜かれた。文芸作品からアクション、コメディ、恋愛ものまで様々なジャンルにわたる。日本人監督が制作した作品や日本人俳優が出演した作品も含まれる。日本においてベトナム映画を一挙に公開する本格的なイベントは、これが初めての試みであった⁵⁴。

さらに、同映画祭で上映された作品の中から 2 本が、2019 年 3 月 23 日から新宿「K's cinema」にて再上映された⁵⁵。

日越アーカイブズ共同プロジェクト：2018 年 9 月 20 日（木）に、東京の国立公文書館本館とハノイのベトナム国家記録アーカイブズ局（SRADV）の双方において、日越外交関係樹立 45 周年記念共同プロジェクト「日本とベトナム～きざまれた交流の軌跡をたどる～」のオープニングセレモニーが実施された⁵⁶。

⁵³ ベトナム映画祭 2018 実行委員会「スケジュール」(<http://vietnamff2018.com/schedule/>)；A-TIM's (ベトナムエンタメ情報サイト)「【ベトナム映画祭 2018】上映作品ラインナップ & スケジュール」2018 年 11 月 23 日 (<https://atims.info/vietnamffmovie/>)；VietJo「ベトナム映画祭 2018, 横浜で 9 月 1 日から—大阪・東京・名古屋でも順次開催」2018 年 8 月 25 日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180820131837.html>)；VietJo「ベトナム映画祭 2018, 横浜で開幕—ベトナムフェスタ in 神奈川で無料上映も」2018 年 9 月 5 日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180905133710.html>)；VietJo「ベトナム映画祭第 1 弾が閉幕, 落合賢監督とダブルウィッシュも舞台挨拶に登壇」2018 年 9 月 11 日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180910151500.html>)；VietJo「ベトナム映画祭 2018 in 大阪が開幕, 計 13 作品を上映」2018 年 10 月 10 日 (<http://www.viet-jo.com/news/entertainment/181009182232.html>)；VietJo「ベトナム映画祭 2018 in 新宿, 11 月 10 日開幕—13 作品を上映」2018 年 11 月 3 日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/181102163535.html>)；VietJo「ベトナム映画祭 2018 in 名古屋が開幕, 12 月 7 日まで 13 作品上映」2018 年 11 月 28 日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/181127162348.html>)。

⁵⁴ ベトナム映画祭 2018 実行委員会「上映作品」(<http://vietnamff2018.com/movie/>)；シネ・ヌーヴォ「日越外交関係樹立 45 周年記念し、『ベトナム映画祭 2018』を開催！」(<http://www.cinenouveau.com/sakuhin/vietnam2018/vietnam2018.html>)；産経新聞「【クリップボード】『ベトナム映画祭 2018』話題作ずらり, あすから」2018 年 8 月 31 日 (<https://www.sankei.com/entertainments/news/180831/ent1808310009-n1.html>)；映画ログプラス「『ベトナム映画祭 2018』初開催！～大ヒット映画が多数上映決定！！」2018 年 8 月 10 日 (<https://tokushu.eiga-log.com/new/10938.html>)；Word Press「日越外交関係樹立 45 周年記念事業ベトナム映画祭 2018」(<https://www.eiga.tokyo/vietnam-film-festival-2018/>) など。

⁵⁵ VietJo「ベトナム映画 2 本が日本で同時公開決定, 『漂うがごとく』『ベトナムを懐う』」2019 年 2 月 18 日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/190214174533.html>)。

⁵⁶ 国立公文書館「日越外交関係樹立 45 周年記念プロジェクト『日本とベトナム～きざまれた交流の軌跡をたどる～』の web サイトの公開について」(<http://www.archives.go.jp/news/20180925.html>)；国立公文書館「日越外交関係樹立 45 周年記念共同プロジェクト『日本とベトナム～きざまれた交流の軌跡をたどる～』オープニングセレモニー式次第」2018 年 9 月 20 日（当日セレモニーにおいて配布の資料）；在ベトナム日本大使館「日越交流の歴史を紹介するウェブサイト『日本とベトナム～きざまれた交流の軌跡をたどる～』」2018 年 9 月 21 日 (https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/nichietsuko)

この共同プロジェクトは、外交関係樹立45周年を記念して、両国の公文書館が所蔵する一次資料の中から20数点ずつを選択して、日越交流の軌跡をたどるWebsite展示である。第1章「古代の交流」（8世紀の雅楽交流など）、第2章「近世の交流」（16～17世紀の朱印船貿易など）、第3章「近・現代の交流」（20世紀初頭の東遊運動など）、第4章「日本とベトナム：旧友との新しいパートナーシップ」、および「年表」から構成される。日本語版とベトナム語版以外に、英語版も作成された⁵⁷。

2017年9月に国立公文書館本館とSRADVの間で締結された「アーカイブズ及び記録管理に係る協力覚書」⁵⁸に基づいて企画された。オンライン形式による共同展示は、日本の国立公文書館にとっても初めての試みであった。

（3）クアン国家主席の国賓としての来日（2018年5～6月）

2018年5月29日から6月2日まで、チャン・ダイ・クアン国家主席夫妻が国賓として日本を訪問した⁵⁹。ベトナムからの国賓は3人目。前任のチュオン・タン・サン国家主席（当時）の国賓としての来日が2014年3月であったから、4年ぶりのこととなる。

同行者はファム・ビン・ミン副首相兼外相、トー・ラム公安相、グエン・チー・ズン計画投資相、チャン・トゥアン・アイン商工相、ファム・ホン・ハー建設相、フン・クオク・ヒエン国会副議長、ダオ・ヴィエト・チュン国家主席府官房長官、グエン・ドック・チュン・ハノイ市人民評議会議長、そして外務省や財務省の次官などであった⁶⁰。

《5月29日》

一行は5月29日正午に羽田空港に到着。21発の祝砲に迎えられた⁶¹。

クアン主席らはその後、群馬県を訪問、大沢正明・県知事らと会談した。席上、クアン主席は民間

ryunorekishiwoshoukaisurusaito.html)；梅田邦夫大使「日越外交関係樹立45周年記念プロジェクト オンライン展覧会『日本とベトナム：きざまれた交流の軌跡をたどる』オープニングセレモニー挨拶（平成30年9月20日）」（在ベトナム日本大使館：<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000401533.pdf>）。

⁵⁷ 日越外交関係樹立45周年記念共同プロジェクト『日本とベトナム：きざまれた交流の軌跡をたどる』（白石昌也監修）（国立公文書館：http://www.archives.go.jp/event/jp_vn45/）；渡辺悦子（公文書専門員）「日本・ベトナム外交関係樹立45周年プロジェクト『日本とベトナム：きざまれた交流の軌跡をたどる』webサイトについて」『アーカイブズ』（国立公文書館）第70号（2018年11月27日）（<http://www.archives.go.jp/publication/archives/no070/7993>）。

⁵⁸ 国立公文書館の加藤丈夫館長が訪越して、ベトナム側のダン・ティン・トゥンSRADV局長との間で締結した。国立公文書館「ベトナム国家記録アーカイブズ局との協力覚書の交換について」（<http://www.archives.go.jp/news/20170912.html>）；VietJo「日越交流の歴史紹介ウェブサイト開設、日越外交関係樹立45周年記念」2018年9月25日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/180924160326.html>）。

⁵⁹ 外務省「クアン・ベトナム社会主義共和国主席の訪日」2018年5月15日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_005999.html）；外務省“President of Viet Nam to Visit Japan” May 15, 2018（https://www.mofa.go.jp/press/release/press4e_002036.html）；外務省「クアン・ベトナム社会主義共和国主席の訪日（平成30年5月29日～6月2日）」2018年6月1日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_004085.html）；内閣広報室（動画）「平成30年5月15日（火）午前～内閣官房長官記者会見」（<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg17031.html>）；VOV“Toàn cảnh chuyến thăm cấp Nhà nước của Chủ tịch nước tới Nhật Bản” 03/06/2018（<https://cafef.vn/toan-canhh-chuyen-tham-cap-nha-nuoc-cua-chu-tich-nuoc-toi-nhat-ban-20180603072129611.chn>）。

⁶⁰ Nhan Dan online “President Tran Dai Quang pays state visit to Japan” May 29, 2018（<https://en.nhandan.org.vn/politics/external-relations/item/6210102-president-tran-dai-quang-pays-state-visit-to-japan.html>）。

⁶¹ Sài Gòn Giải phóng “Chủ tịch nước Trần Đại Quang đã đến Tokyo, bắt đầu chuyến thăm cấp Nhà nước Nhật Bản” 29/5/2018（<http://www.sggp.org.vn/chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-da-den-tokyo-bat-dau-chuyen-tham-cap-nha-nuoc-nhat-ban-523093.html>）；Tuổi Trẻ Online “Nhật bản 21 phát đại bác chào mừng Chủ tịch nước Trần Đại Quang” 29/05/2018（<https://tuoitre.vn/nhat-ban-21-phat-dai-bac-chao-mung-chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-20180529153143434.htm>）。

交流や観光、投資の発展に対する期待感を表明した。ちなみに、群馬県にはその時点で、約7,000人のベトナム人が在住していた（技能実習生や留学生など）⁶²。

一行はその後、県内の小金井精機製作所・前橋工場を訪れた。高性能エンジンの部品を生産する同工場で働く技術職員240名のうち、39名がベトナム人であった。同社はまた、2014年にはベトナムに現地法人を設立している⁶³。

《5月30日》

翌5月30日午前、クアン国家主席夫妻は皇居での歓迎式典に臨み、その後、天皇・皇后と懇談した。双方は前年の天皇・皇后の訪越や近年の両国関係の発展について和やかに言葉を交わした⁶⁴。天皇・皇后（現在の上皇・上皇后）にとってクアン国家主席は、在位期間最後に公式訪問した国の元首であるとともに、在位期間最後に皇居に迎えた国賓となった。

同じく5月30日の昼、日本経団連、日本商工会議所、経済同友会、日本貿易会はクアン国家主席の歓迎昼食会を都内ホテル・ニューオータニで開催した。ベトナム側からはクアン主席のほかにもイン商工相、ズン計画投資相、ヴー・ティエン・ロック・ベトナム商工会議所会頭や企業関係者など20人、日本側からは18人が出席した。

冒頭、榊原定征・経団連会長が歓迎の挨拶を行い、ベトナムは魅力的な市場であるとともに、日本企業のグローバルサプライチェーン戦略上の重要拠点であると指摘。日本の対越直接投資額が昨年過去最高を記録したことを紹介しつつ、両国官民による「日越共同イニシアティブ」⁶⁵などを通じたビジネス環境の一層の整備や二国間社会保障協定の早期締結、さらにはTPP11に続くRCEPの早期成立に期待感を表明した。

クアン主席はベトナムのマクロ経済が安定していることを強調、経済成長と環境保護を両立しながらダイナミックな発展を維持し、アジアにおける魅力的な投資先になるとの決意を表明。また、「日

⁶² 時事通信「ベトナム国家主席が群馬県庁訪問＝大沢知事と会談」2018年5月30日（<https://www.nippon.com/ja/news/yjy2018053000393/>）；Sài Gòn Giải phóng “Chủ tịch nước Trần Đại Quang gặp gỡ các kỹ sư Việt Nam làm việc ở Gunma, Nhật Bản” 29/5/2018（<http://www.sggp.org.vn/chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-gap-go-cac-ky-su-viet-nam-lam-viec-o-gunma-nhat-ban-523173.html>）；VOV（記事）“Toàn cảnh ngày đầu tiên Chủ tịch nước thăm cấp Nhà nước tới Nhật Bản” 30/05/2018（<https://vov.vn/chinh-tri/toan-canhh-ngay-dau-tien-chu-tich-nuoc-tham-cap-nha-nuoc-toi-nhat-ban-768159.vov#p8>）。

⁶³ 小金井精機製作所「国賓チャン・ダイ・クアン・ベトナム国家主席、前橋工場に来社」2018年10月24日（<http://www.koganeiseiki.co.jp/news/archive/20180529/>）；小金井精機製作所「沿革 Corporate History」（2020年12月9日検索：<http://www.koganeiseiki.co.jp/about/history.html>）；毎日新聞（群馬県地方版）「ベトナム国家主席、日越関係新次元に、県内の工場視察／群馬」2018年5月30日（<https://mainichi.jp/articles/20180530/dtl/k10/010/040000c>）。

⁶⁴ テレ朝ニュース（動画）「両陛下がベトナム国家主席をお出迎え、皇居で歓迎行事」2018年5月30日（<https://www.youtube.com/watch?v=vZuV6J0hs0M>）；ベトナム政府 online newspaper “State President meets Japanese Imperial Family” 31/05/2018（<http://news.chinhphu.vn/Home/State-President-meets-Japanese-Imperial-Family/20185/33935.vgp>）；Sài Gòn Giải phóng online “Lễ đón chính thức Chủ tịch nước Trần Đại Quang tại Hoàng cung Nhật Bản” 30/5/2018（<http://www.sggp.org.vn/le-don-chinh-thuc-chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-tai-hoang-cung-nhat-ban-523303.html>）；Tuổi Trẻ Online “Nhà vua Nhật Bản đón Chủ tịch nước Trần Đại Quang ở hoàng cung” 30/05/2018（<https://tuoitre.vn/nha-vua-nhat-ban-don-chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-o-hoang-cung-20180530091105415.htm>）；VTV online “Lễ đón Chủ tịch nước được tổ chức trọng thể tại Hoàng cung Nhật Bản” ngày 30/05/2018（<http://vtv.vn/trong-nuoc/le-don-chu-tich-nuoc-duoc-to-chuc-trong-the-tai-hoang-cung-nhat-ban-20180530185251738.htm>）；VOV（記事）“Lễ đón Chủ tịch nước được tổ chức trọng thể tại Hoàng cung Nhật Bản” 30/05/2018（<https://vov.vn/chinh-tri/le-don-chu-tich-nuoc-duoc-to-chuc-trong-the-tai-hoang-cung-nhat-ban-768403.vov>）。

⁶⁵ 日越共同イニシアティブについては、前稿C、第2節第3項（195～196頁）を参照。

越共同イニシアティブ」の実績を高く評価し、インフラ整備や裾野産業、ハイテク農業、エネルギー、環境、金融などの分野で日本企業の投資を奨励した⁶⁶。

昼食会終了後、ベトナム商工会議所のロック会頭と日本商工会議所の小林洋一・日本メコン地域経済委員会委員長が別途懇談し、両会議所間協力協定の改定を確認した⁶⁷。

なお、クアン国家出席に同行して来日したミン副首相兼外相は、30日の昼食時間帯に別行動を取り、午後12時20分から約55分間、河野太郎外相と二者会談（ワーキングランチ）を行い、二国間関係、南シナ海情勢や国際場裡における協力について意見交換した⁶⁸。

5月30日午後、クアン国家主席は国会を訪れて、伊達忠一・参院議長と会談し、「広範な戦略的パートナーシップ」の拡大、深化などについて意見を交換した⁶⁹。

5月30日夜、皇居において天皇・皇后が主催する歓迎晩餐会が行われ、約150人が参加した⁷⁰。歓迎挨拶に立った天皇は、冒頭で前年のベトナム訪問について振り返り、続いて外交関係を樹立してから45年、特に近年の両国関係の緊密化について祝意を述べた⁷¹。

⁶⁶ 週刊経団連タイムス「クアン・ベトナム国家主席歓迎昼食会を開催」2018年6月14日（No.3365）（https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2018/0614_01.html）；東京商工会議所「ベトナム、クアン国家主席歓迎昼食会概要報告（日時：2018年5月30日（水）12:00～13:30）」（<https://www.tokyo-cci.or.jp/about/international/file/Mekong20180530.pdf>）；VOV “Chủ tịch nước Trần Đại Quang làm việc với giới doanh nghiệp Nhật Bản” 30/05/2018（<https://vov.vn/chinh-tri/chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-lam-viec-voi-gioi-doanh-nghiep-nhat-ban-768468.vov>）。

⁶⁷ 東京商工会議所「ベトナム商工会議所ロック会頭と日本メコン地域経済委員会小林洋一委員長との懇談結果概要（日時：2018年5月30日（水）13:30～14:30）」（<https://www.tokyo-cci.or.jp/about/international/file/MekongDialogue20180530.pdf>）。両会議所間協定の改定版は、翌31日のベトナム投資カンファレンス（注76参照）に際して、ロック・ベトナム商工会議所会頭と三村（みむら）明夫・日本商工会議所会頭との間で署名された“Cooperation Agreement between Vietnam Chamber of Commerce and Industry and Japan Chamber of Commerce and Industry”（https://www.tokyo-cci.or.jp/about/international/file/Mekong20180531_MOU.pdf）。両国の会議所はもともと1993年に協力協定を締結していたが、2014年3月にチュオン・タン・サン国家主席（当時）が国賓として来日した際に実施された日越ビジネスフォーラムにおいて、21年ぶりに新たな協定に改訂された。日本商工会議所「日越フォーラム、経済関係深化へ連携、ベトナム国家主席、投資環境整備に意欲」2014年4月11日（<https://ab.jcci.or.jp/article/42283/>）。今回は、その2014年協定にさらに改定を加えたということであろう。

⁶⁸ 外務省「日・ベトナム外相会談」2018年5月30日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006060.html）；VietJo「越日外相が日本で会談、クアン国家主席の訪日に同行」2018年5月30日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/180530171841.html>）。

⁶⁹ ベトナム政府 online newspaper “State President meets Speaker of Japan’s House of Councillors” 31/05/2018（<http://news.chinhphu.vn/Home/State-President-meets-Speaker-of-Japans-House-of-Councillors/20185/33934.vgp>）；Lao Động điện tử “Chủ tịch Nước Trần Đại Quang hội kiến Chủ tịch Thượng viện Nhật Bản” 30/05/2018（<https://laodong.vn/thoi-su/chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-hoi-kien-chu-tich-thuong-vien-nhat-ban-610056.ldo>）；VOV “Chủ tịch nước Trần Đại Quang hội kiến Chủ tịch Thượng viện Nhật Bản” 31/05/2018（<https://baotuyenvietnam.com.vn/trong-nuoc/chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-hoi-kien-chu-tich-thuong-vien-nhat-ban-100787.html>）。

⁷⁰ 産経新聞「越主席夫妻招き宮中晩餐会、両陛下ご主催は最後か」2018年5月30日（<https://www.sankei.com/life/news/180530/lif1805300041-n1.html>）；産経新聞「両陛下“最後”の宮中晩餐会、心込められた国際親善」2018年5月30日（<https://www.sankei.com/life/news/180530/lif1805300048-n1.html>）；毎日新聞「ベトナム国家主席迎え宮中晩さん会」2018年5月31日（<https://mainichi.jp/articles/20180531/ddm/012/040/156000c>）；朝日新聞デジタル「両陛下、ベトナム国家主席夫妻迎えて宮中晩餐会」2018年5月31日（<https://www.asahi.com/articles/ASLSZ54NQL5ZUTIL036.html>）；NHK（動画）「ベトナム国家主席夫妻の歓迎宮中晩さん会皇居」2018年5月30日（<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20180530/k10011458891000.html>）；テレ朝ニュース（動画）「天皇皇后両陛下、ベトナムの国家主席招き晩さん会」2018年5月30日（<https://www.youtube.com/watch?v=OahQ4bXZ9f8>）；VTV（記事）“Nhật Bản chiêu đãi trọng thể Chủ tịch nước Trần Đại Quang và phu nhân” 30/05/2018（<http://vtv.vn/trong-nuoc/nhat-ban-chieu-dai-trong-the-chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-va-phu-nhan-20180530185457284.htm>）など。ならびに、晩餐会に出席した筆者（白石昌也）の見聞。

⁷¹ 「天皇陛下のおことば：国賓ベトナム主権閣下及び同令夫人のための宮中晩餐」2018年5月30日（宮内庁：<http://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/30#118>）；同英訳“Remarks by His Majesty the Emperor at the State Banquet in Honour

次に挨拶したクアン主席は、冒頭で前年の天皇・皇后の訪越がベトナム国民にもたらした感動について言及した。続けて、ともに東洋に位置する両国が多くの類似点を持つことを指摘し、8世紀の林邑楽の日本伝来、16世紀の朱印船貿易、20世紀初頭の東遊運動といった両民族交流の歴史を手短かに振り返る。次いで、日本が遂げた「奇跡」の発展に対する敬意、ベトナムの建設事業に対する日本国民の支援に謝意を表明し、「今日のベトナムにとって、日本は真に信頼のおける友人、最重要のパートナー」であり、両国の「広範な戦略的パートナーシップ」が日増しに発展していると続ける。そして、今回の訪日において、安倍首相や各界の関係者と会って、両国の関係を「各分野において更に実質的かつ効果的な新たな発展段階に導くための方向性と大きな方策について話し合いたい」と述べた⁷²。

《5月31日》

5月31日の午前、クアン国家主席は宿泊先の迎賓館において、志位和夫・日本共産党書記長と会談し、核兵器禁止条約、朝鮮半島情勢、南シナ海問題、両国共産党間の関係強化などについて意見交換した⁷³。

同じく31日の午前、クアン国家主席は迎賓館において、山口那津男・公明党代表と会談した。両者は両国関係や両党関係の発展、そして連立与党としての公明党が果たす役割などについて意見交換した⁷⁴。

31日の午後、JETROとベトナム計画投資省が共催する「ベトナム投資カンファレンス：日越双向交流時代へ」がホテル・ニューオータにて開催され、日越企業600社以上の代表が参加した。

カンファレンスの第1部オープニングセレモニーでは、主催者を代表してJETROの石毛博行・理事長、次いで来賓を代表して武藤容・経産省副大臣が挨拶し、その後にクアン国家主席が基調演説を行った。その中でクアン主席は、日越両国は相互に最も重要なパートナーとなっており、両国のパートナーシップがアジア地域全体の平和と繁栄に貢献すると強調、そして日本からの投資に対して開かれた公平な環境を提供することを約束した⁷⁵。

of His Excellency Mr. Tran Dai Quang, President of the Socialist Republic of Viet Nam, and Madam Nguyen Thi Hien (May 30, 2018)" (宮内庁: <http://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detailEn/30#118>) ; 同越語訳 "Bài phát biểu của Nhà vua tại Quốc yến" ngày 30/05/2018 (宮内庁: <http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/okotoba/pdf/300530bansan.pdf>)。ベトナム訪問について述べた部分は、前稿Cの第3節第2項(230~231頁)に引用した。なお、天皇が原稿を読んだ際に1頁分を誤って読み飛ばすというハプニングがあった。

⁷² 日本語仮訳「宮中晩餐におけるチャン・ダイ・クアン国家主席御挨拶」(宮内庁: <http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/okotoba/pdf/okotoba-h30-kokuhin-1.pdf>)からの引用。ベトナム語原文は "Diễn văn đáp từ của Chủ tịch nước Trần Đại Quang tại Quốc yến của Nhà vua Nhật Bản A-ki-hi-tô" (宮内庁: <http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/okotoba/pdf/okotoba-h30-kokuhin-2.pdf>)。同英語仮訳は "Remark by H.E. Mr. Tran Dai Quang, President of the S.R. of Viet Nam at the state banquet hosted by Their Majesties the Emperor and Empress of Japan" (宮内庁: <http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/okotoba/pdf/okotoba-h30-kokuhin-3.pdf>)。

⁷³ しんぶん赤旗「志位委員長とベトナム国家主席が会談、核兵器廃絶と朝鮮半島問題で協力」2018年6月1日 (https://www.jcp.or.jp/akahata/aik18/2018-06-01/2018060101_03_1.html) ; Viet Nam News "Việt Nam-Japan relations are at their best point" June, 01/2018 (<https://vietnamnews.vn/politics-laws/449096/viet-nam-japan-relations-are-at-their-best-point.html>) ; VOV "Toàn cảnh ngày thứ 3 Chủ tịch nước thăm cấp Nhà nước tới Nhật Bản" 01/06/2018 (Đà Nẵng online: <https://baodanang.vn/channel/6074/201806/toan-canng-ngay-thu-3-chu-tich-nuoc-tham-cap-nha-nuoc-toi-nhat-ban-2640303/>)。

⁷⁴ 公明党「ベトナム国家主席と会談：両国関係深め、発展へ、政党間、草の根交流も活発に、山口代表とクアン氏」2018年6月1日 (<https://www.komei.or.jp/komeinews/p3835/>) ; および前注に示した Viet Nam News 記事、ならびに VOV 記事を参照。

⁷⁵ ジェトロ・トピックス「ベトナム投資カンファレンスを開催、合計17件の投資覚書等を交換」2018年5月 (https://www.jetro.go.jp/jetro/topics/2018/1805_topics6.html) ; 「ジェトロ／ベトナム計画投資省セミナー・講演会：ベトナム投資カンファレンス―日越双向交流時代へ」金型産業情報 Web Magazine No. 31 (2018年5月18日) (<https://ido21.com/ar>)

基調講演に続いて、クアン主席たちが見守る中、両国の官庁・地方政府・団体・企業間で17件の覚書（MOU）などの文書交換・授与式が実施され⁷⁶、またLLC航空会社のベトジェット・エアがハノイ・大阪路線の開設（2018年11月から）について発表した。

その後、カンファレンスの第2部でベトナム進出日系企業とベトナム企業の幹部によるプレゼンテーション、第3部でチャン・トゥアン・アイン商工相や日系企業代表によるパネルディスカッションが実施された⁷⁷。

《クアン国家主席と安倍首相の首脳会談》

5月31日の午後6時15分から約60分間、安倍晋三首相とチャン・ダイ・クアン国家主席による首脳会談が首相官邸で実施された⁷⁸。

双方は二国間関係の拡大を喜ぶとともに、外交関係樹立45周年の2018年が、新たな発展段階の出発点であることで一致した。

安倍首相は今後とも質の高いインフラ整備、産業競争力強化、人材育成などの分野での支援を続けると述べ、新たに職業訓練に関する円借款（限度額156億1,400万円）を供与する方針を事前通報した⁷⁹。また、刑事共助条約および受刑者移送条約の正式交渉を開始したい旨を伝えた。クアン国家主席は、ベトナムにとって日本が長期的かつ最重要のパートナーであり、引き続き活発な要人往来を通じて政治的信頼を強化したい、また防衛・安全保障分野での協力を引き続き進めたいと述べた。日本からのODAはベトナムの経済・社会発展に大きく貢献しており、今後ともそれを効果的に活用していく。

安倍首相は「自由で開かれたインド太平洋戦略」⁸⁰の下、海洋安全保障や連結性強化の協力を一層具体化したい旨述べ、これに対してクアン主席から歓迎する旨が述べられた。

両者は北朝鮮問題や南シナ海問題についても意見交換し、また両国による国連安保理非常任理事国への立候補を相互に支持することを改めて確認した。

首脳会談の終わりに、安倍首相とクアン主席の立ち合いの下、梅田邦夫・駐越大使とグエン・ク

chives/6279)；VietJo「ベトナム投資カンファレンス、東京で開催：クアン国家主席が講演」2018年5月18日 (<https://www.viet-jo.com/news/event/180517190341.html>)；ベトナム政府 online newspaper “State President attends VN Trade Promotion Meeting in Tokyo” 31/05/2018 (<http://news.chinhphu.vn/Home/State-President-attends-VN-Trade-Promotion-Meeting-in-Tokyo/20185/33939.vgp>)；Vietnam Economic Times “Vietnam Investment Promotion Conference held in Tokyo” 31/05/2018 (<http://vneconomicstimes.com/article/vietnam-today/vietnam-investment-promotion-conference-held-in-tokyo>)；VOV “Chủ tịch nước Trần Đại Quang dự Hội nghị Xúc tiến đầu tư Việt Nam” 31/05/2018 (Bảo Lạng Sơn điện tử: <http://baolangson.vn/chinh-tri/141732-chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-du-hoi-nghi-xuc-tien-dau-tu-viet-nam.html>)。

⁷⁶ JETRO『『ベトナム投資カンファレンス』署名覚書等一覧』2018年6月5日 (https://www.jetro.go.jp/ext_images/topics/topics2018/20180506/list.pdf)。前述の両国商工会議所間の協力協定（注67参照）以外に、ベトナム地方政府から日本企業への投資ライセンスの授与、両国企業間の協力覚書（MOU）などが含まれる。

⁷⁷ 注75（前々注）に示した各資料を参照。

⁷⁸ 以下の記述は主として外務省「日・ベトナム首脳会談」平成30年5月31日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_004086.html)；外務省“Japan-Viet Nam Summit Meeting” May 31, 2018 (https://www.mofa.go.jp/s_sa/sea1/vn/page4e_000848.html)の要約に基づく。その他に、ベトナム政府 online newspaper “State President holds talks with Japanese PM Abe” 31/05/2018 (<http://news.chinhphu.vn/Home/State-President-holds-talks-with-Japanese-PM-Abe/20185/33940.vgp>)；Viet Nam News “VN, Japan seek new development phase” June, 01/2018 (<https://vietnamnews.vn/politics-laws/449090/vn-japan-seek-new-development-phase.html>) などをも適宜参照した。

⁷⁹ 外務省「ベトナムに対する円借款の供与（事前通報）」2018年5月31日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006076.html)；VietJo「日本政府、ベトナムに156億円の円借款—職業教育・訓練強化で」2018年6月1日 (<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/180531234601.html>)。

⁸⁰ 「自由で開かれたインド太平洋戦略」については、前稿Cの注197参照。

オック・クオン駐日大使が2件の無償資金協力（人材育成奨学計画 JDS ならびにホーチミン市の下水道更正計画）に関する書簡を交換⁸¹、次いで石井啓一・国土交通相とファム・ホン・ハー建設相が両省間の「建設・都市開発分野に関する協力に係る覚書」（更新）に署名⁸²、そして最後に石井国交相とレー・コン・ティン天然資源環境省次官が両省間の「土地、水資源、気象、地理空間情報分野に関する協力に係る覚書」を交換した⁸³。

文書署名・交換式の後、両首脳は共同記者会見に臨んだ⁸⁴。

まず安倍首相が次のように発言した：日越外交関係樹立 45 周年の記念すべき年にクアン国家主席が国賓として訪日したことを心から歓迎。この訪日は昨年の天皇后の訪越と相まって、両国間の特別に親密な友好協力関係を象徴している。クアン主席が昨年の APEC ダナン会議を成功裏に主催し、TPP11 の交渉妥結にきわめて重要な役割を果たしたことに改めて敬意を表する。

本日クアン主席と二国間関係および国際社会が直面する課題について、充実した意見交換を行った。日本はベトナムの持続的成長を引き続き力強く支援する。特に、質の高いインフラ整備、産業競争力の強化、人材育成を重視。本日、新たに職業訓練分野での支援を行う方針を事前伝達した。保健医療分野などの協力や日本語教育を初めとする文化、スポーツ交流も続けていく。

インド太平洋地域を法の支配に基づく自由で開かれたものとし、地域の平和と繁栄のための国際公財財としていくことが重要。そのため日本は自由で開かれたインド太平洋戦略を推進。ベトナムとメコン地域の連結性強化⁸⁵や海洋安全保障分野での協力を一層進めていきたい。国際社会の懸念事項である南シナ海問題については、国際法の完全な遵守、平和で安定した南シナ海の実現に貢献することが重要との認識を共有した。日本はベトナムの外交努力を支援する。北朝鮮問題については、国連安保理決議の完全履行が必要との認識で一致。拉致問題の早期解決に向けてもクアン主席と協力していく。

続いてクアン国家が発言した：今回の訪日に対する歓迎に感謝する。先ほど安倍首相との会談で、両国間の「広範な戦略的パートナーシップ」をさらに発展させるべく大きな方向性と様々な具体策について一致した。それについては、発出された共同声明の中に明記されている。

国交樹立後 45 年間を経て、越日関係が数多くの戦略的な共通の利益を有し、各分野において発展してきたことを大変喜ばしく思う。双方は、2018 年が新しい発展段階を切り拓く最初の年となるこ

⁸¹ 内閣広報室（動画）「日・ベトナム首脳会談等」2018年5月31日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201805/31vietnam.html）；および外務省「ベトナムに対する無償資金協力に関する書簡の交換」2018年5月31日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006077.html）；VietJo「日本政府、ベトナムに26億円の無償資金協力一下水道更正など2件」2018年6月1日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/180531235543.html>）。

⁸² 前注（注81）に記した内閣広報室（動画）；および国土交通省「ベトナムと建設・都市開発分野の協力促進に合意：ベトナム建設省との協力に係る覚書に署名・更新」2018年6月4日（https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000493.html）；VietJo「国交省と建設省、建設・都市開発分野で協力促進」2018年6月7日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/180605145126.html>）。

⁸³ 注81に記した内閣広報室（動画）；および国土交通省「ベトナムと土地、水資源、気象、地理空間情報分野の協力促進に合意：ベトナム天然資源・環境省との協力に係る覚書を交換」2018年6月4日（https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000494.html）；VietJo「国交省と資源環境省、土地・水資源・気象・地理空間情報分野で協力促進」2018年6月6日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/180605141521.html>）。

⁸⁴ 共同記者会見における両首脳の発言は、注81に記した内閣広報室（動画）に収録されている。以下の記述は、それに基づく。

⁸⁵ 2016年7月の日・メコン外相会議において日本の提案で採択された「日・メコン連結性イニシアティブ」を指すと思われる。前稿C第2節第6項（203～206頁）を参照。

とで一致した。ハイレベルの交流を通じて政治的信頼を強化し、国防、安全保障協力を強化し、人的交流を推進していくこと、共通利益を発揮して経済的連携を引き続き強化することを確認した。日本からの投資を促進し、ベトナム製品の対日輸出をより有利にし、インフラ整備、人材育成、気候変動対策、ベトナム工業化戦略展開における協力を強化し、日本の ODA の効果的な活用に向けて引き続き協力することで一致した。双方は農業、医療、環境、労働、建設と都市開発、行政改革、文化、地方間交流といった分野における協力をさらに拡大していく。また、刑事共助条約と受刑者移送条約の交渉開始についても一致した。

双方は地域と国際の場における連携を強化する。国際法の尊重に基づく平和、安定、自由で開かれたインド洋・太平洋地域の重要性について一致し、ベトナムが 2020～2021 年、日本が 2023～2024 年の安保理非常任理事国に立候補することを相互に支持する。2018 年 8 月からベトナムが ASEAN の対日調整国になる際に緊密に協力する。ベトナムは包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップの交渉における日本の役割を高く評価する。

双方は南シナ海における平和、安全保障、航行と飛行の自由の確保の重要性を確認し、紛争の平和的な手段での解決を推進し、国連海洋法条約を初めとする国際法を遵守し、法的、外交的プロセスを尊重し、南シナ海における行動宣言（DOC）の完全な実施、および実質的で効果的かつ法的な効力のある南シナ海における行動規範（COC）の早期成立を推進することで一致した。

首脳会談に引き続いて、首相夫妻の主催する歓迎晩餐会が行われた⁸⁶。

その冒頭で挨拶に立った安倍首相は、概略次のように語った：クアン国家主席及びヒエン夫人の国賓としての訪日を心から歓迎、両国の外交関係樹立 45 周年の節目に日本にお迎えでき大変うれしく思う。昨年春の天皇皇后両陛下の訪越、今回のクアン国家主席夫妻の国賓としての訪日により、両国の友好関係はかつてなく強まっている。

両国の交流には 400 年の歴史がある。私は昨年 11 月の APEC ダナン首脳会合に際して、（16～17 世紀に）日本との交易で栄えた古都ホイアンを訪れ、両国間の交流の歴史を実感した⁸⁷。今日、日本ではベトナムのフォーが大人気である。このような親近感に支えられ、両国の人的交流は拡大しており、昨年ベトナムを訪問した日本人は約 80 万人、日本を訪問したベトナム人は約 30 万人。日本に暮らすベトナム人は 26 万人を超えた。今日の歓迎会には小金井精機製作所と双日で働く優秀なベトナム人が招待されている。両国がお互いに支え合う関係を、更に深めていきたい。本年 1 月のサッカー U23 アジア選手権でベトナムが準優勝した。2 年後の東京オリンピックにベトナムが出場すること、さらに 4 年後の W 杯に両国が共に出場することを期待する。本日の晩餐会には、杉良太郎・日越特別大使を初め、政治、経済、文化、スポーツなど様々な分野で日越関係を支えてきた人々が招待されている。今までの貢献に感謝するとともに、今後のさらなる活躍をお願いしたい。

続いて挨拶に立ったクアン国家主席は、概略次のように述べた：今回の訪日に対する歓迎に感謝す

⁸⁶ 晩餐会冒頭の両首脳の挨拶は、注 81 に記した内閣広報室（動画）に収録されている。そのうち安倍首相の挨拶については、首相官邸「日・ベトナム首脳会談等」2018 年 5 月 31 日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201805/31vietnam.html）に文章化され、さらに英語に仮訳されている。“Japan-Viet Nam Summit Meeting and Other Events” May 31, 2018（https://japan.kantei.go.jp/98_abe/actions/201805/_00066.html）。以下の記述のうち、安倍首相の挨拶は首相官邸の資料に基づき、クアン国家主席の挨拶は内閣広報室（動画）に基づく。

⁸⁷ 2017 年 11 月の APEC ダナン会合とホイアン訪問については、前稿 C 第 3 節第 8 項（251～253 頁）参照。

る。本日の我々の会談は、希望を共有し信頼しあう忠実な親友同士の再会である。今般日本を訪問して、各分野における力強い発展を自分の目で確認でき喜ばしく思う。アベノミックスに基づき、日本経済が引き続き回復、成長し、地域及び世界の発展に大いに貢献できることを信じる。

我々両国は文化、習慣などの共通点を多く持ち、ともに勤勉で平和を愛する民族である。外交樹立から45周年を経て、越日関係は最も良好な時期にある。ベトナムにとって日本は長期的かつ重要なパートナーである。これはベトナムの一貫した主張であり、対外政策の戦略的な選択でもある。外交関係樹立45周年を記念する様々な行事は、両国民の相互理解、相互信頼を深め、両国関係の長期的かつ持続可能な発展のための重要な基盤になる。

先ほど安倍首相と成功裏に会談し、共同声明を発表、両国間の文書締結に立ち合い、広範な戦略的パートナーシップをより効果的かつ実質的に発展させるための方向性と具体策について、認識を共有した。両国指導者の決意と指導の下、各界の支援を得つつ、越日の協力関係が新しい発展段階にシフトすることを確信する。

《共同声明》

安倍首相とクアン国家主席の会談に際して、「クアン・ベトナム社会主義共和国国家主席の国賓訪日の際の日ベトナム共同声明」が発出された⁸⁸。前文2段落と全体の要約に当たる4項目に続き、「防衛・安全保障」4項目、「経済分野での協力」8項目、「人材育成及びガバナンス」5項目、「農業、環境、防災、教育、科学技術及び保健医療」7項目、「文化、スポーツ及び人的交流」4項目、「地域・国際情勢」9項目、最後に今回訪日に際してクアン主席が受けた歓迎に謝意を表明する項目1から成る（合計2段落と42項目）。

内容的には、前述した日本外務省による首脳会談の要約や共同記者会見での両者発言などと重複しているが、前稿Cに取り上げた日越大学⁸⁹に関しては、「人材育成及びガバナンス」の項目17で「両首脳は、日越大学が二国間の人材育成協力の象徴的な案件であることを認識し、健全な財政計画に基づいた同大学の学部課程の早期開設に向けて協力することを確認した」。また、項目19では「両首脳は、ベトナムにおける日本語教師の育成及び強化のための特別事業の開始並びに『日越大学附属日本語教育センター（JLEC）』の開設に向けた準備の進展を歓迎〔以下略〕と、2か所で言及している。

焦点の一つである南シナ海問題に関しては、「地域・国際情勢」の項目37で、「両首脳は、南シナ海における情勢に対して引き続き懸念を示した。両首脳は、平和、安全保障、安全並びに航行及び上空飛行の自由の維持、自制及び法的・外交的プロセスの完全な尊重を通じた海洋における紛争の平和的解決、海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）を含む国際法の尊重、並びに南シナ海に関する行動宣言（DOC）全体の完全かつ実効的な履行の重要性を改めて表明した。両首脳はまた、非軍事化の重要性を強調し、現状を変更し、又は南シナ海における状況を複雑化させ得るいかなる一方的行

⁸⁸ 以下の記述、とりわけ引用部分は、邦語仮訳「（仮訳）クアン・ベトナム社会主義共和国国家主席の国賓訪日の際の日ベトナム共同声明」（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000368991.pdf>）に基づく。共同声明の英語原文は“Final: Japan-Viet Nam Joint Statement on the Occasion of the State Visit by the President of the Socialist Republic of Viet Nam to Japan”（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000368992.pdf>）。同越語訳は“Tuyên bố chung Việt Nam-Nhật Bản nhân chuyến thăm cấp Nhà nước tới Nhật Bản của Chủ tịch nước Cộng hòa xã hội Chủ nghĩa Việt Nam”（VOV：<https://vov.vn/chinh-tri/tuyen-bo-chung-viet-nam-nhat-ban-769010.vov>）。

⁸⁹ 日越大学に関しては、前稿C第2節第9項を参照。

動もとらないよう関係国に求めた。両首脳はまた、南シナ海行動規範（COC）に関する交渉の進展を認識し、包括的かつ実効的な COC の重要性を強調した。両首脳は、地域の平和及び安定を確保するため、このような外交的取組が UNCLOS を含む国際法の完全な遵守及び平和で安定した南シナ海の実現につながるべきであるとの認識を共有した」と記す。

関連して、同じく「地域・国際情勢」の項目 38 では、「安倍総理は、日本の『自由で開かれたインド太平洋戦略』につき説明した。両首脳は、インド太平洋地域及び世界における法の支配、平和、安定、協力及び繁栄を確保するため、国連憲章及び国際法の遵守並びに国家の独立及び主権の尊重に基礎付けられた自由で開かれた秩序の重要性を強調した。両首脳は、この目的に資する貢献及び取組を歓迎した。安倍総理は、日本がその外交政策においてベトナム及び ASEAN を重要なパートナーと考えていることを再確認し、協働していくためにベトナム及び ASEAN を支援していく日本の意図を新たに示した」と述べる。

また、「防衛・安全保障」の項目 8 では、「両首脳は、日本国海上保安庁の船艇の寄港等を通じ、海洋安全保障協力を更に強化することを確認した。安倍総理は、ベトナムの海上法執行能力の向上のための支援を継続する日本の意図を表明した。クアン国家主席は、日本による中古及び新造巡視船の供与を高く評価した。安倍総理は、ベトナム側の具体的な要望を踏まえ、総合的な海洋政策についての日本の知見及び経験を共有する用意がある旨を表明した」と、ベトナムの海上法執行能力の向上支援に関する日本の意図⁹⁰を改めて表明している。

《6月1日～6月2日》

6月1日の午前、クアン国家主席は国会を再度訪問して、衆議院の大島理森（ただもり）議長（自民党）、赤松広隆・副議長（立憲民主党）、古屋圭司・運営委員長（自民党）らと懇談し、両国関係、議会同士の交流などについて話し合った⁹¹。

同じく6月1日の午前11時から、クアン国家主席はJETROの北岡伸一理事長と迎賓館で会談した。クアン主席は日本からのODAに対して謝意を述べるとともに、ベトナムの工業化や産業人材育成、そして農業、ハイテク、気候変動対策などの分野でのさらなる支援に期待を表明した。北岡理事長はベトナムの力強い発展やODA案件の効果的な運用を高く評価した⁹²。

6月1日の昼には、日越友好議連（二階俊博・会長）主催の歓迎昼食会が都内ホテルで開催された。

⁹⁰ ベトナムの海上法執行能力強化に関する日本の支援に関しては、前稿C第2節第7項を参照。

⁹¹ 衆議院「ベトナム社会主義共和国主席一行の衆議院訪問」(http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/topics/hyoukei180601.html)；ベトナム政府 online newspaper “President meets Japan’s lower house speaker” 01/06/2018 (<http://news.chinhphu.vn/Home/President-meets-Japans-lower-house-speaker/20186/33947.vgp>)；Báo Công an nhân dân điện tử “Chủ tịch nước Trần Đại Quang hội kiến với Chủ tịch Hạ viện Nhật Bản Oshima Tadamori” 01/06/2018 (<http://cand.com.vn/Su-kien-Binh-luan-thoi-su/Chu-tich-nuoc-Tran-Dai-Quang-hoi-kien-voi-Chu-tich-Ha-vien-Nhat-Ban-Oshima-Tadamori-493645/>)；Báo Lao Động online “Chủ tịch Nước Trần Đại Quang hội kiến Chủ tịch Hạ viện Nhật Bản” 01/06/2018 (<https://laodong.vn/thoi-su/chu-tich-nuoc-tran-dai-quang-hoi-kien-chu-tich-ha-vien-nhat-ban-610463.ldo>)；VOV “Toàn cảnh ngày thứ 4 Chủ tịch nước thăm cấp Nhà nước tới Nhật Bản” 02/06/2018 (<https://vov.vn/chinh-tri/toan-canhh-ngay-thu-4-chu-tich-nuoc-tham-cap-nha-nuoc-toi-nhat-ban-769381.vov>)。

⁹² JICA「北岡理事長がベトナムのクアン国家主席と会談」2018年6月7日 (https://www.jica.go.jp/information/official/2018/20180607_02.html)；Nhân Dân online “President Tran Dai Quang meets JICA President Shinichi Kitaoka” June 1, 2018 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/external-relationships/item/6223502-president-tran-dai-quang-meets-jica-president-shinichi-kitaoka.html>)。

6月1日の夜、ベトナム大使館の主催する日越外交関係樹立45周年記念レセプションが明治記念館で開催された。会合にはクアン国家主席夫妻とともに、天皇・皇后が臨席した。

ファム・ビン・ミン副首相兼外相、河野太郎外相による挨拶などに続き、ベトナムの民族楽器ダンバウによって「荒城の月」が演奏された。また、長年の越日関係への貢献に対して、日越友好議連の武部勤・前会長、二階俊博・会長、林幹雄・幹事長代理、そして岸田文雄・前外相、杉良太郎・日越特別大使、吉水大智・日新窟⁹³住職の6名に、クアン国家主席より友好勲章が授与された⁹⁴。

6月2日の午前、天皇・皇后がクアン夫妻とお別れの挨拶のために、迎賓館を訪れ約20分間懇談した。その際に主席夫人が着用したパンタロンスーツは、前年の訪越に際して皇后がプレゼントした反物（原料は皇居内養蚕所で作られた生糸）を用いたものであった⁹⁵。

クアン国家主席夫妻は、日本を離れる前にベトナム大使館に立ち寄って、大使館員や在日ベトナム人コミュニティの代表と懇談した。クアン主席は、日本に在留するベトナム人が26万3,000人近くに達しており、世界で最大の在外ベトナム人コミュニティであることを強調、「日本はベトナムにとって多くの分野で最重要の戦略的パートナーである。日本との広範な戦略的パートナーシップを日増しに効果的、実践的に増強し発展させ続けることは、我が党と国家の一貫した政策である」と述べ、大使館員やベトナム人コミュニティのさらなる貢献を促した⁹⁶。

クアン国家主席一行が日本訪問を終えてハノイに帰着したのは、6月2日の15時20分（ベトナム時間）であった⁹⁷。

(4) シンガポールでの ASEAN 関連外相会合と日越外相会談（2018年8月）

2018年8月シンガポールで一連のASEAN関連外相会合が実施され、日本からは河野太郎外相が

⁹³ 日新窟は東京都港区にある浄土宗の寺院。日本人の住職やベトナム出身の尼僧らが、在留ベトナム人困窮者の救援、死者の葬儀・法要などを行ってきた。毎日新聞「増える在日ベトナム人の位牌 東京・日新窟に供養塔が完成」2019年7月1日 (<https://mainichi.jp/articles/20190701/k00/00m/030/159000c>)；KINZOH「浄土宗日新窟」2019年6月10日 (<http://kinzoh.web.fc2.com/2019tky4.html>)などを参照。

⁹⁴ 産経新聞「両陛下、日越交流行事にご臨席 外交関係樹立45周年記念で」2018年6月1日 (<https://www.sankei.com/life/news/180601/lif1806010028-n1.html>)；日本経済新聞「両陛下、レセプション出席、ベトナム主席と歓談」2018年6月1日 (<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO31267720R00C18A6CR8000>)；外務省「ベトナム・日本外交関係樹立45周年記念レセプションにおける河野外務大臣挨拶」2018年6月1日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_004090.html)；林もとお（林幹雄）公式ホームページ「ベトナム勲章授与」2018年6月1日 (http://www.hayashimotoo.jp/2018_report/blog_201804_06/20180601.html)；在日ベトナム大使館“Chiêu đãi kỷ niệm 45 năm thiết lập quan hệ ngoại giao Việt-Nhật đã được tổ chức ngày 1/6/2018 tại Tokyo” (<https://vnembassy-jp.org/ja/node/542>)；Bảo Công an nhân dân điện tử“Chủ tịch nước Trần Đại Quang dự Lễ kỷ niệm 45 năm thiết lập quan hệ ngoại giao Việt Nam-Nhật Bản” 01/06/2018 (<http://cand.com.vn/Su-kien-Binh-luan-thoi-su/Chu-tich-nuoc-Tran-Dai-Quang-du-Le-ky-niem-45-nam-thiet-lap-quan-he-ngoai-giao-Viet-Nam-Nhat-Ban-493749/>)。

⁹⁵ 宮内庁「天皇皇后両陛下ご訪問（ベトナム主席閣下及び同令夫人〔国賓〕（お別れにつき））（迎賓館赤坂離宮（港区））」2018年6月2日 (<http://www.kunaicho.go.jp/page/gonitsei/show/1?quarter=201802>)；産経ニュース「両陛下、ベトナム国家主席とお別れ」2018年6月2日 (<https://www.sankei.com/life/news/180602/lif1806020019-n1.html>)；朝日新聞デジタル「両陛下、ベトナム国家主席夫妻に別れのあいさつ」2018年6月2日12 (<https://www.asahi.com/articles/ASL614FTHL61UTIL01L.html>)。

⁹⁶ VOV“Chủ tịch nước gặp gỡ thân mật cộng đồng người Việt Nam tại Nhật Bản” 02/06/2018 (<https://vov.vn/chinh-tri/chu-tich-nuoc-gap-go-than-mat-cong-dong-nguoi-viet-nam-tai-nhat-ban-769655.vov>)。

⁹⁷ Bảo Công an nhân dân điện tử“Chủ tịch nước Trần Đại Quang kết thúc tốt đẹp chuyến thăm Nhật Bản” 02/06/2018 (<http://cand.com.vn/Su-kien-Binh-luan-thoi-su/Chu-tich-nuoc-Tran-Dai-Quang-ket-thuc-tot-dep-chuyen-tham-Nhat-Ban-493842/>)。

出席した⁹⁸。

《河野外相とミン副首相兼外相の会談》

2018年8月8日18時30分（現地時間）から約20分間、ASEAN外相関連会合出席のために滞在中のシンガポールで、河野外相とファム・ビン・ミン・ベトナム副首相兼外相が会談した。

冒頭で両者は5～6月のチャン・ダイ・クアン国家主席の国賓としての来日の成功を祝しあった。さらに、2018年が外交関係樹立45周年に当たっており、かつ同年8月からベトナムがASEAN対日調整国となったことを弾みとして、両国間の協力をさらに深めることで一致した。両外相はまた、南シナ海情勢及び北朝鮮情勢について意見を交換し、2国間で連携していくことを確認した⁹⁹。

《日メコン外相会議：連結性イニシアティブの最終的レビュー》

2018年8月3日午後4時48分（現地時間）から約50分間、シンガポールで日本の河野外相（議長）とメコン地域5か国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ）の外相（もしくは代理）が第11回日メコン外相会議を開催した¹⁰⁰。

日本外務省のまとめによれば、参加者たちは「日メコン連結性イニシアティブ」の主要案件に関する「定量的評価」を参照しつつ、「新東京戦略2015」のレビューを行い、メコン地域の発展に大きく貢献していることを再確認した。そして、今後の日メコン協力の方向性について「連結性、人、環境」を三本柱として特定し、新たな戦略文書を第10回日メコン首脳会議において採択すべく作業を進めることで一致した¹⁰¹。

この時の議長声明の第3項は、次のように記している。「閣僚は、ハード及びソフト両面の主要なインフラ・プロジェクト並びに人材育成プログラムについての定量的分析に基づいた日メコン連結性イニシアティブのレビューを評価した。閣僚は、このレビューが東西経済回廊及び南部経済回廊の主要なインフラ開発を通じたものを含め、はるかに連結された地域を反映していることに満足の意をもって留意した。レビューの中で示されたあり得べき成果を実現するために、閣僚は日メコン連結性イニシアティブの下で現在進行中のプロジェクトの着実な実施を継続する必要性を認識した」¹⁰²。

前稿C第2節第6項に言及したように、「日メコン連結性イニシアティブ」は2016年5月初めのメコン地域諸国歴訪に際して岸田文雄外相から提起され、同年7月にヴィエンチャンで開催された第9回日メコン外相会議で採択された。東西回廊、南部回廊を中心とするメコン地域でのハード面ならびにソフト面の連結性強化を内容とする。

⁹⁸ 外務省「河野外務大臣のASEAN関連外相会議出席及びロシア、ミャンマー、バングラデシュ訪問（平成30年7月30日～8月8日）」2018年8月7日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002511.html）；外務省“Foreign Minister Kono’s Attendance at ASEAN-related Foreign Ministers’ Meetings and Visits Russia, Myanmar, Bangladesh (July 30-August 8, 2018)” August 7, 2018（https://www.mofa.go.jp/a_o/rp/page3e_000891.html）。

⁹⁹ 外務省「日・ベトナム外相会談」2018年8月2日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page1_000608.html）；ベトナム政府電子版“Phó Thủ tướng Phạm Bình Minh gặp Ngoại trưởng Nhật Bản, Iran” 03/08/2018（<http://baochinhphu.vn/Doi-ngoai/Pho-Thu-tuong-Pham-Binh-Minh-gap-Ngoai-truong-Nhat-Ban-Iran/343039.vgp>）。

¹⁰⁰ 外務省「第11回日メコン外相会議」2018年8月3日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/page4_004252.html）；外務省“11th Mekong-Japan Ministerial Meeting” August 3, 2018（https://www.mofa.go.jp/s_sa/sea1/page4e_000885.html）。

¹⁰¹ 前注に示した資料。同年の日メコン首脳会議は2018年10月9日に東京で開催された（本節第9項137頁以下を参照）。

¹⁰² 「第11回日メコン外相会議議長声明（仮訳）」2018年8月3日（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000389425.pdf>）から引用。同声明の英語原文は、“Chair’s Statement of the 11th Mekong-Japan Foreign Ministers’ Meeting (3 August 2018)”（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000389426.pdf>）。

第11回日メコン外相会議のために日本外務省が準備した「日メコン連結性イニシアティブ・プロジェクトレビュー」は、日本のODA 供与の成果として、東西回廊および南部回廊での主要地点間の走行時間短縮（ハード連結性）や、メコン諸国間の通関処理時間短縮、人材育成支援対象人数（ソフト連結性）などを定量的に記述している¹⁰³。

なお、この外相会議の冒頭で議長の河野外相が、10月8日～9日に第10回日メコン首脳会議を東京で開催すること（本節第9項を参照）、および明年を「日メコン交流年2019」とすることを発表した¹⁰⁴。

(5) ハノイでの日越友好音楽祭（2018年9月）ならびに日・ASEAN 音楽祭

《日越友好音楽祭》

日越外交関係樹立45周年を記念するイベントとして「日越友好音楽祭」が、9月9日（日）にハノイ市のベトナム・ソ連友好文化会館で開催された。杉良太郎・日越特別大使のプロデュースによるイベントで、今回が3回目の開催となる¹⁰⁵。

第1回の音楽祭は、10年前の2008年5月24日（土）にハノイ市の国際会議センター（NCC）および5月26日（月）にホーチミン市のホアビン劇場において、それぞれ日越外交関係樹立35周年事業として実施された。主催は同音楽祭実行委員会、共催は国際交流基金とベトナム外務省。ハノイでのイベントには、グエン・ミン・チエット国家主席や武部勤・日越友好議連会長などが来賓として出席した。出演アーティストは日本側から杉良太郎・日越特別大使（同音楽祭実行委員長）、秋川雅史、W-inds、伍代夏子など。ベトナム側の出演者も実力ある人気歌手たちであった。公演はVTVによって生中継された¹⁰⁶。

第2回の音楽祭は、2011年10月9日（日）にハノイ市のオペラハウスで開催された。このイベントには、東日本大震災（2011年3月）に対するベトナムからの支援への感謝の意義が込められてい

¹⁰³ 外務省「日メコン連結性イニシアティブ・プロジェクト レビュー」（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000389427.pdf>）。同英訳は“Japan Mekong Connectivity Initiative Project Review”（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000389428.pdf>）。

¹⁰⁴ 「第11回日メコン外相会議議長声明（仮訳）」2018年8月3日（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000389425.pdf>）；同英語版“Final: Chair's Statement of the 11th Mekong-Japan Foreign Ministers' Meeting” 3 August 2018（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000389426.pdf>）の項目12で「閣僚は、第10回日メコン首脳会議を原則として本年10月8日及び9日に開催すること、第12回日メコン外相会議を2019年にタイで開催することを確認した」。項目11で「閣僚は、日本とメコン諸国の人々の相互理解と交流を促進するため、日メコン協力の10周年となる2019年を『日メコン交流年2019』として祝うことを決定した」と述べている。

¹⁰⁵ VietJo「日越友好音楽祭に杉良太郎やピコ太郎など出演、ハノイで9月開催」2018年6月5日（<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180604174340.html>）；VietJo「日越友好音楽祭、ハノイで9月開催一日越アーティスト多数出演」2018年9月1日（<https://www.viet-jo.com/news/event/180827170549.html>）；VietJo「日越友好音楽祭が閉幕、日越の人気アーティスト集結で大盛況」2018年9月11日（<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/180911105041.html>）；サンスポ「杉良太郎、ベトナムで音楽祭！ATSUSHIが倅田來未が三浦大知が歌う」2019年6月20日（<https://www.sanspo.com/geino/news/20190620/geo19062005040004-n1.html>）。

¹⁰⁶ 国際交流基金「日越外交関係樹立35周年記念交流事業ハノイ・ホーチミン音楽祭」（<https://www.jpff.go.jp/j/project/culture/archive/information/0805/05-01.html>）；「日越友好ハノイ・ホーチミン音楽祭への平和を夢みて」2008年5月24日（<https://4travel.jp/travelogue/10243743>）；ベトナム・サブカル・ウオッチ「日越友好ハノイ・ホーチミン音楽祭開催」2008年5月26日（<https://vnsubcul.exblog.jp/8932145/>）。なお、杉良太郎オフィシャルサイト「プロフィール」（https://r-sugi.jp/profile_bass）によれば、すでにこれ以前の1993年10月12日に、杉が理事長を務めていた(財)日越文化交流協会の主催による「平和音楽祭」をハノイのロシア文化会館で実施。日越の歌手、演奏家が出演。招待客の中にはベトナムの文化大臣や次官などもいた。

た。また、オペラハウス建立100周年記念事業の一環でもあった。日本側からの出演者は、杉特別大使、伍代夏子の夫妻以外にAKB48, EXILE, w-inds., AAA, 倅田來未など。公演はVTVによって生中継され、またNHKによっても録画された¹⁰⁷。

第3回となる今回の公演は、杉特別大使やVTV（ベトナムテレビ局）が中心となり、ベトナムの文化スポーツ観光省や外務省、そして在ベトナム日本大使館が共催者となった。日本側からは杉・伍代夫妻以外に、EXILE・ATSUSHI, w-inds., ピコ太郎らが出演した。今回も公演の様子はVTVによって生中継された¹⁰⁸。

このイベントのプロデューサーである俳優・歌手の杉良太郎は、1989年にチャリティーコンサートのために初めてベトナムを訪問、1991年には日越文化交流協会を設立してハノイに日本語学校を開設、その間ベトナムの孤児施設や盲学校への支援を続けてきた¹⁰⁹。

以上の活動に対して、ベトナム政府は1992年11月に友誼勲章を授与¹¹⁰、また日本の外務省は2005年5月から2008年3月31日まで日越親善大使、2008年4月から2018年3月まで日越特別大使として広報業務を委嘱。さらに、2013年2月から同年12月まで日・ASEAN特別大使として日ASEAN音楽祭の準備及び広報業務を委嘱。続けて2018年4月から2020年3月まで日越特別大使を重ねて委嘱、また2017年11月から2018年12月まで日・ASEAN特別大使を再度委嘱した¹¹¹。

《日・ASEAN音楽祭》

杉良太郎が日・ASEAN特別大使として手掛けた第1回の「日・ASEAN音楽祭～災害復興への祈り～」は、2013年11月28日（木）に東京のNHKホールで開催された（同音楽祭実行委員会が主催、国際交流基金が共催）。同年は日ASEAN友好協力40周年に当たっており、それを記念する事業であるとともに、東日本震災からの復興を祈念するイベントでもあった。日本からはAKB48, EXILE,

¹⁰⁷ 日本経済新聞「日越友好音楽祭、AKBらが出演、ハノイで2回目開催」2011年10月9日（https://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0901H_Z01C11A0CR8000/）；Oricon Music「杉良太郎が日越友好音楽祭開催 AKB, EXILE, 倅田らがベトナムとの架け橋に」2011年8月10日（<https://www.oricon.co.jp/news/2000655/full/>）；VietJo「ハノイ：第2回日越友好音楽祭が10月に開催」2011年8月12日（<https://www.viet-jo.com/news/event/110810074546.html>）；Vietnam Online「2nd Vietnam-Japan Music Festival at Hanoi Opera House this Sunday」（<https://www.vietnamonline.com/news/2nd-vietnam-japan-music-festival-at-hanoi-opera-house-this-sunday.html>）。

¹⁰⁸ 注105に示した資料類を参照。

¹⁰⁹ 杉良太郎オフィシャルサイト「プロフィール」（2020年12月23日検索：https://r-sugi.jp/profile_bass）；日本経済新聞電子版「杉さん、ベトナムに176人の『子供』、孤児を支え28年、俳優で歌手の杉良太郎さんが語る」2017年1月22日（<https://style.nikkei.com/article/DGXMZ011862040Z10C17A1000000/>）；VOV World「ベトナム孤児の日本人お父さん」2017年11月26日（<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8F%E3%83%8E%E3%82%A4%E4%BE%BF%E3%82%8A%E3%83%98%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E5%AD%A4%E5%85%90%E3%81%AE%E6%97%A5%E6%9C%AC%E4%BA%E3%81%8A%E7%88%B6%E3%81%95%E3%82%93-596721.vov>）。

¹¹⁰ 「杉良太郎氏に対する友誼勲章の授与に関する国家主席決定」国立公文書館『日本とベトナム：きざまれた交流の軌跡をたどる』第3章（http://www.archives.go.jp/event/jp_vn45/ch03.html）。さらに2019年10月には、ベトナム政府から3等労働勲章を授与されている。VietJo「杉良太郎日ベトナム特別大使に3等労働勲章、30年間の貢献を評価」2019年11月1日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/191031190717.html>）；スポーツ報知「杉良太郎にベトナムから3等級労働勲章…30年間の支援評価、外国人では異例」2019年10月31日（<https://hochi.news/articles/20191030-OHT1T50247.html>）。

¹¹¹ VietJo「外務省、杉良太郎氏に対する日越特別大使の委嘱状交付」2012年6月1日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/120531115836.html>）；外務省「杉良太郎氏に対する日・ASEAN特別大使としての委嘱状交付」2013年2月25日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/25/2/0225_05.html）；外務省「杉良太郎氏に対する日ベトナム特別大使の委嘱状交付」2014年4月18日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000843.html）；外務省「杉良太郎氏に対する日ベトナム特別大使及び日・ASEAN特別大使の委嘱状交付」2018年7月23日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006262.html）。

w-inds., 伍代夏子, 坂本冬美, 藤あや子などが出演した¹¹²。

第2回の「日・ASEAN 音楽祭～平和への祈り～」は、日ASEAN友好協力45周年記念事業として、2018年10月4日(木)に東京のNHKホールで開催された(国際交流基金アジアセンターが助成)。日本からは伍代夏子とともに、関ジャニ∞, 乃木坂46, 三代目J Soul Brothers(今市隆二, 登坂広臣)やw-inds.などが参加した(司会はピコ太郎と西田ひかる)¹¹³。

さらに、翌2019年7月28日(日), 同じく杉良太郎のプロデュースによって、ベトナム・ハノイ市の国会会議センターで「日・ASEAN 音楽祭2019 in Vietnam～平和への祈り」が開催された。国際交流基金アジアセンターが主催する事業「響きあうアジア2019」¹¹⁴の一環であるとともに、安倍晋三首相が提唱した「ASEAN-Japan Day」の一環でもあった¹¹⁵。日本およびベトナム, タイ, ラオス, ミャンマー, インドネシア, ブルネイの7か国から11組のアーティストが参加。日本からはEXILE・ATSUSHI, 倅田來未, 三浦大知の3組, ベトナムからはDong Nhi(東京での日・ASEAN 音楽祭にも参加), Noo Phuoc Thinh, Trong Hieuの3組が出演した。招待客の中にはヴォー・ヴァン・トゥオン党中央教宣委員長(政治局員)やファム・ビン・ミン副首相兼外相, 訪越中の鈴木憲和・外務大臣政務官や安藤裕康・国際交流基金理事長, 梅田邦夫・在越大使などの姿があった¹¹⁶。

¹¹² 日本ASEANセンター「日・ASEAN 音楽祭～災害復興への祈り～のご案内【後援】」2013年9月25日 (<https://www.asean.or.jp/ja/ajc-info/aseanjapanmusicfestival/>) ; billboard Japan「杉良太郎『サブライズも考慮中』: 日・ASEAN 音楽祭にAKB48, EXILE, w-inds.ら出演」2013年10月9日 (http://www.billboard-japan.com/d_news/detail/15595/2) ; AKB48オフィシャルブログ『『日・ASEAN 音楽祭～災害復興への祈り～』へのAKB48出演決定及びご招待のご案内』2013年10月11日 (<https://ameblo.jp/akihabara48/entry-11633833060.html>)。

¹¹³ 日・ASEAN 音楽祭実行委員会「日・ASEAN 音楽祭」(<https://jamusicfestival.wixsite.com/home>) ; Avex.Management「第2回ASEAN 音楽祭決定! 日本からは関ジャニ∞, 乃木坂46, w-inds.ら豪華出演者の夢の共演!」2018年5月30日 (https://avex-management.jp/news/180530_5533)。音楽祭開幕に当たっての安倍晋三首相の挨拶は、総理官邸「日・ASEAN 音楽祭」2018年10月4日 (https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201810/04music.html)。

¹¹⁴ 音楽, 舞台芸術, 美術, ダンス, スポーツ, 映画, 社会課題と市民交流, 日本語パートナーズといった分野で様々なイベントが展開された。国際交流基金アジアセンター「国際交流基金アジアセンターが主催する, 日本と東南アジアの文化交流の祭典, この夏開幕」(<https://asia2019.jfac.jp/>)。

¹¹⁵ 2018年11月14日にシンガポールで実施された日・ASEAN 首脳会議に際して, 安倍首相が「先月[2018年10月]東京で開催された日ASEAN 音楽祭に続き, 来年、『ASEAN-JAPAN Day』をベトナムで開催予定。日ASEAN間の相互理解を一層深める契機としたい」と発言している。外務省「第21回日・ASEAN 首脳会議」2018年11月14日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page6_000222.html)。ベトナムがASEANの対日調整国であったために, 同国で開催されることになったものと思われる。2019年6月初めに鈴木憲和・外務大臣政務官が訪越して, Asean-Japan Dayの第一部(シンポジウム)の開幕式でスピーチ, 続いてハイテク農業に関するセッションでも発言, その後, 第二部(音楽祭)に来賓の一人として出席した。外務省「鈴木外務大臣政務官のベトナム訪問(結果)」2019年6月10日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page22_003210.html)。

¹¹⁶ 国際交流基金アジアセンター「ASEAN-Japan Music Festival 2019 in VIETNAM—prayer for peace—/響きあうアジア2019」(<https://jfac.jp/culture/events/e-asia2019-asean-japan-music-festival/>) ; 国際交流基金アジアセンター“ASEAN-Japan Music Festival 2019 in VIETNAM—prayer for peace—/Asia in Resonance 2019” Jul. 28, 2019 (<https://jfac.jp/en/culture/events/e-asia2019-asean-japan-music-festival/>) ; VOV World「音楽祭ASEAN-Japan Music Festival 2019 in VIETNAM—prayer for peace」2019年7月28日 (<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E7%A5%ADasean-japan-music-festival-2019-in-vietnam-prayer-for-peace-770184.vov>) ; VietJo「日ASEAN 音楽祭, ハノイで7月開催: 日越アーティスト6組も出演」2019年6月21日 (<https://www.viet-jo.com/news/event/190620113513.html>) ; VietJo「日ASEAN 音楽祭, 7か国のアーティストが熱いステージを披露」2019年7月30日 (<https://www.viet-jo.com/news/entertainment/190729181514.html>)。

(6) 河野外相の訪越と日越協力委員会の開催（2018年9月）

2018年9月11日から13日まで河野太郎外相がベトナムを訪問した。主要な目的の一つは、ハノイで開催された「ASEANに関する世界経済フォーラム」に出席することであり、今一つはベトナムのファム・ビン・ミン副首相兼外相と日越協力委員会を共催することであった¹¹⁷。

《ASEANに関する世界経済フォーラム》

スイスに拠点を置く民間の国際団体である世界経済フォーラム（WEF）は、「ダボス会議」の主催団体として有名であるが、その地域会議に当たる「ASEANに関する世界経済フォーラム」（WEF-on ASEAN 2018）が2018年9月11日（前夜祭）から13日までハノイにおいて実施された。WEFが東アジアもしくは東南アジアで開催する27回目の地域会議に当たる。43か国から政官財、市民団体、メディアなどの代表1,000人以上が53の分科会と35の討論会に参加した。12日に実施された開幕式には、ベトナムのグエン・フー・チョン書記長、グエン・スアン・フック首相、フィリピンのロドリゴ・ドテルテ新大統領、ミャンマーのアウンサン・スーチー国家顧問なども出席した¹¹⁸。

河野太郎外相は、12日午前のオープニング全体会議に参加したほか、13日午前の分科会「アジアの地政学の見通し（Asia's Geopolitical Outlook）」にラニル・ウィクラマシンハ・スリランカ首相、ミン越副首相兼外相、康京和・韓国外相などとともにパネリストとして参加、日本の外交政策について発言した¹¹⁹。

河野外相はまた、11日午後には同会議に出席した韓国の康京和・外相、12日午後にはミャンマーのアウンサン・スーチー国家顧問兼外相、カンボジアのフン・セン首相、そしてWEFのクラウド・シュワブ会長と個別に会談した¹²⁰。

¹¹⁷ 外務省「河野外務大臣の『ASEANに関する世界経済フォーラム』出席及びベトナム訪問」2018年9月7日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006403.html）；外務省「河野外務大臣のベトナム訪問（平成30年9月11日～13日）」2018年9月13日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page3_002550.html）；外務省“Foreign Minister Kono Visits Viet Nam (September 11–13, 2018)” September 13, 2018（https://www.mofa.go.jp/s_sa/sea1/vn/page3e_000915.html）。

¹¹⁸ VOV World「ベトナムと WEF-ASEAN2018, 新しい発展段階のための準備」2018年9月11日（<https://vovworld.vn/ja-JP/%E8%A7%A3%E8%AA%AC/%E3%83%98%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E3%81%A8wefasean2018%E6%96%B0%E3%81%97%E3%81%84%E7%99%BA%E5%B1%95%E6%AE%B5%E9%9A%8E%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E6%BA%96%E5%82%99-678546.vov>）；VOV World「ASEAN世界経済フォーラム2018, 国際社会におけるベトナムの地位向上」2018年10月22日（<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9/asean%E4%B8%96%E7%95%8C%E7%B5%8C%E6%B8%88%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%A02018%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%83%98%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E3%81%AE%E5%9C%B0%E4%BD%8D%E5%90%91%E4%B8%8A-692033.vov>）；VietJo「ASEAN世界経済フォーラムが開幕、フック首相が演説」2018年9月13日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/180913082812.html>）；VietJo「ASEAN世界経済フォーラム, 成功裏に閉幕」2018年9月17日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/180915064604.html>）；VN Express “World Economic Forum on ASEAN begins in Hanoi” September 12, 2018（<https://e.vnexpress.net/news/business/economy/world-economic-forum-on-asean-begins-in-hanoi-3807778.html>）；Nhân Dân online “World Economic Forum on ASEAN 2018 comes to a close” 09/13/2018（https://en.nhandan.org.vn/special_reports/item/6608102-world-economic-forum-on-asean-2018-comes-to-a-close.html）。

¹¹⁹ 外務省「河野外務大臣のASEANに関する世界経済フォーラム出席（結果）」2018年9月13日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002554.html）；外務省“Foreign Minister Kono Attends the World Economic Forum on ASEAN” September 13, 2018（https://www.mofa.go.jp/a_o/rp/page3e_000918.html）。

¹²⁰ 前注119に記した資料。

《クアン国家主席、フック首相との会談》

河野外相はさらに、11日の午後5時20分から約35分間グエン・スアン・フック首相、そして12日の午後3時から約30分間チャン・ダイ・クアン国家主席を表敬した。

前者との会談で、フック首相から「広範な戦略的パートナーシップ」があらゆる分野で実質的に発展している、外交関係樹立以来45年間の成果を喜ばしく思う、「日本は全ての分野で最も重要なパートナー」であり、日本によるODAを通じた支援を高く評価している、今後ともインフラ整備、人材育成、気候変動対策、産業育成、電子政府や行政改革などの分野での更なる支援に期待しているとの発言があった。

また、地域・国際情勢に関して、双方はベトナムがASEAN対日調整国となったことに伴う連携強化、またTPPに続くRCEP交渉などでの連携強化について再確認した。両者は南シナ海問題についても意見を交換した¹²¹。

後者との会談で、クアン国家主席から、先般の訪日に際しての歓迎に対する謝意が改めて表明され、明日の日越協力委員会を通じて「広範な戦略的パートナーシップ」がさらに実質的に発展することを期待する旨の発言があった。河野外相は、ASEAN対日調整国となったベトナムと南シナ海問題、北朝鮮情勢、TPP・RCEP、自由で開かれたインド太平洋地域の実現などを含む地域・国際場裡の課題について、一層連携していきたいと述べた¹²²。

《日越協力委員会及び日越外相ワーキングランチ》

9月13日、河野太郎外相とファム・ビン・ミン副首相兼外相は、午前10時30分から約75分間、日越協力委員会第10回会合を共催し、続いて11時45分から約65分間、外相会談（ワーキングランチ）を実施した。

日越協力委員会¹²³の冒頭で双方から、外交関係樹立45周年の節目にあたり、本会合を通じて両国協力関係の現状を把握し、クアン国家主席訪日の際の首脳間合意をフォローアップし、「広範な戦略的パートナーシップ」の更なる進展につなげたい旨の発言があった。

二国間関係について河野外相から、ベトナムの持続的成長は地域の平和・安定・繁栄にとって重要であり、日本企業の関心も引き続き高い。投資環境改善、成長モデルの転換、行政改革などに対するベトナムの努力を支援したい。ロンタイン空港、南北高速鉄道、南北高速道路、エネルギー開発、消防、郵便、情報通信、廃棄物処理などの分野における「質の高いインフラ」整備で協力したいと発言。また、人材育成について、日越大学や日本型高専教育を通じた協力、党幹部育成、アジア健康構想の下での医療人材育成が進むことに期待を示した。

ミン副首相からは、日本のODAを通じた協力や日本との投資・貿易関係はベトナムの社会経済発展に大きく貢献している。ベトナムは現在、生産性向上や成長モデル転換などを目標としており、インフラ、人材育成、行政改革、気候変動対策などの分野を中心に、引き続き日本の支援を期待する旨の発言があった。

¹²¹ 外務省「河野外務大臣によるフック・ベトナム首相表敬」2018年9月11日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_004324.html)。

¹²² 外務省「河野外務大臣によるクアン・ベトナム国家主席表敬」2018年9月12日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page6_000189.html)。

¹²³ 日越協力委員会の実施状況（2008～2019年）を前稿C（195頁）の表1に示した。

双方は、TPPやRCEPを通じて自由貿易を推進していく意思を再確認した。

人的交流について双方は、その拡大に歓迎と期待の意を示すとともに、日本で学ぶベトナム人留学生・技能実習生に関する悪質な仲介業者への対策が重要であるとの見解を共有し、緊密に連携していくことを確認した。河野外相は、引き続き文化・スポーツ交流を通じて国民間の友好関係を強化したい、人的交流の拡大のため本年度中に開始予定の日本語教師育成事業¹²⁴などを通じて日本語教育分野の協力を促進したいと述べ、ミン副首相は観光交流も促進したい旨発言した¹²⁵。

日越外相会談（ワーキングランチ）において河野外相は、日本とベトナムは地域の平和と安定を確保していく重要なパートナーであり、自由で開かれたインド太平洋地域の実現のため、これまで以上に連携していきたいと発言し、ミン副首相は、地域及び世界の平和と安定のため、地域・国際場裡における連携を深めたいと述べた。

両者はメコン地域全体の発展のための協力を進めていく意図を共有した。河野外相は、メコン諸国間の協力枠組みの定着にベトナムが積極的役割を果たすことに期待を示した。

両者はまた、南シナ海や北朝鮮などの地域・国際情勢につき意見を交換した¹²⁶。

（7）クアン国家主席（2018年9月）およびドー・ムオイ共産党元書記長の訃報（2018年10月）

2018年9月21日、チャン・ダイ・クアン国家主席が死去した（享年61）¹²⁷。以前から健康不安説があったが、2018年5月には国賓として来日して多忙な日程をこなし、健在ぶりを印象づけていた。それだけに突然の訃報は、日本の関係者にも大きな衝撃を与えた。

9月21日、安倍晋三首相はグエン・スアン・フック首相あてに、河野太郎外相はファム・ビン・ミン副首相兼外相あてに弔意メッセージを発出した¹²⁸。

9月26日にベトナム政府がハノイで実施した国葬には、二階俊博・日越友好議連会長（自民党幹事長）が総理特使として参列した。日本からはその他に、日越友好議連の林幹雄・幹事長代理、武部

¹²⁴ 本稿第1節第10項142頁以下参照。

¹²⁵ 以上はもっぱら、外務省「日越協力委員会第10回会合及び日越外相会談（ワーキングランチ）」2018年9月13日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page1_000650.html）；外務省“10th Meeting of the Japan-Viet Nam Cooperation Committee and Japan-Viet Nam Foreign Ministers Meeting (Working Lunch)” September 13, 2018（https://www.mofa.go.jp/s_sa/sea1/vn/page3e_000956.html）の要約に基づく。他に、ベトナム政府 Online Newspaper “10th meeting of the Japan-VN Cooperation Committee held” 13/09/2018（<http://news.chinhphu.vn/Home/10th-meeting-of-the-JapanVN-Cooperation-Committee-held/20189/34652.vgp>）；Nhân Dân online “Vietnam-Japan Cooperation Committee convenes 10th meeting” 13/09/2018（<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/6605502-vietnam-japan-cooperation-committee-convenes-10th-meeting.html>）などをも参照。

¹²⁶ 前注に示した（日本）外務省の資料を参照。また、河野外相が13時20分からハノイで実施した臨時記者会見をも参照。「河野外務大臣臨時会見記録（平成30年9月13日（木曜日）13時20分於：ベトナム・ハノイ）」（外務省：https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/kaiken/kaiken4_000748.html）；同英語仮訳“Extraordinary Press Conference by Foreign Minister Taro Kono, Thursday, September 13, 2018, 1:20 p.m., Hanoi, Socialist Republic of Viet Nam”（外務省：https://www.mofa.go.jp/press/kaiken/kaiken4e_000555.html）。

¹²⁷ 朝日新聞「ベトナムの国家主席が61歳で死去 今年来日、がん患う」2018年9月21日（<https://www.asahi.com/articles/ASL9P4KG6L9PUHBI01D.html>）；Viet Nam News “President Quang dies at 62” September, 21/2018（<https://vietnamnews.vn/politics-laws/466299/president-quang-dies-at-62.html>）など。クアン国家主席は1956年10月12日に北部のニンビン省に生まれた。享年は満年齢では61、数えでは62。

¹²⁸ 外務省「クアン・ベトナム国家主席の逝去を受けた安倍総理大臣及び河野外務大臣による弔意メッセージの発出」2018年9月21日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006459.html）。

勤・特別顧問、そして杉良太郎・日越特別大使などが参列した、

二階特使は同日、ファム・ミン・チン越日友好議連会長（共産党中央組織委員長、政治局員）と会談して弔意を伝えるとともに、両国間の良好な関係を確認した¹²⁹。

2018年10月1日、ドー・ムオイ元共産党書記長が死去した（享年101）¹³⁰。彼は1988年から1991年まで首相、1991年から1997年まで党書記長を務めたドイモイ初期の指導者であった。1995年4月にベトナムの共産党書記長として初めて来日、カンボジア和平協定（1991年）以降の両国関係の発展に弾みをつけた。

10月3日付けで安倍首相はフック首相に対して、河野外相はミン副首相兼外相に対して、哀悼のメッセージを發出した。また、10月5日に鈴木憲和外務大臣政務官が駐日ベトナム大使館を訪れて、弔意の記帳を行った¹³¹。10月6日～7日にハノイで行われた国葬には、梅田邦夫大使や日本共産党代表団などが参列した¹³²。

11月9日、日本政府は故ドー・ムオイ元書記長に旭日大綬章を追贈することを発表した（発令日は2018年10月1日）。マスコミ報道によれば、ベトナム人として同勲章を受章するのは、ファン・ヴァン・カイ元首相（20016年）、ヴー・コアン元副首相（2007年）、ファム・ザー・キエム元副首相兼外相（2012年）に次いで4人目であった¹³³。

(8) ベトナム海軍の艦艇初訪日（2018年9～10月）

2018年9月27日午前、ベトナム海軍のフリゲート艦「チャン・フン・ダオ」が横須賀の海上自衛隊基地に入港した。国交樹立45周年にあわせた友好親善の一環であった。27日には歓迎式、28～29日にはスポーツ交流などの親善行事が行われた。試験艦「あすか」がホストシップにあたった¹³⁴。

¹²⁹ 外務省「クアン・ベトナム国家主席国葬への二階総理特使参列」2018年9月25日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006464.html）；外務省「クアン・ベトナム国家主席国葬への二階総理特使派遣」2018年9月28日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page25_001628.html）；在ベトナム日本大使館「クアン・ベトナム国家主席国葬への二階総理特使派遣」2018年10月1日（https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Betonamukokkashuseikikusouhenonikaisoritokutaihaken.html）。

¹³⁰ 日本経済新聞「ベトナム元書記長、ド・ムオイ氏死去、最高指導者として初来日」2018年10月2日（<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO36000140S8A001C1FF2000>）；VietJo「ドー・ムオイ元書記長が死去、101歳：首相や書記長を歴任」2018年10月2日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/181002132456.html>）；VietnamNet（ベトナム政府）“Former Party General Secretary Do Muoi passes away” 02/10/2018（<https://english.vietnamnet.vn/fms/government/209403/former-party-general-secretary-do-muoi-passes-away.html>）など。

¹³¹ 外務省「ドー・ムオイ・ベトナム共産党元書記長の逝去を受けた安倍総理大臣及び河野外務大臣による弔意メッセージの發出」2018年10月3日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006491.html）；外務省「ドー・ムオイ・ベトナム共産党元書記長逝去を受けた鈴木外務大臣政務官による弔意の記帳」2018年10月11日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page3_002578.html）。

¹³² VietnamNet “Foreign delegations pay last respect to former Party chief Do Muoi” 07/10/2018（<https://english.vietnamnet.vn/fms/government/209718/foreign-delegations-pay-last-respect-to-former-party-chief-do-muoi.html>）。

¹³³ 在ベトナム日本大使館「ドー・ムオイ元書記長に対する叙勲」2018年11月12日（https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/DoMuoiotoshokichounitaisurujokun.html）；VietJo「日本政府、ドー・ムオイ元書記長に旭日大綬章を叙勲」2018年11月14日（<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/181113131745.html>）。

¹³⁴ 海上自衛隊横須賀地方隊「ベトナム海軍寄港（H30.9.27-9.30）」（<https://www.mod.go.jp/msdf/yokosuka/news/30/08.html>）；朝日新聞デジタル「ベトナム海軍艦艇が初来日、横須賀」2018年9月27日（<https://www.asahi.com/articles/DA3S13698837.html>）；VietJo「ベトナム海軍艦艇が初訪日、横須賀で海上自衛隊と交歓」2018年9月28日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/180927141910.html>）；VN Express “Vietnamese frigate on long naval journey docks in Japan” September 28, 2018（<https://e.vnexpress.net/news/news/vietnamese-frigate-on-long-naval-journey-docks-in-japan-3815991.html>）。

これまで日本から自衛隊の艦艇や哨戒機、輸送機がたびたびベトナムを訪問しているが¹³⁵、ベトナムからの海軍艦艇の日本訪問は、これが初めてのことであった。

30日に横須賀を出港した「チャン・フン・ダオ」は、10月3日に堺泉北港に入港した。堺市の竹山修身（おさみ）市長は歓迎式で、「古い交流の歴史があるベトナムとの絆を深くしたい」¹³⁶と述べた。同艦は6日まで堺港に滞在し、各種親善行事を行った。その間、海上自衛隊は護衛艦「あぶくま」をパートナーシップとして派出した¹³⁷。

なお、同じく9月には、海上自衛隊の潜水艦「くろしお」が南シナ海での訓練を実施した後に、カムラン湾を親善訪問している（9月17日～21日）¹³⁸。

（9）日メコン首脳会議（東京）とフック首相の来日（2018年10月）

2018年10月9日の午前9時20分から約1時間半、東京の迎賓館において第10回日本・メコン地域諸国首脳会議（日メコン首脳会議）が開催された。安倍晋三首相が主宰し、メコン地域5か国の首脳が出席した¹³⁹。

日メコン首脳会議は3年ごとに日本で実施され、そのたびに向こう3か年の中期的協力計画が採択されるのが慣例となっている（その他の年次は通常ASEAN域内で実施）¹⁴⁰。第10回首脳会議においては、「日メコン協力のための東京戦略2018」が採択された。「生きた連結性」（ハード連結性、ソフト連結性、産業連結性）、「人を中心とした社会」（人材育成、保健、教育、法律および司法協力）、「グリーン・メコンの実現」（防災および気候変動、水資源管理、循環経済、水産資源の保全および持続可能な利用）を三本柱とする、全てで24項目からなる文書である。前文に当たる第1項目で、日メコン協力が10周年を迎えた機会に、日本とメコン諸国の関係を「戦略的パートナーシップへと高める」ことが謳われている¹⁴¹。

以上の戦略文書以外に、3つの附属文書も採択された¹⁴²。

¹³⁵ 日越間の防衛交流については、前稿C第2節第2項を参照。

¹³⁶ 堺市とベトナムの交流については、本稿第1節第2項113～114頁を参照。

¹³⁷ 海上自衛隊「各種親善行事」（<https://www.mod.go.jp/msdf/operation/other/friendship/>）；毎日新聞（地方版）「ベトナム艦艇初来日、国交樹立45周年記念、堺で絆深めるイベント」2018年10月13日（<https://mainichi.jp/articles/20181013/dtl/k27/040/347000c>）；産経ニュース（動画つき）「ベトナム海軍フリゲート『チャン・フン・ダオ』堺寄港」2018年10月2日（https://www.youtube.com/watch?v=5woZnF_oZmc）。

¹³⁸ 前稿C第2節第2項（193頁）参照。

¹³⁹ 外務省「第10回日・メコン地域諸国首脳会議」2018年10月9日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/seal/page4_004407.html）；外務省“The 10th Mekong-Japan Summit Meeting” October 9, 2018（https://www.mofa.go.jp/s_sa/seal/page4e_000937.html）。ミャンマーからはアウンサン・スーチー国家顧問兼外相、他は各国首相が出席。

¹⁴⁰ 白石昌也「日本の対インドシナ・メコン地域政策の変遷」『アジア太平洋討究』17号（2011年）24頁以下；白石昌也「メコン地域協力をめぐる中国、日本、米国の対応」阿曾村邦昭・奥平龍二編著『ミャンマー：国家と民族』古今書院、2016年、483～485頁；ならびに白石昌也「日本・メコン地域協力枠組みの概観」山田満・菊込俊二編著『アジアダイナミズムとベトナムの経済発展』文真堂、2020年、252頁以下を参照。また、3年前の2015年7月に開催された第7回日・メコン首脳会議とそこで採択された文書については、前稿C第2節第3項（197～198頁）をも参照。

¹⁴¹ “Tokyo Strategy 2018 for Mekong-Japan Cooperation” October 9, 2018（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000406731.pdf>）。同邦語仮訳「日メコン協力のための東京戦略2018」2018年10月9日（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000406730.pdf>）。

¹⁴² 3つの附属文書とは、SDGsを推進するための日メコン協力プロジェクト、自由で開かれたインド太平洋を実現するためのわが国の政策との相乗効果が期待される日メコン協力、ACMECSマスタープランに関連した日本の現在進行中及び可能性のある協力プロジェクトである。前々注140に示した白石昌也「日本・メコン地域協力枠組みの概観」255～257頁を参照。

《フック首相の来日と日越首脳会談》

以上の日メコン首脳会議の開催に合わせて、グエン・スアン・フック首相が2018年10月7日から10日まで日本を訪問した。

フック首相一行は10月7日の午後遅くに東京に到着した¹⁴³。

翌8日の午前11時から約60分間、フック首相は総理官邸において安倍晋三首相との日越首脳会談に臨んだ。

会談の冒頭、安倍首相はフック首相の来日を歓迎し、チャン・ダイ・クアン国家主席とドー・ムオイ元書記長の逝去に対して改めて弔意を述べるとともに、外交関係樹立45周年の記念事業200件近くが実施されていることに満足の意を表明した。これに対してフック首相は、外交関係樹立45周年の節目に訪日できて嬉しい、「ベトナムにとって日本はあらゆる分野で特別なパートナーであり、ベトナムの発展戦略に非常に重要な役割を果たしている、両国関係を更に包括的、効果的に力強く発展させていきたい」と応じた。

二国間関係については、安倍首相から、ベトナムの持続的成長のために、ODAや民間投資などを通じて質の高いインフラ整備、行政改革、産業育成、労働生産性向上、エネルギーなどの分野で引き続き力強く支援したい。新たな外国人材受入れ制度の創設に向け検討を進めている。悪質な仲介業者や不適切な受入機関への対策は極めて重要であり協力していきたい。アジア健康構想の下で医療人材育成を進めたい。昨年発表したイニシアティブに基づき、本年度からベトナムでの日本語教師育成事業¹⁴⁴を開始するなど述べた。

フック首相からは、日本のODAがベトナムの経済社会開発に大きく貢献しており、引き続きインフラ整備、人材育成、電子政府、行政改革など様々な分野で支援いただきたい、今後とも効果的かつ効率的に日本のODAを活用していく。日本企業によるさらなる投資に期待しており、それを通じて裾野産業、ハイテク農業、再生可能エネルギーなどを発展させたい。人材交流をさらに拡大するとともに、悪質な仲介業者に対処したいと述べた。

両首脳はまた、海洋安保協力を進展させていく意思を確認した。TPP11の早期発効やRCEPの早期妥結などを通じて、自由貿易推進のメッセージを引き続き力強く世界に発信していく意思を確認した。自由で開かれたインド太平洋の実現の重要性について改めて認識を共有するとともに、ベトナムがASEAN対日調整国となったことを踏まえて、北朝鮮や南シナ海を始めとする地域・国際場裡における喫緊の課題についても率直かつ有意義な意見交換を行い、更に連携していくことで一致した¹⁴⁵。

首脳会談に引き続いて、両首相は11時55分から協力文書の交換式に立ち会い、そして共同記者発表を行った。協力文書交換式では、表1のとおり合計9件の文書が交換された¹⁴⁶。

¹⁴³ ベトナム共産党 Online Newspaper “PM arrives in Tokyo for 10th Mekong-Japan Summit Meeting” 08/10/2018 (<https://en.dangcongsan.vn/activities-of-the-party-and-state/pm-arrives-in-tokyo-for-10th-mekong-japan-summit-meeting-500553.html>) ; Viet Nam News “PM lauds Japan’s role in Mekong region” October, 08/2018 (<https://vietnamnews.vn/politics-laws/467360/pm-lauds-japans-role-in-mekong-region.html>)。

¹⁴⁴ 正式名称は「日本語教師育成強化特別事業」、本稿第1節第10項142頁を参照。

¹⁴⁵ 外務省「日・ベトナム首脳会談」2018年10月8日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_004401.html)。

¹⁴⁶ 文書①について、外務省「ベトナムに対する無償資金協力に関する書簡の交換（農業・水産食品の検査・品質能力の強化計画）」2018年10月8日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006558.html) によれば、供与限度額は12億400万円。支援対象のRETAQセンターは目下建設中。同施設の整備により、残留農薬検査や輸出入食品検査を国際基

その後12時30分から約50分間、昼食会が実施された。

表1 日越間の協力文書交換（2018年10月8日）

文書名	交換者
①無償資金協力「農業・水産食品の安全確保のための検査・農産食品品質コンサルティング（RETAQ）センター能力強化計画」に係る交換公文	梅田駐ベトナム大使／クオン駐日大使
②海洋政策の協力に関する覚書	宮腰内閣府海洋政策担当大臣／ハー天然資源環境大臣
③和歌山県とベトナム商工省との間の貿易及び産業連携促進のための覚書	仁坂和歌山県知事／アイン商工大臣
④消防分野における協力覚書	古賀総務大臣政務官／ヴォン公安次官
⑤日本で学ぶベトナム人留学生に関する協力覚書	梅田駐ベトナム大使／ギア教育訓練省次官
⑥カインホア省におけるパンフォン1BOT発電事業の契約書	秋元住友商事常務執行役員／アイン商工大臣
⑦日本サッカー協会とベトナムサッカー協会間の協力覚書	田嶋日本サッカー協会会長／トゥアン越サッカー協会副会長
⑧医療法人社団 KNI とベトドク大学病院との質の高い神経系リハビリテーションの技術協力についての合意書	北原医療法人社団 KNI 理事長／ザン・ベトドク大学病院院長
⑨ミズノと教育訓練省のベトナム小学校における体育教育促進に関する協力覚書	加藤ミズノ(株)代表取締役専務執行役員／ギア教育訓練次官

出所：外務省南東アジア第一課「日メコン首脳会議・署名案件概要：ベトナム（交換式：10月8日（月）11:55～）」2018年10月
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000406606.pdf>

* 原表に付されている「概要」を省略

《日メコン首脳会談など》

10月9日の朝、日本メコン友好議員連盟の主催するワーキング朝食会がホテル・ニューオータニで実施され、メコン地域5か国の首脳が出席した¹⁴⁷。

それに続いて、同日午前には第10回日メコン首脳会議が迎賓館赤坂離宮で開催された。安倍首相が各国首脳の到着を迎賓館入り口で出迎えた。続いて安倍首相とメコン地域の首脳たちは、日メコンU17サッカー交流大会に参加した日本およびメコン各国の代表選手との交流会に臨んだ。

その後、首脳会談が開始された。会談の冒頭で安倍首相は出席者に歓迎の辞を述べ、そしてベトナムのクアン国家主席とドー・ムオイ元書記長に対する弔意を表明した。本項冒頭に述べたとおり、会談では「東京戦略2018」が採択された。

会談後の共同記者発表では、安倍首相、次いでメコン地域5か国の首脳が一人ずつ発言した。フック首相は日メコン協力に対するベトナムのコミットメントを改めて言明し、統合的、持続的、包摂的に協力を推進していくとの抱負を述べた¹⁴⁸。

準に沿って実施することが可能となり、国内で流通する食品の信頼性が向上し、また同国の農業・水産食品の輸出拡大により貧困削減・格差是正が期待されるとする。文書⑦について、日本サッカー協会（JFA）「ベトナムサッカー連盟とのパートナーシップ協定を再締結」2018年10月8日（https://www.jfa.jp/about_jfa/news/00019036/）によれば、既存のパートナーシップを延長する協定で、期間は調印日から3年間（最長5年間）、指導者・専門家などの人的交流、チーム間の交流などを内容とする。

¹⁴⁷ 10月9日朝から夕方までのメコン諸国首脳の日程概観は、The Global New Light of Myanmar “State Counsellor Daw Aung San Suu Kyi attends, addresses 10th Mekong-Japan Summit Meeting, Japan-Mekong Economic Forum” October 10, 2018（<https://www.gnlm.com.mm/state-counsellor-daw-aung-san-suu-kyi-attends-addresses-10th-mekong-japan-summit-meeting-japan-mekong-economic-forum/>）。

¹⁴⁸ 迎賓館での安倍首相出迎え、サッカー選手たちとの交流、首脳会談における安倍首相の冒頭発言、そして共同記者発表における安倍首相とメコン各国首脳の発言（通訳のみ）は、首相官邸「日・メコン地域諸国首脳会議出席等」2018年10月9日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201810/09mekong.html）に添付された内閣広報室の動画（<https://nettv>）。

9日の12時から13時30分にかけてホテル・ニューオータニで、日本経済団体連合会（経団連）と日本商工会議所の主催するメコン5カ国首脳歓迎昼食会が実施された。メコン諸国からは各国首脳を初めとして約30名、日本側からは約120名が出席した。

主催者を代表して経団連の古賀信行・審議委員会議長が歓迎挨拶、日本商工会議所の小林洋一・日本メコン地域経済委員会委員長が乾杯挨拶を述べ、メコン各国首脳が発言した。

古賀議長は、各種インフラの整備やRCEP（東アジア地域包括的経済連携）の（将来的な）実現によって、メコン地域内の連結が強化され、各国の優位性が相互に補完されると述べ、日本の経済界は政府と連携して質の高いインフラ整備やイノベーション、産業人材育成などの面でメコン各国のさらなる発展に貢献したいと抱負を語った。

フック首相は、ベトナムには多くの日本企業が進出しており、輸出にも大きく貢献している。引き続き日本からの投資、とりわけインフラ整備、農業、銀行、人材育成、ハイテクなどの分野への投資に期待する。航空や保険などベトナム国有企業の株式公開にも協力してほしい。2018年のベトナムのGDP増加率はおそらく6.7%に達し、今後もさらなる成長が期待される。引き続き法整備や投資環境の改善に努める。TPP11の早期発効にも期待しているなどと発言した¹⁴⁹。

同日午後には、JETRO主催の「日本メコン・ビジネスフォーラム：躍動メコン、アジア地域バリューチェーンのハブへ」が実施され、メコン地域5カ国の首脳が出席、日本とメコン諸国の企業600社以上が参加した。

同フォーラムでフック首相は、ベトナムの政治的、社会的な安定性とマクロ経済の堅実性を強調、2017年の対ベトナム投資額で日本が首位に復帰したことを報告、とりわけ交通インフラ、エネルギー、製造業、農業、金融業、医療などの分野における質の高い投資を優先したいと発言した¹⁵⁰。

10月9日午後、天皇の招待による宮中茶会が実施され（皇太子も出席）、メコン地域5カ国の首脳などが参加した。天皇はフック首相から2017年の同国訪問の感想を尋ねられると、「大変思い出に残る訪問でした」と答えた¹⁵¹。

gov-online.go.jp/prg/prg17799.html) に収録されている。

¹⁴⁹ 週刊経団連タイムズ (No. 3381) 「メコン5カ国首脳歓迎昼食会を開催—メコン地域と日本との経済協力の強化について懇談」2018年10月18日 (https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2018/1018_03.html) ; 日本商工会議所「メコン5カ国首脳歓迎昼食会開催概要」2018年11月15日 (東京商工会議所: <https://www.tokyo-cci.or.jp/about/international/file/MekongSummaryReport201810.pdf>)。

¹⁵⁰ 日本商工会議所「日・メコンビジネスフォーラム開催 (ジェットロ)」2018年9月27日 (<https://www.jcci.or.jp/news/trend-box/2018/0927132009.html>) ; JETRO「日・メコンビジネスフォーラムを開催：5カ国の首脳が一堂に会しトップセールス」2018年10月 (https://www.jetro.go.jp/jetro/topics/2018/1810_topics4.html) ; JETRO 同上英訳“Japan-Mekong Business Forum-Five leaders gather to promote business in Mekong region” October 2018 (https://www.jetro.go.jp/en/jetro/topics/2018/1810_topics4.html) ; JETRO「5カ国首脳がトップセールス、日・メコンビジネスフォーラム開催」2018年10月17日 (<https://www.jetro.go.jp/biznews/2018/10/4786fc6a6263e5.html>) ; 日本経済新聞「メコン首脳、輸送網充実に意欲：都内でビジネスフォーラム」2018年10月9日 (<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO36272990Z01C18A0FFE000/>) ; Viet Nam News “PM Phúc attends Mekong-Japan business forum” October, 10/2018 (<https://vietnamnews.vn/economy/467506/pm-phuc-attends-mekong-japan-business-forum.html>) ; ベトナム政府Online Newspaper “PM attends Mekong-Japan Investment Forum” 09/10/2018 (<http://news.chinhphu.vn/Home/PM-attends-MekongJapan-Investment-Forum/201810/34864.vgp>)。

¹⁵¹ 宮内庁「天皇后両陛下のご日程：平成30年（10月～12月）」 (<https://www.kunaicho.go.jp/page/gonitai/show/1?quarter=201804>) ; 日本経済新聞「天皇陛下、メコン地域首脳招き茶会、皇居・宮殿」2018年10月9日 (<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO36264970Z01C18A0CR8000/>)。

《ベトナム投資カンファレンス》

2020年10月10日、JETROとベトナム計画投資省は、グエン・スアン・フック首相の訪日に合わせて、「ベトナム投資カンファレンス：ベトナム投資の新潮流」を東京で開催した。5月の（故）チャン・ダイ・クアン国家主席来日の際に実施されてから半年たらず、同一年に2度のベトナム投資カンファレンスが実施されることとなった。出席者は約1,000人であった。

フック首相は基調講演で、ベトナムが高付加価値産業にシフトしつつあると強調した上で、特に国有企業の株式化、重点的なインフラ整備、スタートアップ企業の3分野への投資を呼びかけた。続いてフック首相立ち合いの下、教育、エネルギー、医療、インフラ整備、建設、航空、農業などの分野で両国の省庁や企業間の提携契約や覚書など計19件、総額100億米ドル（約1兆1,200億円）の文書が交換された。

後半のパネルディスカッションでは、ベトナムに進出している三菱商事、エースコック、大成建設の3社が、現地小売市場開拓や建設技術者の育成、投資環境改善に向けた取り組みなどについて紹介し、これに対してグエン・チー・ズン計画投資相とゾアン・マウ・ジェップ労働傷病兵社会問題省副大臣がコメントした。ズン大臣は、特にハイテク農業や研究開発分野などへの日本からの投資に期待を示し、また外資企業と地場企業のさらなる連携の必要性を訴えた。ジェップ副大臣は、日本企業の関心が高い外国人に対する強制社会保険加入の問題について、日越間の社会保障協定締結に向けて厚生労働省との交渉を進めていることを明らかにした。

このほか、格安航空会社ベトジェット・エアが、11月8日に関空～ハノイ線、12月14日に関空～ホーチミン線を就航させることを発表した。同社のグエン・ティン・ファン会長は挨拶の中で、関空の台風21号被害からの復興と日本の経済発展に貢献できるよう努力したいと述べた¹⁵²。

同じく10月10日に、フック首相一行は国会を訪問し、衆議院の大島理森議長、そして参議院の伊達忠一議長とそれぞれ会談した¹⁵³。

安倍首相は2018年10月18日～19日にアジア欧州（ASEM）首脳会合に出席するためベルギーへ、11月14日～15日にASEAN関連首脳会合に出席するためシンガポールへ、そして11月17日～18日にAPEC首脳会議に出席するためパプアニューギニアに赴いているが、それらの機会に、ベトナムを初めとするメコン地域各国の首脳と二者会談を行うことはなかった¹⁵⁴。

¹⁵² JETRO「ベトナム投資カンファレンス、東京で10月開催—フック首相ら登壇」2018年10月2日（<https://www.viet-jo.com/news/event/180928145920.html>）；JETRO「ベトナム投資カンファレンスを東京で開催、2018年で2回目」2018年10月17日（<https://www.jetro.go.jp/biznews/2018/10/4408fb0f55db109c.html>）；VietJo「フック首相、東京講演で日本企業に投資呼びかけ—総額100億USDの越日企業間契約も」2018年10月12日（<https://www.viet-jo.com/news/economy/181012060146.html>）。

¹⁵³ 衆議院「ベトナム社会主義共和国首相一行の衆議院訪問」（http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/topics/hyoukei181010.html）；参議院「グエン・スアン・フック・ベトナム社会主義共和国首相一行の参議院訪問」2018年10月10日（https://www.sangiin.go.jp/japanese/kokusai_kankei/houmon/h30/181011.html）；Viet Nam News “PM Phúc meets with leaders of Japanese parliament” October, 11/2018（<https://vietnamnews.vn/politics-laws/467603/pm-phuc-meets-with-leaders-of-japanese-parliament.html>）。

¹⁵⁴ 外務省「安倍総理大臣の欧州訪問及び第12回ASEM首脳会合出席（平成30年10月16日～20日）」2018年10月19日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ep/page25_001664.html）；外務省 “Prime Minister Abe Visits Europe and Attends ASEM 12 Summit Meeting in Belgium（October 16 - 20, 2018）” October 19, 2018（https://www.mofa.go.jp/erp/ep/page25e_000246）。

(10) 日本語教師育成強化特別事業の開始 (2018年10月)

2018年10月24日ハノイの日本大使公邸において、ベトナムにおける「日本語教師育成強化特別事業」(本稿126頁や135頁,138頁に言及)の記念セレモニーと事業説明会が実施された¹⁵⁵。梅田邦夫・大使が挨拶し、在ハノイの国際交流基金日本文化交流センター安藤敏毅所長が事業の概要を説明した¹⁵⁶。

この事業は、2017年6月5日に東京で開催された第23回国際交流会議「アジアの未来」(日本経済新聞社主催)の晩餐会において、安倍晋三首相が「アジアの各地で3か所くらい拠点をを選び、日本語の先生を育てる場所を設けます」と発言した¹⁵⁷ことを受けて発足したものである。具体的には、インド、ベトナム、ミャンマーの3か国を対象とする事業が2018年度に開始された¹⁵⁸。

国際交流基金による2015年の調査によれば、ベトナムでの日本語学習者数は64,863人で世界第8位¹⁵⁹、また国際交流基金が実施した2017年の日本語能力試験(JLPT)の受験者数(年2回の合計)は71,242人で、中国、台湾に次ぎ世界第3位となっている¹⁶⁰。ベトナムにおける日本語学習熱の高まりは、同国から日本への技能実習生や留学生の量的拡大¹⁶¹と表裏一体のものであり、また同国への日系企業の旺盛な進出¹⁶²とそれに伴う日本語人材の需要増加を反映したものである。さらに、ベトナム人の親日的な感情、アニメやマンガ、ポップミュージックなどを通じての日本文化への愛着といった

html)。ならびに、外務省「安倍総理大臣のASEAN関連首脳会議出席、豪州訪問及びAPEC首脳会議出席(平成30年11月14日～18日)」2018年11月18日(https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002609.html)；外務省“Prime Minister Abe Attends ASEAN-related Summit Meetings, Visits Australia and Attends APEC (November 14–18, 2018)” November 18, 2018 (https://www.mofa.go.jp/a_o/rp/page3e_000959.html)。

¹⁵⁵ 在ベトナム日本大使館「日本語教師育成強化特別事業開始記念セレモニー兼事業説明会」の開催 2018年11月1日(https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Nihongokuyoushiikuseikyokutekubetsujigyokaishi.html)；VietJo「日本語教師育成強化特別事業を開始へ、日越首脳会議でも合意」2018年11月2日(<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/181101171341.html>)。

¹⁵⁶ 梅田邦夫(大使)「日本語教師育成強化特別事業開始記念セレモニー兼事業説明会挨拶(於：公邸, 2018年10月24日(水)18:30)」(<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000414704.pdf>)；安藤敏毅(国際交流基金ベトナム日本文化交流センター所長)「日本語教師育成強化特別事業開始記念セレモニー兼事業説明会(2018.10.24)挨拶及び説明」(<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000414701.pdf>)。

¹⁵⁷ 「第23回国際交流会議『アジアの未来』晩餐会・安倍内閣総理大臣スピーチ」2017年6月6日(首相官邸：https://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2017/0605speech.html)。同英語仮訳は“Asia’s Dream: Linking the Pacific and Eurasia” —Speech by Prime Minister Shinzo Abe at the Banquet of the 23rd International Conference on The Future of Asia” June 5, 2017(首相官邸：https://japan.kantei.go.jp/97_abe/statement/201706/1222768_11579.html)。

¹⁵⁸ 外務省「独立行政法人国際交流基金・平成30年度業務実績評価」2019年8月(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000512703.pdf>) 38頁。

¹⁵⁹ 国際交流基金(Japan Foundation), “Survey Report on Japanese-Language Education Abroad 2015,” 2017 (https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/result/dl/survey_2015/Report_all_e.pdf) p. 13. さらに、2018年度日本語教育機関調査速報値によると、学習者人口は約17万5千人で世界6位、前回2015年度調査からの日本語学習者数の増加数は世界1位となった。国際交流基金「ベトナム(2019年度)：日本語教育国・地域別情報」(<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2019/vietnam.html>)。

¹⁶⁰ 国際交流基金・日本国際教育支援協会『2017年第1回日本語能力試験結果の概要』2017年7月(https://www.jlpt.jp/statistics/pdf/2017_1_9.pdf) 12～14頁；国際交流基金・日本国際教育支援協会『2017年第2回日本語能力試験結果の概要』2017年12月(https://www.jlpt.jp/statistics/pdf/2017_2_9.pdf) 12～16頁。

¹⁶¹ 前稿Cの第3節第3項(233頁)、および「おわりに」(255頁)に言及したとおり、2017年時点でベトナムらかの留学生は中国に次いで2位、技能実習生は中国を抜いて1位となっている。

¹⁶² 本稿第1節第9項(140頁)にも言及したとおり、2017年の対越投資額で日本が首位に復帰している。さらに、2018年も日本が連続して首位となった。JETRO「日本からの投資額が2年連続首位、製造業の追加投資も拡大(ベトナム)：2018年の対ベトナム直接投資の分析」2019年6月17日(<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2019/1195e69a4f81a3a4.html>)。

要素も無視できない。

他方、ベトナム国内では日本語を教える機関が増大するとともに多様化している。大学レベルにおいてはハノイ、ホーチミン市、ハイフォン、ダナン、フエといった大都市のみならず、その他の地方都市にも日本語学科が開設され始めている。第1外国語として日本語を教える中学・高校は全国で75校、さらに目下実験的に行われている小学校での日本語教育も翌2019年度から第一外国語として普及段階に移行する¹⁶³。これら正規の学校教育以外に、日本語を教える民間の語学学校、技能実習生に予備教育として日本語を教える機関もかなりの数に上り、さらに日越EPA（経済連携協定）に基づく介護・看護分野における日本語教育も2012年12月から開始された（2018年12月に7期生）。

以上のような日本語学習者の量的増加、そして日本語教育の多様化に対応するために、ベトナムにおける「日本語教師育成強化特別事業」は、日本語教師の量的不足を補うための「新規日本語教師育成講座」と、既存の日本語教師に対する能力強化（質的拡充）を図るための「現職日本語教師向け能力強化講座」の二本立てで展開された。新規教師、および現職教師向けの講座を合わせて、5年間で800名以上を養成する計画である。

1期目の「新規日本語教師育成講座」はハノイの国際交流基金ベトナム日本文化交流センターで2018年12月8日に開講し、2019年4月21日に閉講式を迎えた。週末を利用した200時間に及ぶカリキュラムを経て、44名の応募者から選ばれた19名の受講者のうち最終的に18名が修了認定証を手にした。第2期の「新規日本語教師育成講座」は、大学の夏期休暇を利用し平日に開講する短期集中コース（6月17日から7月26日まで）として、27名が受講する予定である。

「現職日本語教師向け能力強化講座」については、2018年度中にハノイ、そしてハイフォン、フエ、ダナン、ホーチミン市の5か所で、週末の1日半または2日間を使って、合計8講座が実施された。ハノイ以外の都市には、ベトナム日本文化センターの日本語専門家とスタッフが出張した¹⁶⁴。

なお、ベトナムでは日本語教育者の全国的な組織「ベトナム日本語・日本語教育学会」が2016年11月に設立を認可され、2017年9月に設立発表式典、そして2018年12月に初のワークショップを実施している¹⁶⁵。

¹⁶³ 中学・高校レベルにおいては、2003年から実験校での課外授業として日本語教育が始められ、2005年から試行段階、2007年から普及段階として日本語が第一外国語科目として教えられるようになった。小学校レベル（3年生以上）にあつては、2016年9月の新学期からハノイ市とホーチミン市の5校で試行導入され、2019年9月から普及段階に移行した。同じく2019年に、小学校で日本語を学んだ生徒の進学に対応して、日本語既習者を対象とするクラスがハノイ市とホーチミン市の中学各1校に試験的に開設された。国際交流基金「ベトナム（2019年度）：日本語教育国・地域別情報」（<https://www.jpfa.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2019/vietnam.html>）。

¹⁶⁴ 注156に示した安藤敏毅の「挨拶及び説明」；ならびに在ベトナム日本大使館「日本語教師育成強化特別事業の『新規教師育成講座』が開講しました」2018年12月12日（https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Shinkikyoshiikuseikouza.html）；在ベトナム日本大使館『日本語教師育成強化特別事業』の第1回新規日本語教師育成講座の第一期生が全課程を修了しました」2019年4月24日（https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Nihongokyoshiikuseikyoutokubetsujigyo.html）；雄谷進（ベトナム日本文化交流センター日本語専門家）「ベトナムで『日本語教師育成特別強化事業』が始まりました！—その成果と課題、展望もふくめて」（国際交流基金：<https://www.jpfa.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/report/201908.html>）。

¹⁶⁵ 注158に示した外務省資料、39頁。

第2節 2019年の展開

(1) 岩屋防衛相の訪越と防衛産業間協力覚書の署名（2019年5月）

2019年5月初め、岩屋毅（たけし）防衛相がベトナムを訪問した。

5月2日午後、岩屋大臣はゴー・スアン・リック国防相と会談した。席上両者は、前年4月にリック大臣が訪日した際に小野寺五典防衛相との間で署名した「日越共同ビジョン」¹⁶⁶を踏まえて、ハイレベルの交流、艦艇・航空機の訪問、能力構築支援、「ビエンチャン・ビジョン」（日ASEAN間の防衛協力指針）¹⁶⁷に基づいた多国間協力などを推進することで一致した。地域情勢に関して、両者は北朝鮮問題や南シナ海問題で引き続き連携していくことを確認。また、岩屋大臣から「自由で開かれたインド太平洋」¹⁶⁸ビジョン、そして前年12月に閣議決定された新防衛大綱について説明があり、これに対してリック大臣から日本の関与を歓迎する旨の応答があった¹⁶⁹。

会談後、両者立ち合いの下に、深山延暁（みやま・のぶあき）装備庁長官とグエン・チー・ヴィン国防次官との間で「防衛産業間協力の促進の方向性に係る日越防衛当局間の覚書」が署名された。ハノイで5月2日夕刻に実施された臨時記者会見における岩屋防相の説明によれば、同覚書の趣旨は、「ビエンチャン・ビジョン」の下に、日本の防衛装備移転三原則を踏まえて、海洋安全保障、捜索・救難、人道支援・災害救援、地雷・不発弾の処理、サイバーセキュリティ、輸送、警戒・監視、掃海といった分野で日越間の防衛装備・技術協力を推進していくことにある¹⁷⁰。

岩屋防衛相は5月3日、レー・ドゥック・アイン元国家主席の国葬に参列した。アインは1987～91年に国防相、1992～97年に国家主席を務めたドイモイ初期ベトナム政界の重鎮である。2019年4月22日に死去した（享年98）¹⁷¹。

翌5月4日の午前、岩屋防衛相はグエン・スアン・フック首相を表敬訪問した。会談の冒頭フック首相から、前日のアイン元国家主席国葬への参列に謝意が示された。岩屋防相は、今回の日越防衛相会談の成果を踏まえ、幅広い分野において防衛協力を進めていきたいと述べた。両者はまた北朝鮮情勢や南シナ海情勢に関しても意見を交換した¹⁷²。

2019年の主だった防衛交流について、岩屋防相の訪越以外の出来事を概観すれば、11月25日に両国の次官級による第7回国防政策対話がハノイで実施された¹⁷³。また、部隊間交流としては、6月

¹⁶⁶ 本稿第1節第1項（108～109頁）参照。

¹⁶⁷ 「ビエンチャン・ビジョン」については、前稿Cの注192を参照。

¹⁶⁸ 「自由で開かれたインド太平洋」については、前稿Cの注197を参照。

¹⁶⁹ 防衛省「日越防衛相会談（概要）」2019年5月2日（https://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/area/2019/20190502_vnm-j.html）；日本経済新聞「南シナ海問題の平和解決を、日越防衛相が認識共有」2019年5月2日（<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO44407830S9A500C1000000>）；Vietnam News wire “Vietnam, Japan reinforce defence links” May 2, 2019（<https://vietnamnewswire.com/vietnam-japan-reinforce-defence-links/>）。

¹⁷⁰ 「防衛大臣臨時記者会見」2019年5月2日19:27～19:37（日本時間）（国立国会図書館：<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11450712/www.mod.go.jp/j/press/kisha/2019/05/02a.html>）。

¹⁷¹ 共同通信「レ・ドク・アイン氏死去、元ベトナム国家主席」2019年4月23日（西日本新聞：<https://www.nishinippon.co.jp/item/o/504832/>）；Nhân Dân online “Condolences sent to Vietnam over former President Le Duc Anh’s death” 3 May, 2019（<https://en.nhandan.com.vn/politics/external-relationships/item/7432702-condolences-sent-to-vietnam-over-former-president-le-duc-anh%E2%80%99s-death.html?PageSpeed=noscript>）。

¹⁷² 防衛省「岩屋防衛大臣によるフック越首相表敬（概要）」2019年5月4日（国立国会図書館：https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11450712/www.mod.go.jp/j/approach/exchange/area/docs/2019/05/04_j-viet_gaiyo.html）。

¹⁷³ VietJo「第7回日越国防政策対話、国防関係の深化で一致」2019年11月27日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/>）

14日から17日まで海上自衛隊の護衛艦「いずも」と「むらさめ」が、72日間に及ぶインド洋・太平洋航海訓練の一環としてカムラン湾を親善訪問¹⁷⁴、そして12月12日から15日まで海上自衛隊の掃海母艦「ぶんご」と掃海艇「たかしま」が、インド洋・太平洋方面での海上訓練の一環としてダナン港に寄港している¹⁷⁵。

（2）ミン副首相兼外相の来日と日越協力委員会（2019年5月）

《日越協力委員会と外相ワーキングランチ》

2019年5月29日から31日まで、ファム・ビン・ミン副首相兼外相が来日した。主たる目的は、河野太郎外相と日越協力委員会の共同議長を務めることと両国外相会合を実施すること、ならびに日本経済新聞社主催の国際交流会議で講演することであった¹⁷⁶。

5月30日の午前10時10分から約50分間、日越協力委員会第11回会合が実施された。冒頭の挨拶でミン副首相は、日本政府が来るG20大阪サミットにグエン・スアン・フック首相を特別招待したこと（本稿第2節第4項147頁以下に後述）に謝意を表明、また今回の会合を通じて両国間のパートナーシップをさらに包括的かつ効果的なものにしていきたいと述べた。

人的交流に関して双方は、4月から開始された日本の「特定技能」制度に期待を示し、また悪質な仲介業者や不適切な受入機関への対策について引き続き協力することを確認した。双方は受刑者移送条約に関する交渉¹⁷⁷が実質合意に達したことを確認し、同条約の早期署名に努力することで一致した。さらに、文化交流や日本語教育普及、観光分野の交流拡大などについても話し合った。経済面での協力に関して、河野外相はODAや政策対話を通じて、ベトナムの人材育成、ガバナンス、保健医療、環境、情報通信、郵便などの分野で協力していきたい、また民間投資を促進するためにも投資環境のさらなる改善に期待する旨述べた。ミン副首相は、日本のODAを引き続き効率的に活用していく、透明かつ円滑な投資環境の整備に引き続き取り組んでいくと応じた。双方はTPP11協定の着実な実施、およびRCEP協定の交渉において引き続き連携していくことで一致した¹⁷⁸。

日越協力委員会に続いて、午前11時から約60分間、日越外相会談（ワーキングランチ）が実施された。

その中で双方は、活発な要人往来などを通じて、両国間の「広範な戦略的パートナーシップ」を強

191126194619.html)。

¹⁷⁴ 前稿Cの第2節第2項（193頁）参照。

¹⁷⁵ ダナン市人民委員会「12月12日～15日：日本海上自衛隊がダナン訪問」2019年12月18日（https://www.danang.gov.vn/web/ja/detail?id=38170&_c=30675010）；防衛省・自衛隊「ベトナムに対する水中不発弾処分分野の能力構築支援事業の実施について」2019年12月12日（<https://www.mod.go.jp/j/press/news/2019/12/12a.html>）；VOV World「日本海上自衛隊の艦艇2隻、ダナンに寄港」2019年12月12日（<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E6%B5%B7%E4%B8%8A%E8%87%AA%E8%A1%9B%E9%9A%8A%E3%81%AE%E8%89%A6%E8%89%87%EF%BC%92%E9%9A%BB%E3%82%BF%E3%83%8A%E3%83%B3%E3%81%AB%E5%AF%84%E6%B8%AF-810102.vov>）；VietJo「海上自衛隊『ぶんご』『たかしま』がダナンに寄港、海上訓練で」2019年12月13日（<http://www.viet-jo.com/news/politics/191212182131.html>）。

¹⁷⁶ VietJo「ミン副首相、5月29日から日本を訪問」2019年5月27日（<https://www.viet-jo.com/news/politics/190527130835.html>）。

¹⁷⁷ 本稿第2節第4項（151～152頁）を参照。

¹⁷⁸ 外務省「日越協力委員会第11回会合及び日越外相会談（ワーキングランチ）」2019年5月30日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007468.html）。

化していく意思を確認した。また、2020年1月に日本政府がダナン領事事務所を開設すること¹⁷⁹に歓迎の意を示した。その他、日メコン「東京戦略2018」の実現に向けての協力、翌週ベトナムで開催される「ASEAN-Japan Day」¹⁸⁰の成功に向けての協力について確認し、また北朝鮮情勢や南シナ海問題を含む地域的課題につき意見を交換した¹⁸¹。

《アジアの未来での講演と安倍首相表敬》

5月30日の午後、ミン副首相は日本経済新聞社が主催する第25回国際交流会議「アジアの未来」で講演を行った。会議自体は同日の午前より開始されており、マレーシアのマハティール・ビン・モハマド首相、バングラデシュのシェイク・ハシナ首相、カンボジアのフン・セン首相が基調講演を行っていた。ミン副首相は午後の部の最初のスピーカーであった¹⁸²。

ミン副首相は講演の中で、保護主義の高まりなど様々な試練に直面している世界において、アジアが果たす役割が大きくなっているとして、TPP11の成立やRCEP交渉の進展を指摘。持続的かつ効果的な世界秩序の形成にとって、包括的な多国間主義、法に基づくとの原則、平等と公正の3要素が不可欠であると指摘。ベトナムは東南アジアで最も成長が早く、かつ開放的な経済を有している。ベトナムは東南アジアで唯一、G7の全ての国（そしてG20のうち16か国）と戦略的もしくは包括的パートナーシップを構築しており、また多くの国々とFTAを締結済みか交渉中である。ベトナムにとって日本は、最も重要な経済的パートナーであり、両国の協力が地域の繁栄に大きく貢献すると述べた¹⁸³。

5月30日の午後6時35分から約15分間、ミン副首相は**安倍首相を表敬**した。安倍首相は会談の冒頭で、6月のG20大阪サミットでのフック首相との再会を楽しみにしていると伝えた。また、在日ベトナム人が約33万人に達している事実を指摘し、日本を理解するベトナム人の存在は両国関係にとって大きな財産であると述べた。これに対してミン副首相は、ベトナムは日本との関係を大変重視しており、本日午前に実施した日越協力委員会及び外相会談の成果を通じて、両国首脳間の合意事項を実施し、あらゆる分野での協力と連携をさらに促進していきたいと述べた。その他、両者は北朝鮮情勢や南シナ海問題などについても意見を交換した¹⁸⁴。

¹⁷⁹ 本稿第3節第1項参照（次号掲載予定）。

¹⁸⁰ 本稿第1節第5項（132頁ならびに注115）参照。

¹⁸¹ 注178に示した外務省資料参照。

¹⁸² 日本経済新聞社「第25回国際交流会議アジアの未来：新たな秩序の模索－混沌を越えて・プログラム」（<http://future-of-asia.nikkei.jp/asia2019/schedule.html>）；日本経済新聞社“25th International Conference on the Future of Asia: Seeking a new global order-Overcoming the Chaos: Conerence Program”（<http://future-of-asia.nikkei.jp/asia2019/eng/schedule.html>）。

¹⁸³ ミン副首相兼外相のスピーチ全文は、ベトナム政府 online newspaper “Deputy PM, FM Minh’s full remarks at 25th Intl Conference on Future of Asia” 30/05/2019（<http://news.chinhphu.vn/Home/Deputy-PM-FM-Minh-s-full-remarks-at-25th-Intl-Conference-on-Future-of-Asia/20195/36721.vgp>）。

¹⁸⁴ 以上の要約は、外務省「ミン・ベトナム副首相兼外務大臣による安倍総理大臣表敬」2019年5月30日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page6_000329.html）による。一方、ベトナム共産党の機関紙 Nhân Dân online “Deputy PM Pham Binh Minh meets Japanese, Lao leaders in Tokyo” 05/30/2019（<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7525802-deputy-pm-pham-binh-minh-meets-japanese-lao-leaders-in-tokyo.html>）の要約によれば、ミン副首相は「令和」の開始に際して新天皇・皇后に対する祝意を述べた。そして、2国間の広範な戦略的パートナーシップが高度の政治的な信頼と相まって、包括的、実質的に発展していることは喜ばしい。ベトナムは常に日本を最重要の、長期的なパートナーと見なしている。これに対して安倍首相は、日越協力委員会の成果を喜び、日本もまたベトナムを地域における重要なパートナーであると見なしている。同国の発展を引き続き支援する。両国が参加するTPP協定の実施が、日本企業の対越投資を促進するであろうと述べた。安倍首相はまた、2月のハノイでの米朝首脳会談開催に関するベトナムの貢献を高く評価し

以上の会合のほか、ミン首相は日本滞在中、衆議院の大森理森議長や参議院の伊達忠一議長、JICAの北岡伸一理事長、そして「アジアの未来」会議に出席していたラオスのトンルン・シースリット首相らと面談している¹⁸⁵。

（3）日越戦略的パートナーシップ対話（2019年6月）

2019年6月3日ハノイにおいて、第7回日越戦略的パートナーシップ対話が開催された。

この会合は、2010年7月に民主党の岡田克也外相が訪越した際に提案し、ベトナム側が同意したことによって発足した。両国の外務省と防衛省の関係者が会合する次官級の対話枠組である。第1回の「日越戦略的パートナーシップ対話」は2010年12月にハノイで実施された。以降、第2回が2011年12月（東京）、第3回が2012年12月（ハノイ）、第4回が2013年11月（東京）、第5回が2014年10月（ハノイ）、第6回が2015年12月（東京）と年次開催されてきたが、第7回対話は3年半のインターバルを置いて開催されることになった¹⁸⁶。

今次の第7回対話には、日本側から森健良外務審議官、鈴木秀雄防衛省防衛政策局次長など、ベトナム側からレー・ホアイ・チュン外務次官などが出席した。双方は、ベトナムが目下ASEANの対日調整国であり、かつ翌2020年にはASEAN議長国となることを踏まえつつ、両国の外交・安全保障政策や地域・国際情勢等について意見交換し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた二国間協力や国際場裡における様々な協力などについて包括的に議論した。双方は、次回対話を2020年に日本側が主催することを確認した¹⁸⁷。

（4）G20大阪サミットとフック首相の来日（2019年6～7月）

《日本政府によるG20大阪サミットへの特別招待》

2019年6月28日から29日にかけて、G20大阪サミットが開催された¹⁸⁸。G20を日本が主催するのはこれが初めてのことである。

会合には正式メンバー以外に、8か国と8機関が日本政府によって特別招待された。東南アジアからの招待国は、シンガポールとタイ（同年のASEAN議長国）、そしてベトナムの3か国であった¹⁸⁹。

た。双方は、来る6月のG20大阪首脳会議の成功に向けて連携することで一致した。

¹⁸⁵ 前注に記した Nhân Dân online 記事による。

¹⁸⁶ 白石前稿 A306～307頁；および前稿 C の190頁ならびに注44を参照。なお、第6回対話から第7回対話まで3年半のインターバルが生じた理由については不詳。

¹⁸⁷ 外務省「第7回日本・ベトナム戦略的パートナーシップ対話の開催」2019年5月31日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007476.html）；外務省「第7回日本・ベトナム戦略的パートナーシップ対話の開催（結果）」2019年6月3日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007484.html）；及び DanTri International（ベトナム労働省傘下）“Vietnam, Japan hold 7th strategic dialogue” June 04, 2019（<http://dtinews.vn/en/news/017002/62498/vietnam-japan-hold-7th-strategic-dialogue.html>）。

¹⁸⁸ 外務省「G20大阪サミット（令和元年6月28日～29日）」2019年6月29日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page22_003217.html）；外務省“G20 Osaka Summit (June 28–29, 2019)” June 29, 2019（https://www.mofa.go.jp/ecm/ec/page22e_000895.html）。

¹⁸⁹ 東南アジア以外の特別招待国は、スペイン、オランダ、チリ、エジプト（AU：アフリカ連合議長国）、セネガル（NEPAD：アフリカ開発のための新パートナーシップ議長国）の5か国、招待機関は国連、世界銀行、国際通貨基金（IMF）、金融安定理事会（FSB）、世界貿易機関（WTO）、国際労働機関（ILO）、経済協力開発機構（OECD）、世界保健機関（WHO）、アジア開発銀行（ADB）の8機関である。外務省「G20大阪サミット招待国・国際機関の公表」2018年12月18日（<https://>

ちなみに、ASEAN 諸国の中では、唯一インドネシアが G20 の正式メンバーとなっている。

ベトナムが G20 サミットに特別招待されるのは、これが 4 度目のことであった。最初の機会は 2010 年 6 月のトロント・サミット、2 度目は同じく 2010 年 11 月のソウル・サミットであって、ベトナムはその年の ASEAN 議長国であった。次の 3 度目は 2017 年 7 月のハンブルク・サミットであって、ベトナムはその年の APEC サミット開催国であった¹⁹⁰。つまり、いずれの場合も、ベトナムがたまたま地域レベルにおける多国間会議の主催国であったがゆえに招待されたのである。それに対して 4 度目の今回は、ベトナム自体の重要性に鑑みて、主催国の日本政府が特別招待した。

《フック首相の来阪と G20 サミットへの参加》

ベトナム政府を代表して来日したのは、グエン・スアン・フック首相であった。フック首相にとっては、2016 年 5 月の G7 伊勢志摩サミット・アウトリーチ¹⁹¹に続く、日本政府からの 2 度目の特別招待であった。それを含めて、今回の訪日は首相として 4 回目のものとなった。

フック首相夫妻一行は、6 月 27 日の午後 14 時 50 分に関西空港に到着した¹⁹²。同行者はマイ・ティエン・ズン政府官房長官、グエン・チー・ズン計画投資相、ディン・ティエン・ズン財務相、チャン・トゥアン・アイン商工相、ダオ・ゴック・ズン労働相、チャン・ホン・ハー資源・環境相、グエン・マイン・フン情報相、グエン・ティ・キム・ティエン保健相、そして外務省、公安省、教育訓練省の次官などであった¹⁹³。

翌 6 月 28 日の朝、フック首相はベトナム最大の IT 企業 FPT 社が主催する朝食会に出席、日本の大手企業約 30 社の経営陣と懇談した¹⁹⁴。首相は席上、ベトナムの政治的安定と順調な経済発展を強調、また G20 のうち 15 か国¹⁹⁵と FTA を締結している事実などを指摘した。さらに、日本側出席者からの意見に対して、ベトナム政府は産業人材育成を重視していると応じた¹⁹⁶。

www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006898.html)；外務省“Announcement of the G20 Osaka Summit : Invited Guest Countries and International Organizations” December 18, 2018 (https://www.mofa.go.jp/press/release/press4e_002275.html)。なお、EU (欧州連合) は G20 の正式メンバーなので、特別招待機関リストには入っていない。

¹⁹⁰ Nhan Dan online “Promoting Vietnam’s role on international stage” 27/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7626502-promoting-vietnam%E2%80%99s-role-on-international-stage.html>)。

¹⁹¹ 伊勢志摩アウトリーチ会合へのフック首相出席については、前稿 C の第 2 節第 4 項を参照。

¹⁹² Nhan Dan online “PM Nguyen Xuan Phuc arrives in Japan” 27/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7628102-pm-nguyen-xuan-phuc-arrives-in-japan.html>)；Nhan Dan online “Prime Minister Nguyen Xuan Phuc to attend G20 Summit, visit Japan” 20/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7604602-prime-minister-nguyen-xuan-phuc-to-attend-g20-summit-visit-japan.html>)。

¹⁹³ Nhan Dan online “PM Nguyen Xuan Phuc leaves for G20 Summit and visit to Japan” 27/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7626402-pm-nguyen-xuan-phuc-leaves-for-g20-summit-and-visit-to-japan.html>)。

¹⁹⁴ FPT 社「ベトナムグエン・スアン・フック首相、日本の大手企業約 30 社のトップマネジメント層を前に FPT を評価」2019 年 6 月 28 日 (<https://www.fpt-software.jp/prime-minister-nguyen-xuan-phuc-with-japanese-leading-enterprises/>)；共同通信“Vietnamese PM Nguyen Xuan Phuc in Osaka” (<https://www.gettyimages.co.jp/detail/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E5%86%99%E7%9C%9F/vietnamese-prime-minister-nguyen-xuan-phuc-attends-a-break-fast-%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E5%86%99%E7%9C%9F/1152461122>)。

¹⁹⁵ 他方、5 月 30 日の「アジアの未来」におけるファム・ビン・ミン副首相兼外相のスピーチでは、「G20 のうち 16 か国」と「戦略的もしくは包括的パートナーシップ」を構築していると述べている (第 2 節第 2 項 146 頁参照)。

¹⁹⁶ Nhan Dan online “Vietnam vows to protect Japanese investors’ interests: PM” 28/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7630802-vietnam-vows-to-protect-japanese-investors%E2%80%99-interests-pm.html>)。なお、同記事は会場場所を「東京」と記しているが、明らかに「大阪」の間違い。VietJo「訪日中のフック首相、日本企業と会合：ベトナムへの投資促進」2019 年 6 月 28 日 (<https://www.viet-jo.com/news/economy/190628191922.html>) は「大阪」での会合と明記し、フック首相の発言内容を箇条書きにしている。

6月28日午前、フック首相はG20大阪サミットの開会式と、それに続く世界経済に関する第1セッション（ワーキングランチ）に出席した。午後のイノベーションに関する第2セッションで、フック首相は人間中心のAIの発展などについて発言した¹⁹⁷。

また、セッションの前後に、中国の習近平国家主席、米国のドナルド・トランプ大統領、カナダのジャスティン・トルドー首相、ECのジャン・クロード・ユンケル欧州委員会委員長、WHOのテドロス・アダノム事務局長と会合を持ち、さらにフランス、トルコ、アルゼンチンの大統領、シンガポールとオランダの首相と言葉を交わした¹⁹⁸。そして、同日夕刻、各国首脳とともに、安倍首相の主催する大阪迎賓館での夕食会に出席した¹⁹⁹。

翌6月29日、フック首相は女性のエンパワーメントに関する特別イベントや持続的成長に関する第3セッション、気候変動・エネルギー問題に関する第4セッション（ワーキングランチ）、そして閉会セッションに参加した²⁰⁰。フック首相は第3セッションで、世界的な諸課題に対して取り組むベトナムの決意を表明した²⁰¹。

また、セッションの前後に、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領、豪州のスコット・モリソン首相、ドイツのアンゲラ・メルケル首相、韓国の文在寅大統領、世銀のデイビッド・マルパス総裁、アジア開発銀行の中尾武彦総裁、国連のアントニオ・グテーレス事務総長とそれぞれ会合を持ったり言葉を交わしたりした²⁰²。

さらに、6月29日午後、フック首相は日越関西友好協会の西村貞一会長、日越堺友好協会の加藤均理事長²⁰³、そして丸紅など日系企業の幹部と面談した²⁰⁴。

¹⁹⁷ Nhan Dan online “Prime Minister Phuc joins activities at 14th G20 Summit” 28/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7634102-prime-minister-phuc-joins-activities-at-14th-g20-summit.html>).

¹⁹⁸ Nhan Dan online “PM meets world leaders on sidelines of G20 Osaka Summit” 28/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7634002-pm-meets-world-leaders-on-sidelines-of-g20-osaka-summit.html>).

¹⁹⁹ 動画「G20 サミット 1日目が終了 迎賓館で歓迎行事と夕食会が開かれる（2019年6月28日）」2019年6月29日 (<https://www.youtube.com/watch?v=4f6PO9BsYr8>) に、フック首相夫妻が大阪迎賓館の入り口で安倍首相夫妻に出迎えられる光景、夕食会場に着席している光景などが収録されている。

²⁰⁰ 動画「G20 大阪サミット 女性活躍に関するイベントを開催（2019年6月29日）」2019年6月29日 (<https://www.youtube.com/watch?v=IA7FI2FXyY>) に第3セッションの会議室に着座しているフック首相の映像、また動画「G20 大阪サミットが閉幕、首脳宣言を採択（2019年6月29日）」2019年6月29日 (<https://www.youtube.com/watch?v=O30d4BirCv8>) に、閉会セッション終了後にトランプ米国大統領と握手をして言葉を交わすフック首相の映像が収録されている。

²⁰¹ VOV（ベトナムの声放送局）「フック首相、G20 大阪サミットに出席」2019年6月29日 (<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9/%E3%83%95%E3%83%83%E3%82%AF%E9%A6%96%E7%9B%B8%E3%83%88%E3%81%AB%E5%87%BA%E5%B8%AD-761948.vov>).

²⁰² Nhan Dan online “PM meets world leaders attending G20 Summit in Japan” 29/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7637802-pm-meets-world-leaders-attending-g20-summit-in-japan.html>).

²⁰³ VOV World 「フック首相、日越関西友好協会の会長と会見」2019年6月29日 (<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9/%E3%83%95%E3%83%83%E3%82%AF%E9%A6%96%E7%9B%B8%E6%97%A5%E8%B6%8A%E9%96%A2%E8%A5%BF%E5%8F%8B%E5%A5%BD%E5%8D%94%E4%BC%9A%E3%81%AE%E4%BC%9A%E9%95%B7%E3%81%A8%E4%BC%9A%E8%A6%8B-762099.vov>) ; 堺ジャーナル 335号「ベトナムフック首相と特別会談：日越堺友好協会加藤均理事長」(<http://www.sakai-journal.co.jp/335/02.htm>) ; Nhan Dan online “PM meets leaders of Japan-Vietnam Friendship Associations” 29/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7637702-pm-meets-leaders-of-japan-vietnam-friendship-associations.html>).

²⁰⁴ Nhan Dan online Prime Minister hails Japanese investors' operation in Vietnam” 29/06/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7638602-prime-minister-hails-japanese-investors%E2%80%99-operation-in-vietnam.html>) ; ホーチミン市共産党委員会 “Thủ tướng Nguyễn Xuân Phúc tiếp nhiều nhà đầu tư Nhật Bản” 31/12/2020 (<https://www.hcmcpv.org.vn/tin->

翌6月30日の午前、フック首相夫妻は和歌山県紀の川市を訪れ、仁坂吉伸・県知事や同県選出の衆議院議員である二階俊博・日越友好議連会長などとともに、同市の平池緑地公園に植えられている大賀ハスとベトナムハスの鑑賞会に参加した²⁰⁵。

その後、フック首相は大阪からベトナムに一旦帰国して、同日ハノイで実施されたEU・ベトナム間の自由貿易協定(EVFTA)と投資保護協定(EVIPA)の調印式に立ち合い²⁰⁶、それから再び東京へと飛来して、日本で活動を続けた。

《東京での投資カンフェレンスと日越首脳会談など》

7月1日午前10時から、東京のホテル・ニューオータニでJETROとベトナム計画投資省の共催による「ベトナム投資カンファレンス：深化する日越相互信頼と共栄関係の醸成に向けて」が実施された。フック首相を招いてJETROが投資カンファレンスを開催するのは、これが3回目のことである²⁰⁷。

カンフェレンスの第一部で、JETRO 佐々木伸彦理事長による開会挨拶に続いて、フック首相が基調講演を行った。首相は其中で、6月30日にEUとのFTAが調印されたことを紹介し、ベトナムがますます魅力的な投資市場となっていることを強調した。

基調講演に続く文書交換式では、フック首相や佐々木JETRO 理事長、片山さつき地方創生担当大臣などが立ち会う中、日越の企業・団体間で32件、総額70億ドルの協力文書の交換や投資ライセンスの交付が行われた²⁰⁸。

tuc/thu-tuong-nguyen-xuan-phuc-tiep-nhieue-nha-dau-tu-nhat-ban-1491855653)。

²⁰⁵ わかやま県政ニュース(和歌山県広報課)「ベトナム社会主義共和国首相一行の和歌山県訪問」2019年6月28日(<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryu.php?sid=29583>)；紀の川市役所「ベトナムハス・大賀ハス観蓮会にベトナム首相が訪問！」2019年7月4日(<https://www.facebook.com/kinokawacity/posts/2341983286024311/>)；わかやま新報「越フック首相初来和：蓮の大輪が結ぶ友情」2019年7月2日(https://www.wakayamashimpo.co.jp/2019/07/20190702_87575.html)；VOV World「フック首相、和歌山県を訪れる」2019年6月30日(<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9/%E3%83%95%E3%83%83%E3%82%AF%E9%A6%96%E7%9B%B8%E5%92%8C%E6%AD%8C%E5%B1%B1%E7%9C%8C%E3%82%92%E8%A8%AA%E3%82%8C%E3%82%8B-762132.vov>)；Nhan Dan online「PM receives Chairman of Japan-Vietnam Friendship Parliamentary Alliance」30/06/2019(<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7640302-pm-receives-chairman-of-japan-vietnam-friendship-parliamentary-alliance.html>)；Nhan Dan online「PM attends Japan-Vietnam lotus festival」30/06/2019(<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7640102-pm-attends-japan-vietnam-lotus-festival.html>)。

²⁰⁶ EU・ベトナム間の2協定はベトナムの首都ハノイにおいて、セシリア・マルムストローム欧州委員会委員(貿易担当)とチャン・トゥアン・アイン商工相の間で調印された。ロイター通信「EUとベトナム、FTA調印：発効には欧州議会の承認必要」2019年7月1日(<https://jp.reuters.com/article/eu-vietnam-trade-idJPKCN1TW16H>)；Viet Nam News「Việt Nam, EU sign agreements on free trade, investment protection」June, 30/2019(<https://vietnamnews.vn/economy/522003/vietnam-eu-sign-agreements-on-free-trade-investment-protection.html>)など各記事に添えられた写真には、調印式に立ち会う人々の中央にフック首相の姿が見える。

²⁰⁷ JETRO「ベトナム投資カンファレンスを開催」2019年7月(https://www.jetro.go.jp/jetro/topics/2019/1907_topics1.html)；JETRO「Vietnam Investment Conference」July 2019(https://www.jetro.go.jp/en/jetro/topics/2019/1907_topics1.html)；ベトナム日本商工会議所「ご案内：ジェトロ・MPI主催『ベトナム投資カンファレンス@東京』(7月1日(月)開催)」2019年6月20日(https://jcci.vn/post-news/%E3%81%94%E6%A1%88%E5%86%85_%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%83%88%E3%83%AD%E3%83%BBmpi%E4%B8%BB%E5%82%AC%E3%80%8C%E3%83%99%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E6%8A%95%E8%B3%87%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%95%E3%82%A1/)；VietJo「『ベトナム投資カンファレンス』、東京で7月開催—フック首相が講演」2019年6月21日(<https://www.viet-jo.com/news/event/190619140222.html>)。

²⁰⁸ JETRO「フック首相、投資環境の改善を約束、ベトナム投資カンファレンスを都内で開催」2019年7月3日(<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/07/1a171bb755737bba.html>)；JETRO「ベトナム投資カンファレンス添付資料：投資許可・協力覚書一覧」2019年7月1日(https://www.jetro.go.jp/view_interface.php?blockId=28852097)；BBC「Thủ tướng Nguyễn

カンファレンスの第二部では、「高度外国人材の活躍事例と日越相互発展に向けた視座」をテーマとして、日本企業3社による報告とベトナム関係閣僚を交えてのパネルディスカッションが実施された。

その間にフック首相は永田町の首相官邸に移動して、午前11時55分から約75分間、安倍晋三首相との首脳会談（ワーキングランチ）に臨んだ。会談に先立って、両首相立ち合いの下に、6件の文書が交換された（表2参照）²⁰⁹。

表2 日越交換文書（2019年7月1日）

文書名	交換者	日本側所管省庁
①ベトナムとの間の在留資格「特定技能」を有する外国人に係る制度の適正な運用のための基本的枠組みに関する協力覚書	山下貴司法務大臣／ ダオ・ゴック・ズン労働・傷病兵・社会問題大臣	法務省、外務省、厚生労働省、警察庁
②刑を言い渡された者の移送に関する日本国とベトナム社会主義共和国との間の条約	阿部俊子外務副大臣／ レー・クイ・ヴオン公安次官	外務省
③無償資金協力「人材育成奨学計画」交換公文（E/N）	阿部俊子外務副大臣／ レー・ハイ・アン教育訓練次官	外務省
④ヘルスケア分野における協力覚書（アジア健康構想）	梅田邦夫駐ベトナム大使／ グエン・ティ・キム・ティエン保健大臣	内閣官房（健康・医療戦略室）、厚生労働省、経済産業省、環境省
⑤ベトナムにおける日本式高等専門学校（KOSEN）教育モデル導入に向けた協働活動の継続に関する覚書	谷口功・国立高等専門学校機構理事長／ チュオン・アイン・ズン労働・傷病兵・社会問題省職業教育副総局長	文部科学省
⑥ベトナムにおける再生可能エネルギー事業を支援するためのツーステップローン融資契約書	天川和彦・国際協力銀行代表取締役専務取締役／ ギエム・スアン・ティン・ベトコムバンク会長	財務省

出所：外務省南東アジア第一課「日ベトナム交換文書概要」2019年7月（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000494254.pdf>）

* 原表にある「概要」は省略

表2の文書①は、（日本の改正入管法によって2019年4月から導入された）「特定技能外国人」制度の円滑な運用（悪質な仲介事業者の排除を含む）に関して、日越間の情報共有や協力を定めたものである²¹⁰。

文書②（受刑者移送条約）については、前年2018年5月のチャン・ダイ・クアン国家主席来日に際して日本側から交渉の開始が提案され²¹¹、2回の交渉を経て、今回の署名に至ったものである。両

Xuân Phúc: Việt Nam chào đón Nhật Bản đầu tư 01/07/2019 (<https://www.bbc.com/vietnamese/vietnam-48827250>)。

²⁰⁹ 首相官邸「G20大阪サミット関連行事・4日目」2019年7月1日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201907/1g20.html）に付された内閣広報室・動画（<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg19204.html>）に、日越首脳会談に先立って実施された文書交換式の模様が収録されている。

²¹⁰ 外務省「ベトナムとの在留資格『特定技能』を有する外国人に係る制度の適正な運用のための基本的枠組みに関する協力覚書（MOC）の交換」2019年7月1日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007573.html）；外務省“Exchange of Memorandum of Cooperation between Japan and Viet Nam on a Basic Framework for Proper Operation of the System pertaining to Foreign Human Resources with the Status of Residence of <Specified Skilled Worker>” July 1, 2019（https://www.mofa.go.jp/press/release/press4e_002494.html）。

²¹¹ 受刑者移送条約とともに刑事共助条約の交渉開始も提起された。外務省「日・ベトナム首脳会談」2018年5月31日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_004086.html）における安倍首相の発言、その際に発出された共同声明“Japan-Viet Nam Joint Statement on the Occasion of the State Visit by the President of the Socialist Republic of Viet Nam to Japan”（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000368992.pdf>）；同邦文仮訳「クアン・ベトナム社会主義共和国国家主席の国訪日の際の日ベトナム共同声明」（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000368991.pdf>）；同越語訳“Tuyên bố chung Việt Nam—Nhật Bản nhân chuyến thăm cấp Nhà nước tới Nhật Bản của Chủ tịch nước Cộng hòa xã hội

国で拘禁刑を言い渡された受刑者に関して、一定の条件を満たす場合に、それぞれの母国で刑に服することを可能とさせる条約である²¹²。

文書③は、「人材育成奨学計画」（略称 JDS）に基づき、最大 63 名を大学院留学生として受け入れることを約束したものである（供与限度額合計 7 億 4,500 万円）²¹³。JDS プログラムは途上国の若手行政官を対象として日本の大学院への留学経費を供与する制度で、1999 年に発足した²¹⁴。

文書交換式に続いて実施された日越首脳会談（ワーキングランチ）の冒頭で、安倍首相はベトナムが国連安保理非常任理事国に選出されたことに祝意を述べ、次年度に ASEAN 議長国となるベトナムと様々な課題に共に取り組んでいきたい、また 33 万人以上の在日ベトナム人の存在は両国交流にとって大きな財産であると述べた。フック首相は新天皇の即位と G20 大阪サミットの成功を祝した。

さらに、二国間関係について両者は、交換された文書類について歓迎の意を述べ、それらに基づく協力の推進で一致した。安倍首相はまた、防衛・海上法執行機関間の協力強化を評価し、防衛装備品・技術移転協定の交渉開始を提案した。フック首相は日本企業による更なる投資に期待し、ベトナムにおける投資環境の改善を進めたいと述べた。また、幾つかの農産物貿易を自由化することについて、双方から要望が表明された。

G20 大阪サミットで話題となったデータ流通や電子商取引の国際ルールについて、また地域的な課題として、北朝鮮問題、南シナ海問題、自由で開かれたインド太平洋、ASEAN 協力、日メコン協力などについても意見を交換した²¹⁵。

同じく 7 月 1 日にフック首相は、三井物産、住友商事、東レ、マルハンなどの企業トップや千葉県の森田健作知事、栃木県那須塩原市の渡辺美知太郎市長などと面談し、またベトナム大使館を訪問してヴァー・ホン・ナム大使を初めとする館員や在日ベトナム人コミュニティー代表と懇談した²¹⁶。

Chù nghĩa Việt Nam” 31/05/2018 (VOV.VN : <https://vov.vn/chinh-tri/tuyen-bo-chung-viet-namhat-ban-769010.vov>) の項目 21。なお、本稿第 1 節第 3 項目 (123 頁と 125 頁) 及び第 2 節第 2 項 (145 頁) をも参照。

²¹² 外務省「日・ベトナム受刑者移送条約交渉第 1 回会合の開催」2019 年 1 月 22 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007008.html)；外務省「日・ベトナム受刑者移送条約交渉第 2 回会合の開催」2019 年 3 月 15 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007195.html)；外務省「日・ベトナム受刑者移送条約の署名」2019 年 7 月 1 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007575.html)。その後 2020 年 7 月 20 日に、受刑者移送条約の効力発生のための外交上の公文の交換がハノイで実施された。外務省「日・ベトナム受刑者移送条約の効力発生のための外交上の公文の交換」2020 年 7 月 20 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008602.html)。なお、刑事共助条約の交渉については、2018 年 12 月 17 日～19 日に東京で第 1 回会合、2019 年 3 月 13 日～15 日にハノイにおいて第 2 回会合、7 月 17 日～19 日に東京において第 3 回会合が実施されたが、(本稿執筆の 2020 年 12 月末日時点で) まだ最終合意には至っていない。外務省「日・ベトナム刑事共助条約交渉第 1 回会合の開催」2018 年 12 月 14 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006882.html)；外務省「日・ベトナム刑事共助条約交渉第 2 回会合の開催」2019 年 3 月 12 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007179.html)；外務省「日・ベトナム刑事共助条約交渉第 3 回会合の開催」2019 年 7 月 16 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007609.html)。

²¹³ 外務省「ベトナムの若手行政官等を対象とした日本への留学支援（ベトナムに対する無償資金協力「人材育成奨学計画」に関する書簡の交換）」2019 年 7 月 1 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007572.html)。

²¹⁴ 前稿 B の注 24 を参照。なお、2008 年 7 月の高村正彦外相の訪越時（前稿 A の 300 頁）、2014 年 7 月の岸田文雄外相の訪越時（前稿 B の注 24 参照）、2016 年 5 月の岸田外相の訪越時（前稿 C の第 2 節第 3 項 194 頁参照）、2018 年 5 月のクアン国家主席来日の際（本稿第 1 節第 3 項 124 頁参照）に際しても、JDS プログラムに基づく無償資金協力が約束されている。

²¹⁵ 外務省「日・ベトナム首脳ワーキングランチ」2019 年 7 月 1 日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_005094.html)；外務省“Japan-Viet Nam Leaders Working Lunch” July 1, 2019 (https://www.mofa.go.jp/s_sa/sea1/vn/page4e_001049.html)；Nhan Dan online “Vietnamese, Japanese Prime Ministers hold talks” 01/07/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7645302-vietnamese-japanese-prime-ministers-hold-talks.html>)。

²¹⁶ Nhan Dan online “PM meets with leaders of Japanese conglomerates” 01/07/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/>

かくして、関西地区と東京で合計 60 件近くの活動をこなしたのち、フック首相は東京を離れて、7月2日早朝にハノイに帰還した²¹⁷。

（5）バンコクでの ASEAN 関連外相会合と日越外相会談（2019年8月）

河野太郎外相が ASEAN 関連外相会合に出席するために、2019年7月31日から8月3日までタイのバンコクを訪問した。7月29日から8月9日までの南アジア・東南アジア・大洋州の7か国歴訪の一環であった。

7月31日午後にミャンマーのネーपीドーからバンコクに到着した河野外相は、翌8月1日午前日に ASEAN 外相会議、2日午前日に ASEAN+3 外相会議と EAS 参加国外相会議、午後に ARF 閣僚会議、3日午前日にメコン外相会議と日メコン交流年 2019 記念コンサートに出席した後、同日午後バンコクを発って、次の訪問先フィジーへと向かった。

バンコク滞在中に河野外相はまた、ベトナム、韓国、中国、英国、インド、カナダ、マレーシア、カンボジア、EU、豪州、タイ、ブルネイ、モンゴル、フィリピン各国の外相と二者会談、さらに日米豪閣僚級戦略対話（TSD）ならびに日米韓外相会合を実施した²¹⁸。

《日越外相会談》

7月31日の午後19時25分（現地時間）から約50分間、河野外相はベトナムのファム・ビン・ミン副首相兼外相との会合（ワーキングディナー）を実施した。

ミン副首相は先般の G20 大阪サミットへのフック首相参加に関して日本側の尽力に謝意を表明し、河野外相はベトナムで開催された ASEAN-Japan Day の成功²¹⁹ に対して謝意を表明した。両外相はベトナムが目下 ASEAN の対日調整国であり、また翌年の ASEAN 議長国でもあることに鑑み、引き続き連携・協力していくことを確認した。また、南シナ海問題、拉致問題を含む北朝鮮情勢、ミャンマー情勢等の地域情勢についても意見を交換した²²⁰。

《第12回日メコン外相会議》

8月3日の午前10時35分から約60分間、第12回日メコン外相会議がバンコクで開催された。河

item/7645702-pm-meets-with-leaders-of-japanese-conglomerates.html) : VNA "Prime Minister meets Vietnamese community in Japan" July 1, 2019 (Vietnam News Wire : <https://vietnamnewswire.com/prime-minister-meets-vietnamese-community-in-japan/>) ; Nhan Dan online "PM urges Japanese localities to expand ties with Vietnam" 01/07/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7645802-pm-urges-japanese-localities-to-expand-ties-with-vietnam.html>)。

²¹⁷ Nhan Dan online "PM Nguyen Xuan Phuc concludes Japan trip" 02/07/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/7646802-pm-nguyen-xuan-phuc-concludes-japan-trip.html>)。

²¹⁸ 外務省「河野外務大臣の ASEAN 関連外相会議出席及びバングラデシュ、ミャンマー及び大洋州島嶼国訪問」2019年7月29日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_007656.html) ; 外務省 "Foreign Minister Kono Attends ASEAN-related Foreign Ministers' Meetings and visits Bangladesh, Myanmar and Pacific Island Countries" July 29, 2019 (https://www.mofa.go.jp/press/release/press4e_002566.html) ; 外務省「河野外務大臣の ASEAN 関連外相会議出席及びバングラデシュ、ミャンマー及び大洋州島嶼国訪問（令和元年7月29日～8月9日）」2019年8月9日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002812.html) ; 外務省 "Foreign Minister Kono's Attendance at ASEAN-related Foreign Ministers' Meetings and Visits Bangladesh, Myanmar and Pacific Islands (July 29-August 9, 2019)" August 8, 2019 (https://www.mofa.go.jp/a_o/rp/page3e_001051.html)。

²¹⁹ 注115参照。

²²⁰ 外務省「日・ベトナム外相ワーキングディナー」2019年7月31日 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea1/vn/page4_005151.html) ; 外務省 "Japan-Viet Nam Foreign Ministers' Working Dinner" July 31, 2019 (https://www.mofa.go.jp/s_sa/sea1/vn/page3e_001053.html)。

野外相とタイのドーン・ポラマツトウィナイ外相が共同議長を務めた。

出席者たちは、前年10月の日メコン首脳会議において採択された3つの目標(1)SDGsの実現,(2)自由で開かれたインド太平洋の実現,(3)ACMECSとの連携のそれぞれについて²²¹、協力の進捗状況を確認し、今後の日メコン協力の方針について意見を交換した。また、河野大臣から「日メコン交流年2019」²²²について、すでに100件以上の記念事業が実施されていることが紹介された。出席者たちはさらに、ミャンマー・ラカイン州情勢や北朝鮮問題、南シナ海問題についても話し合った²²³。

(6) 天皇即位礼とフック首相の来日(2019年10月)

2019年5月1日に徳仁親王(従来の皇太子)が新たな天皇に即位し、元号が「令和」に改元された。

10月22日の午後1時から皇居において即位礼正殿の儀が行われ²²⁴、国内外の招待者が参列した。190以上の国・地域・機関を代表する参列者(在日大使を含む)の中に、ベトナムのグエン・スアン・フック首相の姿もあった²²⁵。彼にとって首相就任以来5回目となる今回の訪日は、10月22日から22日まで2日間の日程で実施された²²⁶。

22日午後の正殿の儀に続いて、同日の夜には外国参列者に対する饗宴の儀が皇居で開催された²²⁷。ベトナム政府の電子報には、安倍晋三首相の右隣に着座して談笑するフック首相の写真が掲載されている²²⁸。

ベトナムの有力紙は、フック首相の今回の訪日は「きわめて意義深いものであり、ベトナムが日本の天皇・皇室との良好な関係の構築を続ける意欲を示したものである。両国の関係は、外交関係樹立以来、最善の段階にある。両国の指導者は恒常的に相互訪問し、また国際的、地域的な舞台で接触を続けている」と論評し²²⁹、ベトナム共産党機関紙(電子版)は、天皇即位式へのフック首相の参列は、

²²¹ 以上の3目標は「東京戦略2018」の附属文書としてそれぞれ採択された。本稿第1節第9項(137頁)と注141~142を参照。

²²² 前年8月シンガポールで開催された第11回日メコン外相会議において、翌年を「日メコン交流年2019」とすることが承認されていた(本稿第1節第4項注104を参照)。最初の「日メコン交流年」が祝されたのが2009年であったので、それから10年目に当たる。2019年8月時点での記念事業一覧は、外務省「日メコン交流年2019 イベントカレンダー」(2019年8月16日検索：https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/seal/page25_001772.html)；同英語版・外務省“Mekong-Japan Exchange Year 2019 Event Calendar”https://www.mofa.go.jp/s_sa/seal/page25e_000285.html。

²²³ 外務省「第12回日メコン外相会議」2019年8月3日(https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/seal/page1_000853.html)；外務省“12th Mekong-Japan Ministerial Meeting” August 3, 2019 (https://www.mofa.go.jp/s_sa/seal/page3e_001057.html)；“Co-Chair’s Statement of the 12th Mekong-Japan Foreign Ministers’ Meeting (3 August 2019)”(外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000504081.pdf>)；同邦訳「第12回日メコン外相会議共同議長長声明(仮訳)」2019年8月3日(外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000504772.pdf>)。

²²⁴ 首相官邸「即位礼正殿の儀」2019年12月6日(https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kouikeisyou_gishikitou/seidennogi.html)。

²²⁵ 外務省「即位礼正殿の儀参列者(外国元首・祝賀使節等及び駐日外国大使等)」2020年度外交青書(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bluebook/2020/html/data09.html>)。なお、VietJo「訪日中のフック首相、天皇陛下の『即位の礼』に参列」2019年10月23日(<https://www.viet-jo.com/news/politics/191023001946.html>)によれば、フック首相とともに、マイ・ティエン・ズン政府官房長官、レ・ホアイ・チュン外務次官、ウー・ホン・ナム駐日大使、ブイ・ファイ・フン首相補佐官が参列した。

²²⁶ VietJo「フック首相、天皇陛下の『即位の礼』で訪日」2019年10月18日(<https://www.viet-jo.com/news/politics/191018132623.html>)；Nhan Dan online“Prime Minister attends Japanese emperor’s coronation ceremony” 22/10/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/item/8044802-prime-minister-attends-japanese-emperor-s-coronation-ceremony.html>)。

²²⁷ 首相官邸「饗宴の儀」2019年12月6日(https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kouikeisyou_gishikitou/kyouennogi.html)。

²²⁸ ベトナム政府Online Newspaper“PM Phuc wraps up tour to Japan” 23/10/2019 (<http://news.chinhphu.vn/Home/PM-Phuc-wraps-up-tour-to-Japan/201910/37832.vgp>)。

²²⁹ Tuổi Trẻ“Thủ tướng Nguyễn Xuân Phúc sẽ dự lễ đăng quang của Nhật hoàng Naruhito” 20/10/2019 (<https://tuoitre.vn/>)

同国にとって有力な経済的パートナー（最大の ODA ドナー，2 番目の投資国，4 番目の貿易相手）である日本との広範な戦略的パートナーシップを重視する姿勢を示したものであると論評する²³⁰。

なお，2 日間の日本滞在期間にフック首相は，即位式に参列していたチェコのアンドレイ・バビシュ首相，ブルガリアのルメン・ラデフ大統領，アルバニアのイリル・メタ大統領と二者会談を行った²³¹。また，ソフトバンクグループの孫正義会長兼社長，神奈川県黒岩祐治知事，日本経済新聞社の岡田直敏社長などと会見した²³²。

（7）地球観測衛星開発（円借款事業）の始動（2019年10月）

2019年10月18日ハノイの国家宇宙センター（VNSC）で，同センターと住友商事および NEC との間の，地球観測衛星「LOTUSat-1」の製造に関する契約署名式が行われた²³³。

ベトナムに係る人工衛星としてはすでに，2008年4月にロッキード・マーティン社製の通信衛星「VINASAT 1」，2012年5月に同社製の「VINASAT 2」，2012年7月に FPT 社所有の情報通信小型衛星「F1」（種子島から発射された「このとり3号」に搭載），2013年5月にフランスのアストリウム・サテライト社製の地球観測衛星「VNREDSat-1A」，2013年8月にベトナム国家宇宙センターが東京大学などと共同開発した超小型衛星「Pico Dragon」（種子島から発射された「このとり4号」に搭載），2019年1月にベトナム国家宇宙センターが日本側と共同開発した海域観測超小型衛星「Micro Dragon」（内之浦から発射されたイプシロンロケットに搭載）が打ち上げられているが²³⁴，自国が開発し所有するレーダー衛星としては今回が初のケースとなる。事業費の約 200 億円は日本が円借款で提供する。日本にとっても，ODA を用いての衛星輸出として初のケースとなる。2023年の打ち上げを目指す²³⁵。

thu-tuong-nguyen-xuan-phuc-se-du-le-dang-quang-cua-nhat-hoang-naruhito-20191020204801724.htm)。

²³⁰ Nhan Da Online “PM arrives in Tokyo for Japanese emperor coronation ceremony” 22/10/2019 (<https://en.nhandan.org.vn/politics/external-relations/item/8043402-vietnam-attends-9th-beijing-xiangshan-forum.html>)。

²³¹ 注 228 に記したベトナム政府 Online Newspaper 記事。

²³² VOV World 「フック首相，日本訪問中の活動」2019年10月22日 (<https://vovworld.vn/ja-JP/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9/%E3%83%95%E3%83%83%E3%82%AF%E9%A6%96%E7%9B%B8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%A8%AA%E5%95%8F%E4%B8%AD%E3%81%AE%E6%B4%BB%E5%8B%95-794859.vov>)。

²³³ 在ベトナム日本大使館「円借款事業『衛星情報による災害・気候変動対策計画』：地球観測衛星製造等の契約署名式」2019年10月29日 (https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/chikyukansatsueiseiseizonokeiyakushomeishiki.html)；共同通信「円借款，初の人工衛星輸出 住商 ベトナムの気象・環境観測強化」2019年10月22日（産経デジタル：<https://www.sankeibiz.jp/business/news/191022/bsc1910220500003-n1.htm>)；NNA アジア経済ニュース「日本の地球観測衛星で契約，初の海外輸出へ」2019年10月21日 (<https://www.nna.jp/news/show/1963648>)；VietJo 「地球観測衛星製造でベトナム国家宇宙センター・住友商事・NEC が契約，円借款事業」2019年10月31日 (<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/191030142300.html>)。

²³⁴ VietJo 「初の人工衛星ビナサット，打ち上げ成功」2008年4月21日 (<https://www.viet-jo.com/news/social/080421035132.html>)；VietJo 「米ロッキード・マーティン，VNPT に通信衛星『ビナサット2』引き渡し」2012年7月9日 (<https://www.viet-jo.com/news/economy/120706111520.html>)；VietJo 「FPT の小型人工衛星『F-1』，種子島センターでの打ち上げ成功」2012年7月24日 (<https://www.viet-jo.com/news/economy/120723125149.html>)；VietJo 「ベトナム初の地球観測衛星『VNREDSat-1A』の打ち上げ成功，受信開始」2013年5月8日 (<https://www.viet-jo.com/news/social/130507080316.html>)；VietJo 「日越共同開発の超小型衛星，8月4日打上げへ」2013年7月26日 (<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/130724123048.html>)；VietJo 「2020年までにベトナム製の衛星画像を海外で販売」2014年9月18日 (<https://www.viet-jo.com/m/news/social/140915081345.html>)；VietJo 「ベトナム製の超小型衛星，軌道投入に成功—『イプシロン』4号機に搭載」2019年1月21日 (<https://www.viet-jo.com/news/social/190119084149.html>) など。

²³⁵ 注 233（前々注）に記した各記事を参照。

日本からの円借款については、「衛星情報の活用による災害・気候変動対策計画」第1期分（72億2700万円）に関する書簡が2011年10月31日に東京で交換され²³⁶、貸付契約（L/A）が同年11月2日ハノイにおいて調印された²³⁷。また、同計画第2期分（300億円）の事前通報が、2017年1月16日にハノイで実施された日越首脳会議で安倍晋三首相からグエン・スアン・フック首相になされている²³⁸。

同計画はベトナム政府の気候変動対策、防災対策に資するために、人口衛星による常時観測システムを構築することを目的とするもので、ホアラック・ハイテクパーク敷地内に関連施設を建設して必要な人材を育成し、地球観測衛星2基を打ち上げることを主たる内容とする²³⁹。

ホアラック・ハイテクパーク内の宇宙センターの建設は、日本の円借款を得て、2012年9月19日に着工された。2020年に完成予定である²⁴⁰。

宇宙センターの運営主体はベトナム国家宇宙センター（VNSC）である。ベトナム政府は2006年6月に「2020年までの航空宇宙技術の調査と適用に関する戦略」を策定、それを具体化するために、2011年9月に首相決定1611号をもってベトナム科学技術アカデミー傘下の機関として国家宇宙センターを設立した。ホアラック・ハイテクパークの宇宙センター以外に、ハノイ市内に宇宙科学人材開発・技術移転センター、ニャチャンに天文台、ホーチミン市に航空宇宙技術応用センターを持つ。同国家センターの技術者たちは、筑波宇宙センターや日本の大学院などで教育、訓練を受けている²⁴¹。また、上述の「Pico Dragon」や「Micro Dragon」の共同開発プロジェクトを通じて、日本からの技術移転も進捗している。

なお、宇宙センターが建設されたハノイ近郊のホアラック・ハイテクパークは、1998年に設立が決定され、日本からのODA支援を得て開発が進められてきた。すなわち、2006年10月にグエン・タン・ズン首相が来日した際に、南北高速鉄道、南北高速道路の建設とともに、日本側に支援要請が

²³⁶ 野田佳彦首相と来日中のグエン・タン・ズン首相の立ち合いの下、他の5案件とともに、谷崎泰明駐越大使とブイ・クアン・ビン計画投資相との間で書簡が交換された。外務省「ベトナム社会主義共和国に対する円借款6件に関する書簡の交換」2011年10月31日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/23/10/1031_08.html）。

²³⁷ ズン首相立ち合いの下、新井泉 JICA 理事とヴオン・ディン・フエ財務相の間で、他の5案件とともに、L/A が調印された。JICA「ベトナム社会主義共和国向け円借款契約の調印—気候変動対策と経済成長を両立させる持続可能な開発を支援」2011年11月2日（https://www.jica.go.jp/press/2011/20111102_01.html）；JICA「事業事前評価表：ベトナム社会主義共和国 衛星情報の活用による災害・気候変動対策事業（I）」（https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2011_VN11-P2_1_s.pdf）。

²³⁸ 外務省「ベトナムに対する円借款の供与（事前通報）」2017年1月16日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/page3_001959.html）；また前稿Cの第3節第1項（220～221頁）をも参照。ただし、管見の限り、第2期の円借款に関する正式の書簡交換はまだ実施されていないようである。

²³⁹ 前々注および前注に示した資料；ならびに、株式会社パデコ、財団法人無人宇宙実験システム研究開発機構、財団法人リモート・センシング技術センター、日本電気株式会社、千代田アドバンス・ソリューションズ株式会社、三菱商事株式会社株式会社「平成20年度円借款案件形成等調査『ベトナム・ホアラック宇宙センター設立および技術支援事業調査』（ベトナム）報告書要約」2009年3月（https://www.jetro.go.jp/jetro/activities/contribution/oda/model_study/earth_infra/pdf/gaiyou_11.pdf）などを参照。

²⁴⁰ VietJo「日本のODA案件『ベトナム宇宙センター』が着工」2012年9月24日（<https://www.viet-jo.com/news/nikei/120921123935.html>）；ベトナム政府 Online Newspaper “Viet Nam begins Space Center construction” 19/09/2012（<http://news.chinhphu.vn/Home/Viet-Nam-begins-Space-Center-construction/20129/15715.vgp>）；VOV World “Vietnam starts construction of its first Space Center” September 19, 2012（<https://vovworld.vn/en-US/news/vietnam-starts-construction-of-its-first-space-center-108131.vov>）。

²⁴¹ Vietnam National Space Center “About VNSC”（2021年1月11日検索：<https://vns.org.vn/en/about-vnsc/>）；Vietnam National Space Center “History of Establishment and Development”（2021年1月11日検索：<https://vns.org.vn/en/about/history/>）。

なされ²⁴²、それに基づいて、2010年3月に同ハイテクパークの調査・設計のための役務提供（10億500万円）²⁴³、2012年3月に同ハイテクパーク整備計画・第1期（152億1,800万円）²⁴⁴、2017年6月に同計画・第2期（128億6,500万円）²⁴⁵の円借款に関する書簡交換がなされた。総面積1,586ヘクタール（東京都渋谷区の広さにほぼ匹敵）、ハノイ市内内の高速道路も整備され（所要時間は1時間程度）、2017年5月時点で3つの大学を含む78件の投資案件が認可されている²⁴⁶。

（8）ASEAN 関連首脳会合と安倍首相のバンコク出張（2019年11月）

安倍晋三首相はASEAN 関連首脳会合に出席するために、2019年11月3日から5日までバンコクを訪問した²⁴⁷。

安倍首相は11月4日の午前にASEAN+3 首脳会合に出席、その後、持続可能な開発に関する首脳昼食会を挟んで、午後にはEAS（東アジア首脳サミット）、日ASEAN 首脳会合、RCEP 首脳会合、日メコン首脳会合に出席した。さらに、それらの会合の前後に、ホスト国タイの首相を初め、韓国、フィリピン、インドネシアの大統領、中国、インド、シンガポール、ベトナムの首相、そして米国の大統領補佐官と二者会談を実施した²⁴⁸。

²⁴² 2006年10月19日に開催された日越首脳会談で、ベトナム側から新規ODA案件として要請があり、会談後に発出された日越共同声明に盛り込まれた。外務省「ズン・ベトナム首相の公式実務訪問賓客訪日（結果概要）」2016年10月23日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/vietnam/visit/0610_gai.html）；“Japan-Vietnam Joint Statement Toward a Strategic Partnership for Peace and Prosperity in Asia” October 19, 2006（外務省：<http://www.mofa.go.jp/region/asia-paci/vietnam/joint0610.html>）；「日越共同声明：アジアの平和と繁栄のための戦略的なパートナーシップに向けて（仮訳）」（外務省：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/vietnam/visit/0610_sei.html）。また、前稿Aの295頁；ならびに前稿Cの注276をも参照。

²⁴³ 2010年3月2日ハノイにおいて、坂場三男駐越大使とヴォー・ホン・フック計画投資相の間で、他の4案件とともに書簡が交換された。外務省「ベトナムに対する円借款の供与」2010年3月2日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/22/3/0302_05.html）。

²⁴⁴ 2012年3月30日ハノイにおいて、谷崎泰明駐越大使とブイ・クアン・ヴィン計画投資相の間で、他の7案件とともに書簡が交換され、同じく3月30日ハノイにおいて、JICAの築野元則ベトナム事務所長と財務省のグエン・コン・ニエップ副大臣との間で、他の7案件とともに貸付契約（L/A）の調印がなされた。外務省「ベトナムに対する円借款8件に関する交換公文の署名」2012年3月30日（http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/24/3/0330_04.html）；JICA「ベトナム社会主義共和国向け円借款契約の調印—成長を牽引する都市部のインフラ整備と地方の生活向上をバランス良く支援」2012年3月30日（https://www.jica.go.jp/press/2011/20120330_03.html）。

²⁴⁵ 2016年9月7日、ASEAN 関連首脳会議のために滞在中のヴィエンチャンにおいて、安倍晋三首相からグエン・スアン・フック首相に事前通報され、2017年6月6日に東京において、安倍首相とフック首相立ち会いの下、梅田邦夫駐越大使とグエン・チャー・ズン計画投資相の間で、他の円借款3案件、無償資金協力3案件とともに書簡が交換され、同じく6月6日に東京において、JICAとベトナム政府代表者との間で「ホアラク科学技術都市振興事業（II）」を対象とする円借款貸付契約（L/A）の調印がなされた。外務省「ベトナムに対する円借款の供与（事前通報）」2016年9月7日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_003674.html）（前稿Cの注151をも参照）；外務省「ベトナムに対する円借款及び無償資金協力に関する書簡の交換」2017年6月6日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_004696.html）；JICA「ベトナム向け円借款契約の調印：科学・産業技術集積拠点の整備を通じ、経済成長促進・国際競争力強化を支援」2017年6月7日（https://www.jica.go.jp/press/2017/20170607_01.html）。

²⁴⁶ JETRO「優遇措置が魅力も通常の工業団地との差異に要注意—ホアラク・ハイテクパークへの進出手続き」2017年5月10日（<https://www.jetro.go.jp/biznews/2017/05/5050dfd8cbf5978f.html>）。

²⁴⁷ 首相官邸「ASEAN 関連首脳会議出席等についての会見」2019年11月3日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201911/03kaiken.html）；首相官邸「ASEAN 関連首脳会議出席等—1日目」2019年11月3日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201911/03asean1.html）；首相官邸「ASEAN 関連首脳会議出席等—2日目」2019年11月4日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201911/04asean2.html）；首相官邸「ASEAN 関連首脳会議出席等—3日目」2019年11月5日（https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201911/05asean3.html）。

²⁴⁸ NHK「安倍総理大臣動静」2019年11月4日（<https://www.nhk.or.jp/politics/souri/2019/11/04.html>）。

《安倍首相とフック首相の二者会談》

11月4日20時5分（現地時間）から約20分間、安倍首相はベトナムのグエン・スアン・フック首相との首脳会談を実施した²⁴⁹。

会談の冒頭、安倍首相は10月の天皇即位礼へのフック首相の参加に謝意を表し、また「来年ベトナムはASEAN議長国及び国連安保理理事国であり、国際社会の課題に共に取り組んでいきたい」と述べた。

二国間関係について、安倍首相は無償資金協力2案件の供与を決定したことを伝えた。これに対してフック首相は、日本のODA供与に謝意を示すとともに、日本からの投資拡大についても期待を述べた。地域情勢に関して両首脳は、ASEANでの協力、南シナ海情勢、北朝鮮情勢に関して意見を交換し、地域・国際問題について緊密に連携していくことを再確認した²⁵⁰。

《日メコン首脳会議》

続いて20時40分（現地時間）から約60分間、第11回日メコン首脳会議が開催され、安倍首相とタイのプラユット・チャンオチャ首相が共同議長を務めた²⁵¹。

安倍首相は「東京戦略2018」の下でのプロジェクトの進捗（カンボジアのシハヌークビル港開発、ラオスの国道9号線橋梁改修、ミャンマーのティラワ港拡張など）を評価し、また「日メコン交流年2019」事業²⁵²として日本とメコン諸国において120件以上の文化・交流イベントが実施・認定されたと報告した²⁵³。

会議では参加首脳たちによる「共同声明」そして「2030年に向けたSDGsのための日メコン・イニシアティブ」が採択された。

「共同声明」は、「日メコン協力のための東京戦略2018」²⁵⁴の進捗状況を、「生きた連結性」、「人を中心とした社会」、「グリーン・メコンの実現」の三本柱に沿ってレビューし、その成果に満足の意を示し、さらに「2030年に向けたSDGsのための日メコン・イニシアティブ」採択の意義を述べる。首脳たちはまた、2019年6月に第34回ASEAN首脳会談で採択された「インド太平洋に関するASEANアウトルック」²⁵⁵を歓迎し、日本の提唱する「自由で開かれたインド太平洋」構想を評価する。首脳たちは北朝鮮問題に関して、国連安保理決議の遵守で一致し、南シナ海問題に関して、環礁の埋め立てや「信頼を喪失し緊張を増大し、さらに地域の平和、安全、安定を損なうおそれのある活動」への懸念を表明し、DOC（行動宣言）の遵守とCOC（行動規範）の早期成立などの主張を繰り返す²⁵⁶。

²⁴⁹ 外務省「日・ベトナム首脳会談」2019年11月4日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/seal/vn/page4_005438.html）。なお、前注に記したNHK記事によれば、会談時間は日本時間の22時05分から22時32分までの27分間とする。

²⁵⁰ 前注の外務省資料を参照。

²⁵¹ 外務省「第11回日本・メコン地域諸国首脳会議」2019年11月4日（https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/seal/page4_005439.html）。なお、注248に示したNHK記事によれば、会談時間は日本時間の22時41分から23時38分までの57分間であったとする。

²⁵² 「日メコン交流年2019」については、注104ならびに注222を参照。8月の日メコン外相会議開催時点では、「100件以上」のイベントが開催されたと報告されている（本稿154頁参照）。

²⁵³ 前々注251に示した外務省資料。

²⁵⁴ 本稿第1節第9項137頁を参照。

²⁵⁵ JETRO「第34回ASEAN首脳会議が閉幕、独自のインド太平洋構想を採択」2019年6月28日（<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/06/82629666a8f806dd.html>）などを参照。

²⁵⁶ “Joint Statement of the 11th Mekong-Japan Summit” 4 November, 2019（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/00053>

「2030年に向けたSDGsのための日メコン・イニシアティブ」は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）の実現に向けて、環境汚染と気候変動への対策、持続的で効率的な資源活用、（全ての人々に裨益する）包括的な成長を主要なコンセプトとして、メコン諸国と日本の協力を項目ごとに記述した文書である²⁵⁷。

（9）ベトナム海上警察巡視船の日本初訪問（2019年12月）

2019年12月2日、ベトナム海上警察の巡視船「CSB8002」（全長約90メートル、44人乗り組み）が横浜の海上防災基地に接岸した²⁵⁸。

2015年9月に海上保安庁とベトナム海上警察の間で協力関係強化に関する覚書が交わされて以来、両機関の交流が活発化し、また日本の海上保安庁の艦船がしばしばベトナムに寄港するようになっていたが²⁵⁹、ベトナム海上警察の艦艇が日本を訪問するのは、これが初めてのことであった²⁶⁰。

12月2日の入港歓迎式典では、第3管区海上保安本部（横浜）の高木正人総務部長が「今回の寄港と連携訓練が日越両機関の一層の連携強化に寄与し、両国の友好親善に貢献することを希望する」と歓迎。巡視船艦長のチャン・スアン・ルオン大佐は「連携訓練を通して互いの優れた技術を共有することで、さらなる能力向上を図りたい」と挨拶した²⁶¹。

また、以上と並行して、12月3日に海上保安庁の内海雄介・総務部国際戦略官とベトナム海上警察のファム・キム・ハウ副司令官を代表とする両機関の第6回実務者レベル会合が日本で開催され、両機関協力の進捗状況などが確認されるとともに、2020年の協力計画が策定された（日本からの専門家の派遣やワークショップの開催など）。ベトナム海上警察の一行は、さらに翌4日には横浜海上防災基地、6日には海上保安大学校を視察した²⁶²。

2019年度の両機関交流としては、その他に、6月17日から21日まで海上保安庁のモバイルコーポレーションチームの5人（女性派遣協力官を含む）をハノイに派遣し、ベトナム海上警察法執行職

5954.pdf)。

²⁵⁷ “The Mekong-Japan Initiative for SDGs toward 2030” 4 November, 2019（外務省：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000535957.pdf>）。

²⁵⁸ 海上保安庁「ベトナム海上警察巡視船入港歓迎式」(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/band/concert/r011202nyuukoukangeisiki.html>)；海上保安協会関東地方本部「ベトナム海上警察の巡視船（CSB8002）の入港歓迎式」(<http://jcgf-kanto.jugem.jp/?eid=60>)；神奈川新聞「ベトナム海上警察の巡視船が横浜初入港・海保と連携訓練」2019年12月3日 (<https://www.kanaloco.jp/news/social/entry-212780.html>)；VietJo「ベトナム海上警察の巡視船が横浜港に入港一日越合同訓練で」2019年12月4日 (<https://www.viet-jo.com/news/politics/191203164602.html>)。

²⁵⁹ 前稿Cの第2節第7項を参照。

²⁶⁰ 外務省「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現に向けた取組・ベトナムの海上保安能力向上支援について」2020年12月25日（ODAメールマガジン第434号）(https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/mail/bn_434.html)によれば、ベトナムのみならず東南アジアからの海上保安機関巡視船として初の日本寄港であった。

²⁶¹ 注258に示した各資料を参照。

²⁶² 海上保安庁「日・ベトナムの2020年の協力計画を策定—第6回日越海上保安機関実務者会合の結果概要」(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/post-701.html>)；海上保安庁「日・ベトナムの2020年の協力計画を策定—第6回日越海上保安機関実務者会合の結果概要」2019年12月9日 (<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/r1/k20191209/k191209.pdf>)。なお、翌2020年12月23日には海上保安庁の内海雄介・国際戦略官とベトナム海上警察のチャン・ヴァン・ナム副司令官を代表とする第7回日越海上保安機関実務者会合がオンライン形式で実施され、2021年の協力計画が策定されている。海上保安庁「日・ベトナムの2021年の協力計画を策定—第7回日越海上保安機関実務者会合の結果概要」(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/post-787.html>)；海上保安庁「日・ベトナムの2021年の協力計画を策定—第7回日越海上保安機関実務者会合の結果概要」2020年12月23日 (<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/r2/k201223/k201223.pdf>)。

員 15 人に対して、立入検査に関する講義や模擬立入検査の実技指導を行った²⁶³。

また、2019 年 7 月 25 日から 28 日まで海上保安庁練習船「こじま」（乗組員・実習生計 87 名）がダナンに寄港した。4 日間の滞在中に、ダナン市人民委員会ほか関係先表敬、ベトナム海上警察第二管区司令部およびダナン海上捜索救助調整センター（MRCC）の見学、船上レセプションなどのイベントが実施された。同船のダナン寄港はこれで 4 度目、前年に引き続き 2 年連続となった²⁶⁴。

これは「こじま」の 73 日間にわたる世界一周航海実習の一環であり、4 月 26 日に呉港を出発、米国のサンフランシスコ、パナマ運河、ニューヨーク、ギリシャのピレウス、スエズ運河、スリランカのコロombo、シンガポールを経て、最後の立ち寄り先としてダナンに立ち寄った。ダナン出港にあたって同船にはフィリピン、マレーシア、ベトナム各国の海上保安機関から 2 名ずつの若手職員が合流し、海上保安大学校実習生とともに船上訓練に参加、8 月 3 日に呉港に入港した²⁶⁵。

【以下、次号に続く】

²⁶³ 海上保安庁「モバイルコーポレーションチーム初の女性派遣協力官をベトナムへ派遣 ～海上保安庁の立入検査ノウハウをベトナムへ！」2019 年 6 月 14 日 (<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/r1/k20190614/k190614-1.pdf>)；在ベトナム日本大使館「海上保安庁モバイルコーポレーションチーム（MCT）による訓練指導」2019 年 6 月 24 日 (https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Kaijouhoanchounokunrenshidou.html)；VietJo「海上保安庁、初の女性派遣協力官ら 5 人をベトナムへ派遣—船舶立入検査技術を指導」2019 年 6 月 18 日 (<https://www.viet-jo.com/news/social/190617185510.html>)。海上保安庁のモバイルコーポレーションチーム（MCT）は、諸外国の海上保安能力向上支援に当たる専従部門として、2017 年 10 月に発足。

²⁶⁴ 在ベトナム日本大使館「海上保安庁練習船『こじま』のダナン寄港」2019 年 7 月 30 日 (https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/KaijouhoanchourenshuusenKojimanoDanangikou.html)；VietJo「海上保安庁練習船「こじま」がダナンに寄港」2019 年 7 月 26 日 (<https://www.viet-jo.com/news/social/190725182445.html>)。

²⁶⁵ 海上保安庁「練習船こじま世界一周へ出港！初寄港のスリランカを含む五カ国（六カ所）へ寄港」2019 年 4 月 17 日 (<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/h31/k20190417/k190417-2.pdf>)；海上保安庁「世界に羽ばたけ、海保仕込みの船乗りたち！アジアの海上保安機関職員が海上保安大学校練習船『こじま』で乗船研修を行います」2019 年 7 月 24 日 (<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/r1/k20190724/k190724-1.pdf>)。